

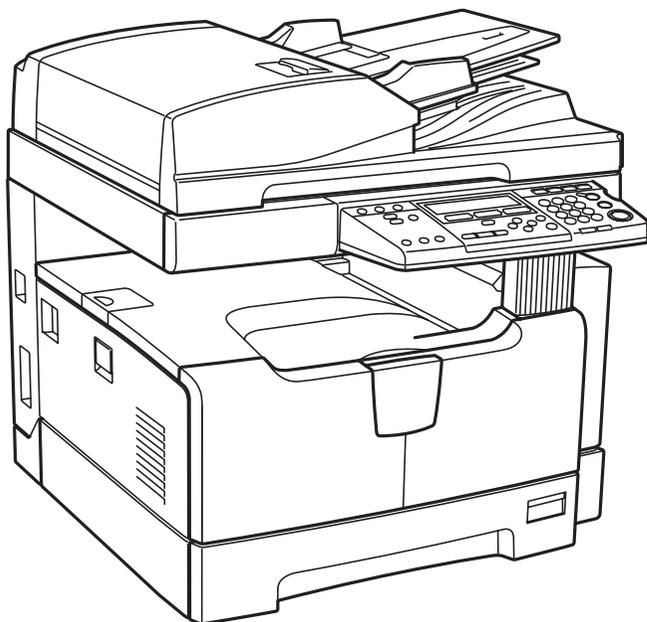
TOSHIBA

Leading Innovation >>>

東芝デジタル複合機

取扱説明書 [コピー編]

e-STUDIO167/207



- このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
- お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

はじめに

このたびは東芝デジタル複合機e-STUDIO167/207をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この「取扱説明書」は、e-STUDIO167/207の正しい使いかたや、コピーのとりかた、機械の点検、機械やコピーに不具合が起きたときの処置のしかたなどについて説明しています。

e-STUDIO167/207の機能を十分理解され、有効にご活用いただきますよう、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みください。また機械の状態を最良に保ち、いつもきれいなコピーをおとりいただくために、この「取扱説明書」をお手元に置いて、大切に保管してください。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、電気用品の技術上の基準を定める省令第2項の規定(J55022)および情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この装置は、レーザー規格「J60825-1(H14)」のクラス1レーザー製品に適合しています。放射最大出力 5 mW、波長 785 nm、連続パルスのレーザーダイオードを使用しています。

注意

ここで規定した以外の制御や調整、または手順による使用は、危険な放射被曝を生じることがあります。

正しい取り扱いをしていただいても、電波状況によりラジオやテレビの受信に影響を及ぼすことがあります。このようなときは、下記の点をお試しください。

1. アンテナ線を同軸ケーブルに変える。
2. 受信アンテナやアンテナ線の配置を変える。
3. 装置(本機)とラジオ、テレビを十分に離して使用する。
4. 装置(本機)とラジオ、テレビを別のコンセントに接続して使用する。
5. 装置(本機)とラジオ、テレビ双方の位置や、向きを変えて使用する。

以上の処置を行ってもなお改善されない場合は、弊社販売店またはサービスエンジニアにご相談ください。

機械の改良変更等により、本書の記載事項とお客様の機械で一部異なる場合があります。ご了承ください。

本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りまたは記載漏れなどにお気づきのことがありましたらご連絡ください。

製品がご使用済みとなった場合は

回収された製品(本体、オプション機器のほか、感光ドラム、トナーカートリッジ等の消耗品)のリサイクルを推進することにより、循環型社会の実現に取り組んでいます。製品が使用済みとなった場合は、弊社販売店またはサービスエンジニアにご連絡ください。

本書をお読みになる前に

取扱説明書の構成

e-STUDIO167/207の取扱説明書は、以下のように構成されています。目的に応じて適切な取扱説明書をお読みください。なお、本書は**取扱説明書[コピー編]**です。

基本機能

取扱説明書[コピー編](冊子、本書です)

コピー機能を中心に、本機の基本的な使いかたを説明しています。また、必ず守っていただきたい安全上のご注意も記載しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

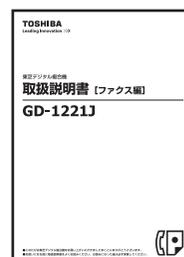


ファクス機能

ファクス機能を使用するためには、オプションのファクスキットGD-1221Jが必要です。

取扱説明書[ファクス編](冊子)

ファクス機能の使いかたを説明しています。ファクスの送信/受信に関して、基本的なものから応用的なものまで、あらゆる機能を使用することができます。

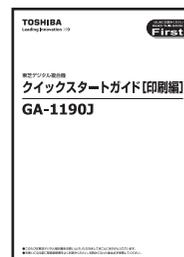


印刷機能

印刷機能を使用するためには、オプションのネットワークプリンタユニットGA-1190Jが必要です。

クイックスタートガイド[印刷編](冊子)

GA-1190Jの付属品、必要な環境条件、ネットワークの接続概要など、印刷機能に関する基本的なことを説明しています。また、トラブルシューティングについても記載しています。印刷機能を使用する前に必ずお読みください。



ネットワーク管理ガイド[印刷編](PDFファイル)

ネットワークの接続、各コンポーネントの設定など、ネットワークを構築して印刷機能を使用するために必要なことを説明しています。

設定ガイド[印刷編](PDFファイル)

本書は、以下のような2部編成になっています。

本体編： 本機の操作パネルによる印刷関連の設定方法について説明しています。

TopAccess編： 付属ユーティリティ「TopAccess」の使いかたを説明しています。Webブラウザを利用して本機の設定や管理を行うことができます。

印刷ガイド(PDFファイル)

クライアントソフトウェアのインストール、プリンタドライバの使いかたなど、コンピュータから本機へ印刷するために必要なことを説明しています。

ネットワークファクスガイド(PDFファイル)

クライアントソフトウェアのインストール、N/W-Faxドライバの使いかた、付属アプリケーションソフトウェア「AddressBook Viewer」の使いかたなど、コンピュータからネットワークを経由してファクス送信するために必要なことを説明しています。

スキャン機能

スキャン機能を使用するためには、オプションのスキナアップグレードキットGA-1200Jが必要です。

クイックスタートガイド[スキャン編](PDFファイル)

GA-1200Jの付属品、必要な環境条件、ネットワークの接続概要など、スキャン機能に関する基本的なことを説明しています。また、トラブルシューティングについても記載しています。スキャン機能を使用する前に必ずお読みください。

ネットワーク管理ガイド[スキャン編](PDFファイル)

ネットワークの接続、各コンポーネントの設定など、ネットワークを構築してスキャン機能を使用するために必要なことを説明しています。

設定ガイド[スキャン編](PDFファイル)

本書は、以下のような2部編成になっています。

本体編： 本機の操作パネルによるスキャン関連の設定方法について説明しています。

TopAccess編： 付属ユーティリティ「TopAccess」の使いかたを説明しています。Webブラウザを利用して本機の設定や管理を行うことができます。

スキャンガイド(PDFファイル)

TWAINドライバのインストールや使いかた、各種スキャン機能の使いかたなど、本機でスキャン機能を使用するために必要なことを説明しています。

PDFファイル形式の取扱説明書を読むには

PDF(Portable Document Format)ファイル形式の取扱説明書は、コンピュータにインストールされたAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerにより表示/印刷することができます。お使いになるコンピュータにAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードするなどして、あらかじめインストールしておいてください。

本書の読みかた

本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

注意 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

補足 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

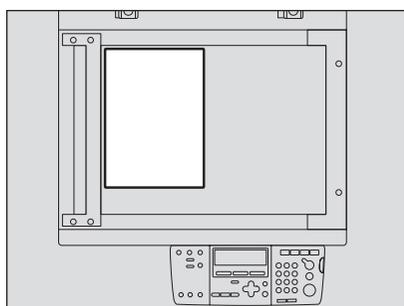


関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

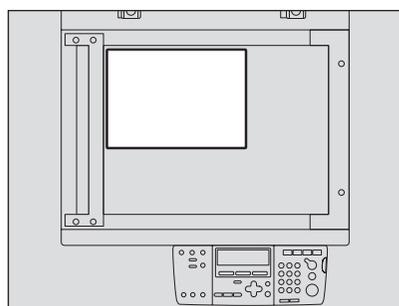
原稿や用紙のサイズの表記について

A4やB5サイズの原稿や用紙は、縦向きにも横向きにもセットできます。本書では、これらのサイズの紙を横向きにセットする場合、サイズの後ろに「-R」を付けて表記しています。

例) A4サイズの原稿の場合



縦向きにセットした場合: A4



横向きにセットした場合: A4-R

なお、A3やB4サイズの紙は横向きにのみセットできます。横向きにのみセットするこれらの紙サイズの後ろには、「-R」を付けていません。

本文中の画面について

本書に掲載している画面は、オプション機器の装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。

商標について

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Acrobat、Adobe Reader、Adobe Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

©2007, 2008 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。本書中の情報の使用については特許に関する法的責任は生じないものとします。

コピー禁止事項

以下のものをコピーすることは禁止されています。

- 法律によりコピーを禁止されているもの
次のようなコピーは所有するだけでも法律で罰せられます。
 - 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
 - 未使用の郵便切手、郵便はがき
 - 政府発行の印紙、酒税法や物品税法で規定されている証紙類
- コピーしない方が望ましいもの
 - 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などは、事業会社が業務上使用するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって禁じられています。
 - 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書、通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしない方がよいものと考えられています。
- 著作権の対象になっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、映画、図面、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除き、無断でコピーすることは禁じられています。

目次

はじめに.....	1
本書をお読みになる前に	2
コピー禁止事項.....	6
e-STUDIO167/207の特長	13
安全のため必ず守ってください.....	14
環境への取り組み	22
推奨トナーカートリッジについて	24

第1章 準備する

各部の名称と働き	26
前面／右側面.....	26
左側面／内部.....	28
本機のオプション構成について	30
操作パネル.....	31
「コピーモード」メイン画面の表示.....	34
準備1 電源を入れる.....	35
電源を入れる.....	35
使わないときの電力消費を抑えるー節電モードー	36
準備2 用紙をセットする	37
使用できる用紙の種類	37
推奨紙について	38
カセットに用紙をセットする.....	39
多段給紙装置(オプション)のカセットに用紙をセットする	43
準備3 セットした用紙のサイズを登録する.....	47
定形サイズ(A3、A4、A4-R、B4、B5、B5-R)の場合	47
その他の定形サイズの場合.....	49

第2章 基本的なコピーのしかた

原稿をセットする	52
使用できる原稿の種類	52
原稿ガラス上に原稿をセットする	53
本・カタログなど冊子の原稿をセットする	54
自動(両面)原稿送り装置(オプション)を使う.....	55
自動(両面)原稿送り装置(オプション)に原稿をセットする	56
コピーする	57
コピーを停止／再開する	59
コピー動作を中断して、別の原稿をコピーするー割り込みコピーー	60
手差しトレイを使ってコピーする	61
手差しコピーする(はがき以外).....	62

はがきに手差しコピーする.....	65
-------------------	----

第3章 基本的なコピー機能を使う

コピー機能を使う前に.....	68
初期設定について.....	68
設定した機能を確認する.....	68
用紙の選択方法を切り替える.....	69
原稿と同じサイズの用紙を自動的に選択するー自動用紙選択ー.....	69
使いたい用紙を自分で選択するーマニュアル用紙選択ー.....	70
サイズが異なる原稿を一緒にコピーするー原稿混載ー.....	72
拡大・縮小コピーする.....	74
指定した用紙に合う倍率でコピーするー自動倍率選択ー.....	74
原稿と用紙のサイズを指定する.....	76
手動でコピー倍率を指定する.....	77
原稿に合った画質を選ぶ.....	79
コピー濃度を調整する.....	80

第4章 便利なコピー機能を使う

コピー機能メニューについて.....	82
コピー機能メニューの操作.....	82
コピー機能メニューー覧.....	83
原稿と同じページ順に1部ごとに仕分けるーソートー.....	84
1部ごとに向きを変えて排紙するー縦横交互ー.....	85
冊子の構成になるようにコピーするーマガジンソートー.....	86
紙面全体をずらして余白を作るーとじしろー.....	88
原稿の周囲の影を消すー枠消しー.....	90
両面コピーするー両面ー.....	91
用紙の片面にコピーする.....	92
用紙の両面にコピーする.....	93
冊子を用紙の両面にコピーする.....	94
冊子の左右ページを別々の用紙にコピーするーページ連写ー.....	97
ページ番号や日時を印刷するーページ・時刻付加ー.....	99
束ごとに設定を変えてコピーするービルドジョブー.....	100
2または4ページ分を1ページにコピーするー2in1/4in1ー.....	102
名刺の両面を1ページにコピーするー名刺印刷ー.....	106
縦横の倍率を別々に指定するー縦横独立変倍ー.....	108

よく使う機能の組み合わせを登録するーモードメモリーー	110
機能の組み合わせを登録する	110
機能の組み合わせを呼び出す	111

第5章 本機の設定を変更する

本機の設定を変更する前に	115
「設定/登録モード」メイン画面を表示する	115
設定変更時のボタン操作	116
日付・時刻の設定	117
時刻合わせ	117
日付・時刻の表示形式の設定	119
表示言語の設定	120
用紙サイズの設定	121
優先画面の設定	123
各種タイマの設定	125
オートクリア時間	125
自動節電時間	126
自動オフ時間	128
ウィークリータイマの設定	130
音量の調節	133
キータッチ音の設定	135
部門管理	137
部門コードを設定する	137
部門名や部門コードを変更する	141
部門コードを削除する	144
カウンタをリセットする	146
カウンタ値を印刷する	148
部門管理機能を停止する	149
お好み機能の設定	151
用紙優先選択／倍率優先選択の設定	153
原稿モードの設定	155
濃度調整の設定	157
仕分けの設定	159
マガジンソートの設定	161
2in1/4in1の設定	163
ブック両面コピーの設定	165
用紙サイズの変更確認表示の設定	167

各種リストの印刷	169
メニューリストの印刷	171
ROMバージョン表示	172

第6章 こんなときは

画面にメッセージが表示される	174
紙が詰まったときは	176
紙が詰まっている位置を確認する	176
紙づまりがひんぱんに起こるときは	176
用紙を取り除くときのご注意	177
自動(両面)原稿送り装置(オプション)内部の紙づまり解除	177
手差しトレイの紙づまり解除	181
自動両面ユニット(オプション)内部の紙づまり解除	181
転写ユニット内部の紙づまり解除	182
定着器内部の紙づまり解除	183
給紙ユニット(オプション)の紙づまり解除	185
多段給紙装置(オプション)の紙づまり解除	186
トナーカートリッジを交換する	187
故障かな? と思ったときは	193
操作全般	193
トナー関連	194
原稿・用紙関連	195
思いどおりのコピーができない	195

第7章 保守・点検

日常のお手入れ	200
チャージャのクリーニング	201
転写チャージャのクリーニング	202
保守サービスについて	204

第8章 その他

e-STUDIO167/207の仕様	206
連続複写速度	207
オプション機器の仕様	208
同梱品	210
コピー機能組み合わせ一覧	211
組み合わせ一覧1/2	211
組み合わせ一覧2/2	212

リスト出力例	213
部門管理リスト	213
システム設定リスト	213
消耗品通知リスト	214
メールボックスリスト	214
設定リスト	215
ネットワーク設定リスト	215
メニューリスト	216
索引	217

e-STUDIO167/207の特長

e-STUDIO167は毎分16枚^{*1}、e-STUDIO207は毎分20枚^{*1}のコピーが可能なコンパクトな白黒コピー機です。また、本機とコンピュータをUSBケーブルで接続して、プリンタ、スキャナとしてもご利用いただけます。^{*2、*3}

さらに、ファクスやネットワークスキャナ、ネットワークプリンタ機能を拡張することができ、業務効率の向上、オフィス空間の有効利用にも貢献します。

基本機能を充実させた省スペースマシン

- 本体の原稿台の下に排紙される省スペース設計。
- 操作性の高い大型のボタンと液晶画面を配置した操作パネル。
- はがきからA3サイズまで、さまざまな用紙サイズに幅広く対応。
- 標準の手差しトレイを使って、OHPフィルムなどへのコピーが可能。
- TWINドライバによるスキャン機能を標準装備。
- 便利なコピー機能を豊富に搭載。

オプション機器による高い拡張性

- 大量原稿をコピーする手間を大幅に軽減する自動(両面)原稿送り装置。
- 用紙両面へのコピーを可能にする自動両面ユニット。
- オフィスのペーパーレス化を促進するスキャナアップグレードキット。
- ファクス機能を追加するファクスキット。
- 共有プリンタとして活用の幅を広げるネットワークプリンタユニット。
- 給紙ユニット、多段給紙装置、および給紙カセットを装着して、カセットを最大4段まで追加可能。

環境に配慮した省エネルギー設計

- 残存トナーを回収して再利用するトナーリサイクルシステムを採用。
- ウォームアップ時間約25秒を実現。^{*4}
- 定着温度を下げて待機時の不要な電力消費を抑える「低電力モード」、一定時間内に機械を使用しないと待機状態のまま最小消費電力を維持する「スリープモード」を搭載。

*1 オプションの自動(両面)原稿送り装置不使用、ノンソート、A4横連続コピー時の数値です。

*2 プリンタとして使用する場合は付属ソフトウェアをコンピュータにインストールする必要があります。

*3 オプションのネットワークプリンタユニットを装着して本機をネットワークプリンタとして使う場合は、本機とコンピュータをUSBケーブルで接続してローカルプリンタとして使うことはできません。

*4 室温20℃以上、電源が定格入力時の数値です。

安全のため必ず守ってください

安全上のご注意

複写機本体および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載しています。

各図記号の意味をご理解のうえ、以下に記載する注意事項をお守りください。

各図記号の説明

 警告	この表示は、「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。 *1 重傷とは、失明やけが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
 注意	この表示は、「誤った取り扱いをすると人が傷害*1を負う可能性、または物的損害*2のみが発生する可能性があること」を示しています。 *1 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。 *2 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。
右図記号は、行ってはいけない禁止事項を示しています。	 禁止  接触禁止  ぬれ手禁止  分解禁止  水ぬれ禁止
右図記号は、必ず行っていただきたい強制事項を示しています。	 強制  アース線を必ず接続せよ  電源プラグをコンセントから抜け

免責事項について

次のいずれかに該当して発生した障害については、弊社は責任を負いません。

1. 取扱説明書記載事項に反するお取り扱い、お取り扱い上のはなはだしい不注意および誤用の場合
2. 火災、天災、地震、異常電圧およびこれに類する災害による場合
3. 弊社が認定するサービスエンジニア以外による改造、分解、移動、修理に起因する場合
4. 弊社が推奨するコピー用紙、その他消耗品、部品以外の使用による場合

上記以外の場合においても、本製品、オプション、およびそれらに附属または内蔵のソフトウェアの使用または使用不能(故障、誤動作、ハングアップ、ウイルス感染その他の不具合を含むが、これに限定されない)から生じた、逸失利益、データの損失、その他特別な、付随的、結果的、間接的損害をはじめとする損害、および第三者からの請求等について、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合であっても、弊社は一切責任を負いません。

弊社が関与しないハードウェア、ソフトウェアなどとの組み合わせによる使用不能(故障、誤動作、ハングアップ、ウイルス感染その他の不具合を含むが、これに限定されない)から生じた損害に関し、弊社は一切責任を負いません。

据え付けおよび移動時の注意

警告

 強制	電源は交流100 Vで、定格15 A以上のコンセントを単独で使用する こと他の器具と併用すると、コンセント部の許容電力をオーバーして、火災 の原因となります。コンセントを増設するときは、電気工事店にご依頼 ください。
 アース線を必ず 接続せよ	アース端子が確実に接地(アース)されていることを確認すること 確実に接地されていないと、絶縁不良により漏電したときに、感電の原 因となります。確認方法については、弊社販売店にお問い合わせくださ い。
 アース線を必ず 接続せよ	電源プラグを接続する前に必ずアース線を接続すること アース線を接続前に電源プラグを接続すると感電の原因となります。
 強制	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認するこ と 電源プラグが確実に差し込まれていないとプラグが発熱し、感電・火災 の原因となります。
 禁止	電源コードは ・傷つけないこと ・加工しないこと ・ねじらないこと ・無理に曲げないこと ・引っ張らないこと ・物を載せないこと ・加熱しないこと ・熱器具に近づけないこと 感電・火災の原因となります。電源コード破損時は、弊社販売店へご連絡 ください。
 禁止	本機の電源コードを他の電気機器で使用しないこと 本製品に同梱されている電源コードセットは本製品専用です。他の電気 機器に使用しないでください。
 電源プラグを コンセントから抜け	アース線を外す前に必ず電源プラグを抜くこと アース線を外してから電源プラグを抜くと感電の原因となります。
 禁止	据え付け、および据え付け後の移設はしないこと 感電・けがの原因となります。据え付けや移設は、弊社販売店へお申し付 けください。

⚠ 注意

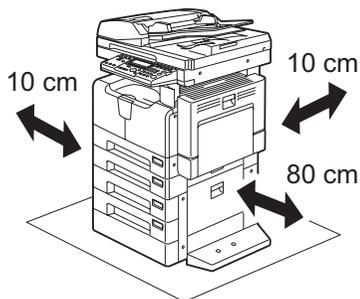
 強制	機械は、機械の重さ(本体の質量 約33.9 kg)に耐えられる水平な場所に設置すること 機械の転倒などにより、けがの原因となります。
 強制	機械を移動・設置した後は、床面にアジャスタ(すべり止め)で必ず固定すること 機械が動いたり、転倒などにより、けがの原因となります。
 電源プラグを コンセントから抜け	電源プラグをコンセントから引き抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと 電源コードを直接引っ張るとコードが傷つき、断線や芯線の露出から感電・火災の原因となります。
 禁止	通気孔をふさがないこと 機械内の温度が上昇し、火災の原因となります。
 強制	インターフェイスクーブルを本体に接続するときは、本体およびクライアントPCの電源スイッチを必ず切ること 機械の故障や感電の原因となります。

据え付けおよび移動時のその他のお願い

機械はコンセントの近くに設置し、かつ人が容易に電源プラグをコンセントから抜けるように据え付けてください

据え付け時は、据え付け場所の余裕・空間を保ってください

空間に余裕がないと通風が悪くなり、故障の原因となります。また、手差しコピーなどの操作性が悪くなる場合があります。特に機械の背面および左側面は10 cm以上、右側面は80 cm以上のすき間を空けてください。



電源コードは、足などが引っかからないように配線してください

次のような場所への放置は避けてください

- 直射日光に当たるところ
- 湿気の多いところ
- ほこりの多いところ
- 振動・衝撃の多いところ
- 高温なところ
- 火気に近いところ

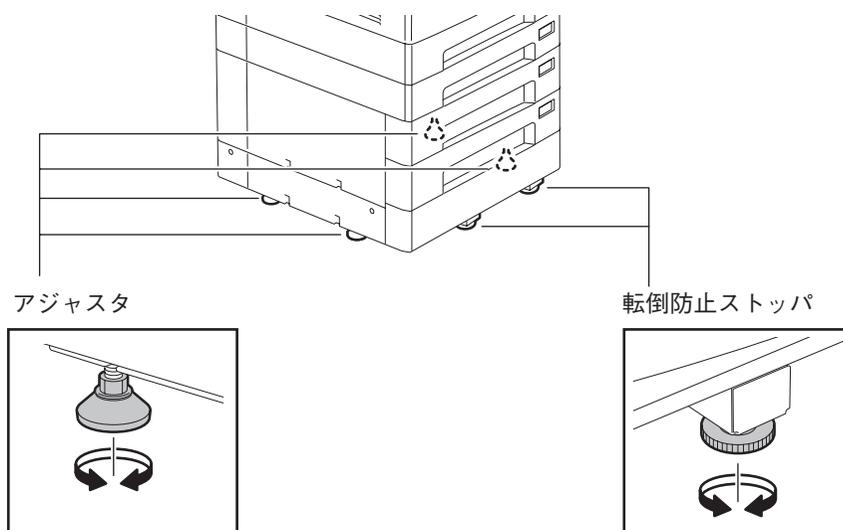
環境が守られないと、故障の原因となります。

据え付けの通気性・換気性を保ってください

通気性・換気性が悪いと、オゾンの臭気が気になり、快適な環境を保てない原因となります。

多段給紙装置使用時はアジャスタを使って固定してください

オプションの多段給紙装置の下面には、アジャスタ(すべり止め)と転倒防止ストoppaが付いています。移動時は、アジャスタと転倒防止ストoppaを回して上げてください。移動後は、必ずアジャスタと転倒防止ストoppaを回して下げ、固定してください。



デスク使用時はキャスターのロックをかけて固定してください

オプションのデスクの下面には、キャスターが付いています。移動時は、キャスターのロックを上げて解除してください。移動後は、必ずロックを下げて固定してください。

⚠ 警告

据え付け、および据え付け後の移設はしないこと

感電・けがの原因となります。据え付けや移設は、弊社販売店へお申し付けください。

機械使用時の注意

警告

 分解禁止	本体のカバーを外さないこと 感電・けがの原因となります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと 感電の原因となります。
 水ぬれ禁止	機械の上や近くに、花びん・コップなどの液体の入った容器を置かないこと 液体が機械内部に入った場合、感電・火災の原因となります。
 禁止	通気孔からクリップなどの金属類を入れないこと 金属類が機械内部に入った場合、感電・火災の原因となります。
 電源プラグを コンセントから抜け	煙が出てきたり、異常音・変なにおいがするときは、すぐに電源を切り、 電源プラグをコンセントから抜くこと そのままご使用になると、火災の原因となります。至急、弊社販売店にご 連絡ください。
 電源プラグを コンセントから抜け	長期間(1か月以上)使用しない場合は、電源を切り、電源プラグをコンセ ントから抜くこと 絶縁不良が発生したとき、感電・火災の原因になることがあります。

注意

 禁止	原稿ガラスの上に重い物(4 kg 以上)を載せたり、強く押ししたりしないこ と ガラスが割れ、けがの原因となります。 ☐ P.53「原稿ガラス上に原稿をセットする」 ☐ P.54「本・カタログなど冊子の原稿をセットする」
 禁止	機械の上に重い物を載せたりしないこと 落下の際、けがの原因となります。

 <p>指をはさまれないよう注意</p>	<p>カセットを閉める際には、指を挟まないように注意すること けがの原因となります。</p> <p>☞ P.39「カセットに用紙をセットする」 ☞ P.43「多段給紙装置(オプション)のカセットに用紙をセットする」</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>定着器およびその付近の金属部には触れないこと やけどや触れたショックで手を機器内部に当て、けがの原因となります。</p> <p>☞ P.183「定着器内部の紙づまり解除」</p>
 <p>指をはさまれないよう注意</p>	<p>機体とサイドカバーの間に指を挟み込まないように注意すること けがの原因となります。</p> <p>☞ P.181「自動両面ユニット(オプション)内部の紙づまり解除」</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>オプションの自動(両面)原稿送り装置の後面にあるヒンジ(取り付け部分)には触れないこと 自動(両面)原稿送り装置を開閉したときに指を挟んでけがをする原因となります。</p>

機械使用時のその他のお願い

機体内につまったコピー用紙を残したまま、電源スイッチを切らないでください
 次に電源スイッチを入れたときに、動作しない原因となります。

退社時や停電の際には、必ず電源スイッチを切ってください
 (ただしウィークリータイマ使用時は、電源スイッチを切らないでください。)

排紙部および排紙直後の紙は熱いので、お取り扱いにはご注意ください

排紙トレイ上には排紙以外の物を置かないでください
 正常動作の妨げとなり、故障の原因となります。

感光ドラム面や転写チャージャには触れないでください
 画像不良の原因となります。

印刷中に、本体のカバーや手差しトレイを開閉したりカセットを引き出したりしないでください

保守・点検時の注意

警告

 分解禁止	分解・改造・修理はしないこと 感電・火災・けがの原因となります。 点検・修理は弊社販売店にご依頼ください。 ☞ P.204「保守サービスについて」
 水ぬれ禁止	床の清掃などのときは、機械に水や油などの液体をかけないこと 電気回路のショートにより、感電・火災の原因となります。

注意

 強制	年1回以上、電源プラグをコンセントより抜き、プラグの刃と刃の周辺部をきれいに清掃すること ほこりがたまると、火災の原因となります。
---	--

保守・点検時のその他のお願い

機械を拭くときは、シンナー・ベンジンなどを使わないでください

- 変形や変色の原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書きに従ってください。

☞ P.200「日常のお手入れ」

消耗品取り扱い上の注意

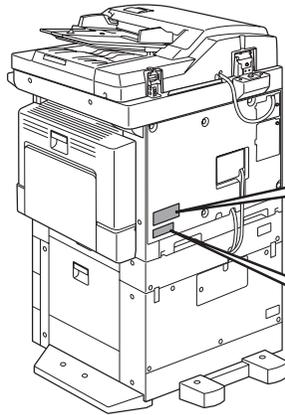
警告

 禁止	トナーカートリッジは、火の中に入れてないこと 着火したトナーが飛び散り、火災ややけどの原因となることがあります。 なお、使用済みのトナーカートリッジは廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。 ☞ P.187「トナーカートリッジを交換する」
---	---

本体警告表示ラベルの確認

指定箇所に警告ラベルが表示されていることをご確認ください。ラベルが紛失していたり、汚損により見えにくい場合は弊社販売店へご連絡ください。

📖 P.204「保守サービスについて」



クラス1説明ラベル



銘板



レーザーについての警告

危険-ドラムユニットを外したり光学ユニットを開けたときドアスイッチを無効にするとクラス3Bの不可視レーザー放射の恐れあり。ビームの直接暴露を避けよ。

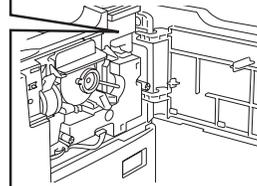
DANGER-CLASS 3B INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPTICAL UNIT OPEN OR DRUM UNIT REMOVED AND INTERLOCK DEFEATED. AVOID DIRECT EXPOSURE TO BEAM.

VORSICHT-KLASSE 3B UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN DIE ABDECKUNG GEÖFFNET ODER DIE TROMMEL ENTFERNT UND DIE VERRIEGELUNG UNWIRKSAM GEMACHT WIRD. NICHT DIREKT DEM STRAHL AUSSETZEN.

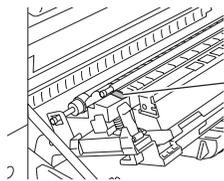
DANGER-CLASSE 3B RAYON LASER INVISIBLE LORSQUE LE BLOC OPTIQUE EST OUVERT, LE TAMBOUR RETIRE ET LE VERROUILLAGE HORS D'USAGE. EVITER L'EXPOSITION DIRECTE AU RAYON.

PELIGRO-RADIACION INVISIBLE DE LASER CLASE 3B CUANDO LA UNIDAD OPTICA ESTA ABIERTA O LA UNIDAD DEL CILINDRO ES RETIRADA Y CUANDO EL INTERRUPTOR DE SEGURIDAD ESTA DE SACTIVADO, EVITE EXPOSICION DIRECTA AL RAYO.

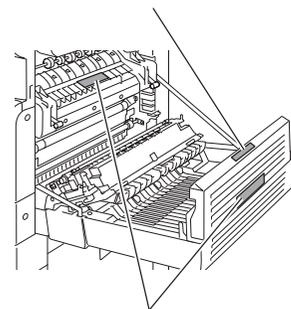
>PS<



高温部 (通気孔) についての注意

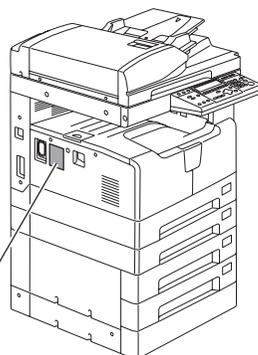


高圧部についての注意



高温部 (定着器) についての注意

アースについての警告



環境への取り組み

国際エネルギースタープログラム

当社(東芝テック株式会社)は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



国際エネルギースタープログラムとは、地球温暖化などの地球環境の問題に対応するため、省エネルギー対策に積極的に取り組むべく、エネルギー消費を効率的に抑制するコンピュータを含むオフィス機器の開発および普及の促進を目的とする国際的な省エネルギープログラムです。このプログラムへの参加事業者(メーカー)は機器が同プログラムの省エネルギー基準に適合していることを確認することによって、エネルギースターロゴマークを製品に貼り付けることができます。なお、同基準および同マークは米国環境保護庁を中心に参加各国の間で、共通に使用するものです。

本機を快適な環境でご使用いただくために

本機は、環境に対する負荷の低減に考慮して設計されています。快適な環境で本機をご使用いただくため、以下の点にご配慮ください。

トナーカートリッジを取り扱うときは以下の点にご注意ください

- トナーカートリッジの交換は、取扱説明書をよくお読みのうえ正しい手順で行ってください。
- トナーカートリッジの容器を無理に開けないでください。トナーが漏れたり飛散したりする原因となります。
- 万一、トナーカートリッジからトナーが漏れたときは、トナーを吸入したりトナーが目に入ったたりしないようご注意ください。
- トナーカートリッジは、子どもが手を触れない場所に保管してください。
- 万一、トナーを過度に吸引したり、子どもがトナーを飲み込んだりした場合は、直ちに水で十分にうがいし、医師の診断を受けてください。
- 万一、トナーが目に入った場合は、直ちに水で十分に洗眼し、医師の診断を受けてください。

換気のよい場所で使用してください

換気の悪い部屋で長時間使用したり大量にコピーしたりすると、オゾンなどの臭気が気になって、快適な環境を保てない原因となります。また、複写動作中は化学物質が放散します。本機を使用するときは、十分に換気・通気するように心がけてください。

粉塵・オゾン・スチレン・ベンゼンおよびTVOC(総揮発性有機化合物)の放散については、エコマークNo.117「複写機 Version2.1」の、物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。(東芝純正トナーカートリッジを使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法: JIS X 6936に基づき試験を実施しました。)

古紙100%の再生紙を使用できます

古紙パルプ配合率100%の再生紙を用紙としてご使用いただけます。

用紙の両面にコピーできます

本機は自動両面ユニット(オプション)を使用できます。用紙の削減にお役立てください。

節電機能を備えています

本機は、使用していない間の消費電力を抑える節電機能を備えています。

低電力モード

本機を最後に使用してから一定時間^{*1}(工場出荷時の初期設定では5分)経過すると、自動的にこの状態に移行します。液晶画面には「節電しています」と表示されます。

スリープモード

本機を最後に使用してから一定時間^{*1}(工場出荷時の初期設定では20分)経過すると、自動的にこの状態に移行します^{*2}。液晶画面には「スリープモード中です」と表示されます^{*3}。

各モードの消費電力は、国際エネルギースタープログラムが定める消費電力基準値以下に設定されています。

低電力モード： 18 W(本機単体、または本機とコンピュータをUSBケーブルで接続している場合)

スリープモード： 4 W(コンピュータをUSBケーブルで接続している場合は18 W)

環境への取り組みに関する情報や、その他の製品情報につきましては、東芝テック株式会社ホームページ <http://www.toshibatec.co.jp/> をご覧ください。

- *1 低電力モードおよびスリープモードに移行するまでの時間は変更できます。詳しくは以下のページを参照してください。
□ P.125「各種タイマの設定」
- *2 スリープモードの状態、プリントデータを受信するか、操作パネル上の[節電]ボタン/[スタート]ボタン/モードボタンのいずれかを押し、本機はウォームアップを開始します。ウォームアップが完了してレディ状態になるとプリントを開始します。
- *3 オプションのネットワークプリンタユニットを装着している場合、または本機とコンピュータをUSBケーブルで接続している場合に表示されます。本機をスタンドアロンで使用している場合は液晶画面の表示は消えます。

推奨トナーカートリッジについて

最適な印刷品質を得るため、東芝製トナーカートリッジの使用をお勧めします。推奨トナーカートリッジをお使いになりますと、本機が備える以下の2つの機能がご利用いただけます。

カートリッジチェック機能:

トナーカートリッジが本機に正しく挿入されているかチェックし、挿入されていない場合にお客様にお知らせする機能です。

トナー残量チェック機能:

トナーが残り少なくなるとお客様にお知らせする機能です。また、トナーが少なくなったことを弊社販売店に自動的に連絡する機能も備えています。

推奨品以外のトナーカートリッジをお使いの場合は、トナーカートリッジが挿入されているかどうか認識できない可能性があります。そのため、カートリッジが挿入されていても、画面に「トナーが認識されません」とメッセージが表示され、通常の印刷ができず、トナー残量チェック機能および弊社販売店への自動連絡機能もご利用になれない可能性があります。

推奨品以外のトナーカートリッジをお使いになるお客様で、不都合を感じる場合は、弊社販売店までご連絡いただければチェック機能の解除も可能です。ただし、この機能を解除しますと、推奨トナーカートリッジをお使いの場合でも、上記の機能をご利用になれなくなりますので十分にご注意ください。

1

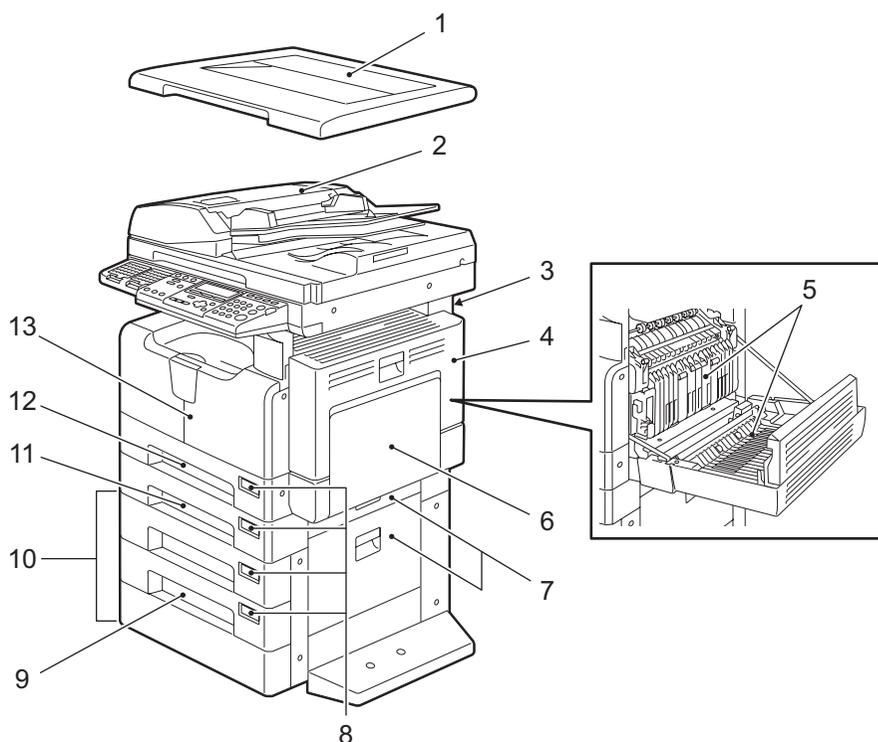
準備する

本機の電源の入れかた、用紙のセットのしかたなど、本機をご使用になる前に必要な準備について説明しています。

各部の名称と働き	26
前面／右側面	26
左側面／内部	28
本機のオプション構成について	30
操作パネル	31
「コピーモード」メイン画面の表示	34
準備1 電源を入れる	35
電源を入れる	35
使わないときの電力消費を抑える一節電モード	36
準備2 用紙をセットする	37
使用できる用紙の種類	37
推奨紙について	38
カセットに用紙をセットする	39
多段給紙装置(オプション)のカセットに用紙をセットする	43
準備3 セットした用紙のサイズを登録する	47
定形サイズ(A3、A4、A4-R、B4、B5、B5-R)の場合	47
その他の定形サイズの場合	49

各部の名称と働き

前面／右側面



1. 原稿カバー(オプション、KA-1640PC)

原稿ガラス上に原稿をセットして、カバーを閉じた状態でコピーします。

2. 自動両面原稿送り装置(オプション、MR-3019)／自動原稿送り装置(オプション、MR-2017)

セットした原稿を自動的に1枚ずつ読み込みます。原稿を一度に最大100枚(または積載高さ16 mm)までセットできます。(セットできる枚数は原稿の種類によって異なります。)自動両面原稿送り装置(MR-3019)では、両面原稿の読み込みもできます。

☞ P.56「自動(両面)原稿送り装置(オプション)に原稿をセットする」

☞ P.176「紙がつまったときは」

3. 取扱説明書ポケット(背面)

取扱説明書を保管します。

4. サイドカバー

5. 自動両面ユニット(オプション、MD-0103)

装着すると、用紙の両面への印字が可能になります。

6. 手差しトレイ

厚紙のほか、はがき、OHPフィルム、トレーシングペーパーなどの特殊な用紙にコピーするときに使用します。

☞ P.61「手差しトレイを使ってコピーする」

☞ P.176「紙が詰まったときは」

7. 給紙カバー(上:給紙ユニット、下:多段給紙装置)

8. 用紙サイズ表示窓

9. 給紙カセット(オプション、MY-1028)

多段給紙装置(KD-1022J)に給紙カセットを1段増やします。普通紙を一度に最大550枚(64~80 g/m²)までセットできます。

10. 多段給紙装置(オプション、KD-1022J)

給紙カセットを1段増やします。また、給紙カセット(MY-1028)(9)を追加してさらにもう1段増やすこともできます。1つのカセットに普通紙を一度に最大550枚(64~80 g/m²)までセットできます。

11. 給紙ユニット(オプション、MY-1027J)

給紙カセットを1段増やします。普通紙を一度に最大250枚までセットできます。

12. 給紙カセット

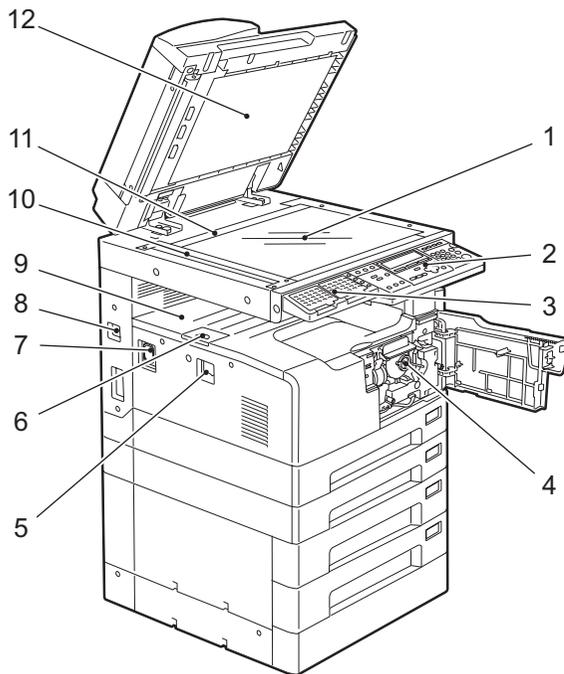
普通紙を一度に最大250枚までセットできます。

13. フロントカバー

トナーカートリッジを交換するときなどに開けます。

☞ P.187「トナーカートリッジを交換する」

左側面／内部



1. 原稿ガラス

普通紙のほか、OHPフィルムやトレーシングペーパーなどの特殊紙や冊子、立体物などをコピーするときに使用します。

☞ P.52「原稿をセットする」

2. 操作パネル

コピーの実行や、コピー部数の入力、その他各種機能の設定などを行います。

☞ P.31「操作パネル」

3. 拡張キーボード(オプション、GJ-1040)

オプションのスキャン機能やファクス機能を使うときに、送信先の指定などを行います。

4. トナーカートリッジ

☞ P.24「推奨トナーカートリッジについて」

☞ P.187「トナーカートリッジを交換する」

5. 電源スイッチ

本機の電源をオン／オフします。

☞ P.35「準備1 電源を入れる」

6. 排紙ストップパ

排紙した用紙が落ちるのを防ぎます。A3やB4など、大きいサイズの下紙に大量にコピーするときに開いて使います。

7. AC IN端子

付属の電源ケーブルを接続します。

8. USB端子(4ピン)

市販のUSBケーブルを使って、コンピュータと接続します。

注意

- USB2.0 Hi-Speed規格認証ケーブル(USB Implementers Forumで認証された、USB2.0のHi-Speedモード(転送速度480 Mbps)に対応したUSBケーブル)を使用してください。
- 本機とコンピュータはUSBケーブルで直接接続してください。USBハブなどを経由して接続すると、正しく動作しない場合があります。

9. 排紙トレイ

10. 原稿読み取り部

オプションの自動両面原稿送り装置(MR-3019)／自動原稿送り装置(MR-2017)によって送られてくる原稿が読み込まれます。

📖 P.200「日常のお手入れ」

11. 原稿スケール

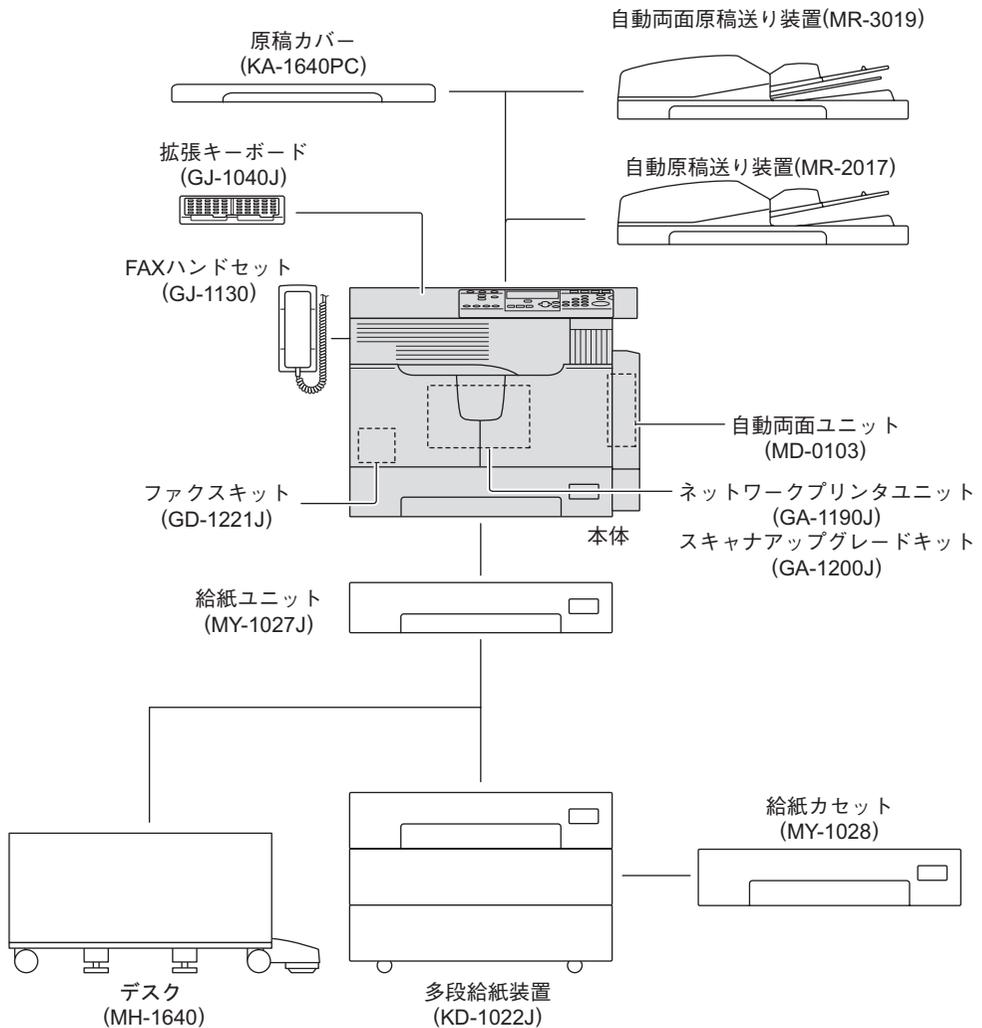
原稿ガラス上に置いた原稿の大きさを確認できます。

12. 原稿押さえ

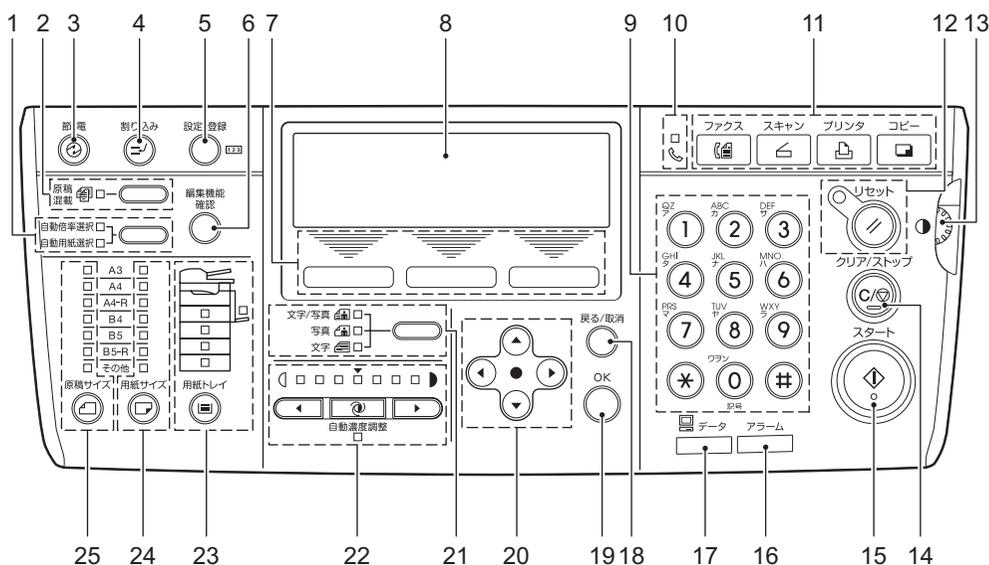
📖 P.200「日常のお手入れ」

本機のオプション構成について

以下のオプション機器が使えます。詳しくはサービスエンジニア、または弊社販売店にお問い合わせください。



操作パネル



1. 自動用紙選択・自動倍率選択ボタン／ランプ

自動用紙選択:セットした原稿のサイズを本機が検知して、同じサイズの内紙を自動的に選択します。

☞ P.69「用紙の選択方法を切り替える」

自動倍率選択:使用する用紙のサイズをあらかじめ設定します。セットした原稿のサイズを本機が検知して、用紙のサイズに合ったコピー倍率に自動的に設定します。

☞ P.74「指定した用紙に合う倍率でコピーする－自動倍率選択－」

2. [原稿混載] ボタン／ランプ

サイズが異なる原稿をコピーするときに押します。

原稿混載について詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ P.72「サイズが異なる原稿を一緒にコピーする－原稿混載－」

3. [節電] ボタン

本機を使わないときに節電状態にします。

節電モードについて詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ P.36「使わないときの電力消費を抑える－節電モード－」

4. [割り込み] ボタン

すでに始まっているコピー動作の途中で別の原稿をコピーしたいときに押します(割り込みコピー)。

割り込みコピーについて詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ P.60「コピー動作を中断して、別の原稿をコピーする－割り込みコピー－」

5. [設定/登録] ボタン

本機の初期設定を変更するときに押します。

初期設定の変更のしかたについて詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ P.113「本機の設定を変更する」

6. [編集機能確認] ボタン

現在設定されているコピー機能を確認するときに押します。

☞ P.68「設定した機能を確認する」

7. セレクトボタン(左・中央・右)

メニュー操作時に使用します。各ボタンに対応する操作は液晶画面の下段に表示されます。

例)「コピーモード」メイン画面の場合



☞ P.34「[「コピーモード」メイン画面の表示]」

8. 液晶画面

各種メニューのほか、エラーの発生をお知らせするメッセージなどを表示します。

☞ P.34「[「コピーモード」メイン画面の表示]」

9. テンキー

コピー部数を入力するときなどに使用します。

10. ファクス通信ランプ

ファクス送受信時に点滅します。また、FAXハンドセット(オプション)や外付け電話機の受話器を取ったときにも点滅します。

11. モードボタン

コピー、プリンタ、スキャン、ファクスの各モードに切り替えます。

注意

スキャン機能を使うには、オプションのスキヤナアップグレードキットが必要です。

ファクス機能を使うには、オプションのファクスキットが必要です。

12. [リセット]ボタン/ランプ

コピーが終わるとランプが点滅します。ボタンを押すと、設定したコピー機能が解除されます。

13. コントラスト調整つまみ

液晶画面(8)の明るさを調整します。

14. [クリア/ストップ]ボタン

実行中のコピー動作を停止したり、入力したコピー部数を「1」に戻したりするときに押します。

15. [スタート]ボタン

コピーを開始します。

基本的なコピーのしかたについては、以下のページを参照してください。

📖 P.57「コピーする」

16. [アラーム]ランプ

紙がつまる、トナーがなくなるなどのエラーが生じたときに点滅します。

📖 P.174「画面にメッセージが表示される」

17. [データ]ランプ

プリントデータやファクスを受信しているときに点滅します。

18. [戻る/取消]ボタン

メニュー操作時に、設定を取り消して、1つ前の画面に戻ります。

19. [OK]ボタン

メニュー操作時に、選択を決定します。

20. (上下左右)ボタン

メニュー操作時に、設定したい項目を選びます。選んでいる項目は反転表示されます。

21. 原稿モードボタン／ランプ

原稿に合わせて画質を切り替えます。

画質について詳しくは、以下のページを参照してください。

📖 P.79「原稿に合った画質を選ぶ」

22. 濃度調整ボタン／ランプ

コピー濃度を設定します。自動濃度調整時は、 (自動濃度調整)ボタンのランプが点灯します。

コピー濃度の調整について詳しくは、以下のページを参照してください。

📖 P.80「コピー濃度を調整する」

23. [用紙トレイ]ボタン／ランプ

給紙元として使用したいカセットまたは手差しトレイを選びます。現在選択している給紙元のランプが点灯します。また給紙用の用紙がなくなると、ランプが点滅します。

用紙がなくなったときは、以下のページを参照して用紙をセットしてください。

📖 P.37「準備2 用紙をセットする」

24. [用紙サイズ]ボタン／ランプ

使用する用紙のサイズを選びます。現在選択しているサイズの用紙がカセットや手差しトレイにセットされていない場合は、ランプが点滅します。

詳しくは、以下のページを参照してください。

📖 P.70「使いたい用紙を自分で選択する—マニュアル用紙選択—」

25. [原稿サイズ]ボタン／ランプ

原稿のサイズを指定します。

☞ P.76「原稿と用紙のサイズを指定する」

「コピーモード」メイン画面の表示

本機の電源を入れてウォームアップが終わると、液晶画面には以下のように表示されます。この画面を「コピーモード」メイン画面と呼びます。



補足

工場出荷時の初期設定では、電源を入れた後に「コピーモード」メイン画面が表示されるようになっています。初期設定を変更して、ファクスやスキャンなど他のモードのメイン画面を表示させることもできます。

☞ P.123「優先画面の設定」

1. メッセージ表示エリア

本機の現在の状況やエラーメッセージなどを表示します。

2. コピー一部数

3. コピー倍率

4. セレクトボタン表示

セレクトボタン(左・中央・右)に対応する操作を表示します。

倍率: コピー倍率を手動で指定します。

☞ P.77「手動でコピー倍率を指定する」

お好み機能: お好み機能として登録したコピー機能呼び出します。よく使う機能をお好み機能として登録しておく、すばやく呼び出すことができ便利です。

☞ P.151「お好み機能の設定」

編集: コピー機能メニューを表示します。各種コピー機能呼び出すときに選びます。

☞ P.82「コピー機能メニューについて」

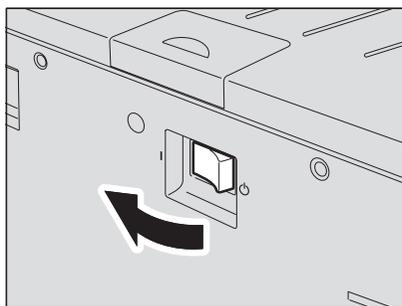
5. お好み機能設定

お好み機能として登録している機能の、現在の設定を表示します。

準備1 電源を入れる

電源を入れる

- 1 電源スイッチを「|」(オン)側に押します。



ウォームアップを開始します。ウォームアップには約25秒かかります。ウォームアップが終了するとコピーできる状態になります。画面には「コピーできます」と表示されます。

コピーできます		1
100%	ノンソート	
拡大・縮小	仕上げ	画像編集

補足

ウォームアップ中に原稿をセットして[スタート]ボタンを押すと、ウォームアップ終了後に自動的にコピーを開始できます(予約スタート機能)。予約を受け付けると、画面に「スタート予約を受け付けました」と表示されます。

- 2 部門管理機能を使って本機を管理している場合は、以下の画面が表示されます。部門コードを入力します。

部門コードを入れて下さい		1
100%	ノンソート	
拡大・縮小	仕上げ	画像編集

5桁の部門コードをテンキーで入力して[OK]ボタンを押してください。コピーできる状態になります。

補足

部門管理機能を使用している場合は、不正使用を防ぐため本機を使用後に[リセット]ボタンを押してください。

部門コードについて詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ P.137「部門管理」

電源を切るときは

電源スイッチを「」(オフ)側に押します。

使わないときの電力消費を抑えるー節電モードー

本機を最後に使用してから一定時間が経過すると、消費電力を抑えるため自動的に節電モードに移行します。手動で節電モードに切り替えることもできます。

補 足

節電モードへの移行時間は、工場出荷時は20分に設定されています。

手動で節電モードに切り替える

[節電]ボタンを押します。



節電モードに切り替わります。画面表示が消え、[節電]ランプが点灯します。

注 意

オプションのネットワークプリンタユニットを装着している場合、または本機とコンピュータをUSBケーブルで接続している場合は、画面には「スリープモード中です」と表示されます。

節電モードを解除するには

[節電]ボタンを押してください。節電モードが解除されます。

節電モードは以下の場合にも解除されます。

- 原稿力パー(オプション)や自動(両面)原稿送り装置(オプション)を開けたとき
- 本機とコンピュータをUSBケーブルで接続したとき
- 本機にUSBケーブルで接続したコンピュータから印刷したとき
- 本機にネットワーク経由で接続したコンピュータから印刷したとき
- 本機に接続したコンピュータで、TOSHIBA Viewer から設定変更のような通信を伴う操作をしたとき
- ファクスを受信したとき
- (画面に「スリープモード中です」と表示されている場合のみ)操作パネル上の[節電]ボタン/[スタート]ボタン/モードボタンのいずれかを押したとき

準備2 用紙をセットする

コピーする前に、あらかじめ用紙をセットしておきます。

使用できる用紙の種類

給紙元によって、使用できる用紙の種類が異なります。詳しくは以下の表を参照してください。

給紙元	用紙の種類	用紙サイズ	セット可能枚数 ^{*1}
本体および、オプションの給紙ユニットのカセット	普通紙 (64~80 g/m ²)	AB系列: A3, A4, A4-R, B4, B5, B5-R, FOLIO	250枚 (64 g/m ²) 250枚 (80 g/m ²)
		LT系列: LD, LG, LT, LT-R, COMP	
オプションの多段給紙装置のカセット	普通紙 (64~80 g/m ²)	AB系列: A3, A4, A4-R, A5-R, B4, B5, B5-R, FOLIO LT系列: LD, LG, LT, LT-R, ST-R, COMP	550枚 (64 g/m ²) 550枚 (80 g/m ²)
手差しトレイ	普通紙 (64~80 g/m ²)*2	AB系列: A3, A4, A4-R, A5-R, B4, B5, B5-R, FOLIO LT系列: LD, LG, LT, LT-R, ST-R, COMP	100枚 (64 g/m ²) 100枚 (80 g/m ²)
	厚紙1 (81~105 g/m ²)*3		1枚 (81~105 g/m ²)
	厚紙2 (106~163 g/m ²)*3		1枚 (106~163 g/m ²)
	トレーシングペーパー (75 g/m ²)*3		1枚
	ラベル紙 ^{*3}	A4のみ	1枚
	OHPフィルム ^{*3, *4}	A4のみ	1枚
	はがき (190 g/m ²)*3, *5	100 mm × 148 mm (横置きのみ)	1枚

*1 東芝推奨紙を使用した場合の枚数です。推奨紙については以下のページを参照してください。
□ P.38「推奨紙について」

*2 手差しトレイに1枚ずつセットする場合は、50~63 g/m²の用紙も使えます。

*3 自動両面コピーはできません。

*4 OHPフィルムは必ず弊社指定のものをお使いください。指定以外のOHPフィルムを使用すると故障の原因となることがあります。

*5 郵便はがきのみ使用できます。インクジェット用はがき、写真用はがき、折り目付き往復はがき、私製はがきは使用できません。

注意

- 1つのカセットに、種類の異なる用紙を混ぜてセットすることはできません。
- LT系列とは、北米で使用されている定形サイズです。

補足

LT系列の用紙サイズの略号は以下のとおりです。

LT:レター、LD:レジャー、LG:リーガル、ST:ステートメント、COMP:コンピュータ

推奨紙について

きれいな画質でコピーをおとりいただくため、以下の用紙をお使いになることをお勧めします。推奨紙以外のコピー用紙をご使用になりたい場合は、弊社サービスエンジニアにお問い合わせください。

用紙の種類	名称	サイズ	
普通紙	東芝PPC ペーパー(P-50S) (64 g/m ²)	A3、A4、A5、	
	東芝リサイクルペーパー(P-RS) (64 g/m ²)	B4、B5	
厚紙1	東芝フルカラーコピー推奨紙 (105 g/m ²)	A3、A4、B4、 B5	
厚紙2	東芝フルカラーコピー推奨紙		(127 g/m ²)
			(157 g/m ²)
トレーシングペーパー	オーストリッチインターナショナルトレーシングペーパー (75 g/m ² のみ)		
ラベル紙	東芝推奨ラベル紙	A4	
OHPフィルム*1	TIE紙	A4	
はがき	郵便はがき(190 g/m ²)		

*1 OHPフィルムは必ず弊社指定のものをお使いください。指定以外のOHPフィルムを使用すると故障の原因となることがあります。

使用できない用紙

紙づまりの原因となりますので、以下のような用紙は使用しないでください。

- 湿っている用紙
- 折り目のある用紙
- しわやくせがある用紙
- つるつるした用紙、ごわごわした用紙

故障の原因となりますので、以下のような用紙は使用しないでください。

- 表面に特殊加工を施した用紙
- 他の複写機やプリンタで一度印刷した用紙

用紙の保管について

用紙を保管するときは以下の点にご注意ください。

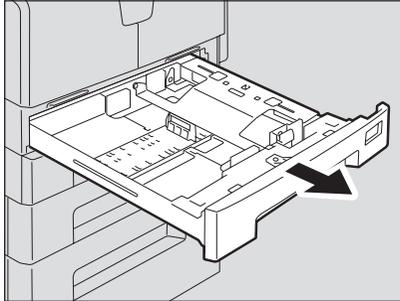
- 用紙にほこりが付かないよう、開封後の包装紙などに包んでください。
- 直射日光が当たらないところに保管してください。
- 湿気の少ないところに保管してください。
- 用紙が折れたり曲がったりしないように、水平な状態で保管してください。

カセットに用紙をセットする

以下の手順に従って、カセットに用紙をセットします。
カセットにセットできる用紙については、以下のページを参照してください。

📖 P.37「使用できる用紙の種類」

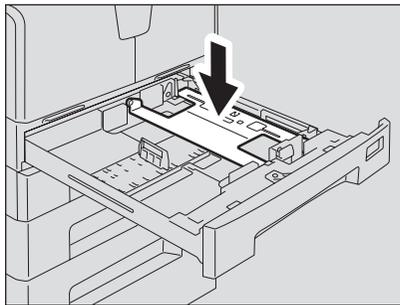
- 1 本機の電源を入れます。
- 2 カセットを手前に静かに引き出します。



注意

カセットは止まるまで引き出してください。

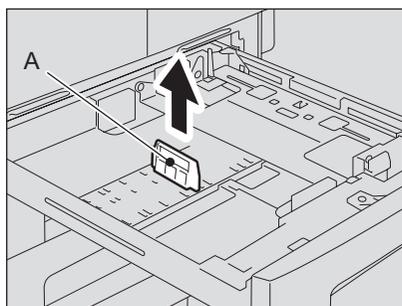
- 3 用紙プレートを押し下げます。



注意

カチッと音がして、プレートが上に持ち上がらなくなるまで押し下げてください。

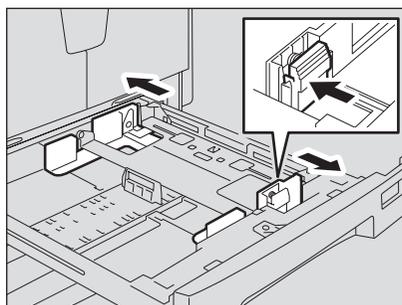
4 後端ガイド(A)を抜き取り、希望の用紙サイズの位置に差し込みます。



補足

カセットの底面に用紙サイズが表示されています。

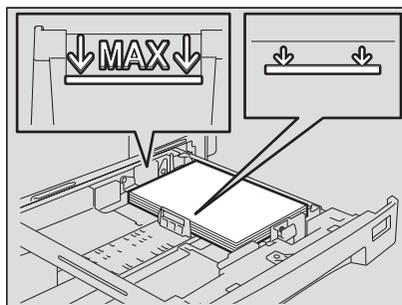
5 緑色のレバーを押さえながら、サイドガイドをいっぱいまで広げます。



注意

サイドガイドは両手で広げてください。

6 カセットに用紙を入れます。

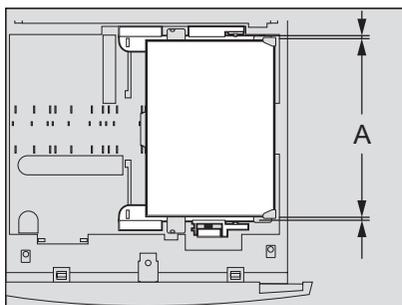


注意

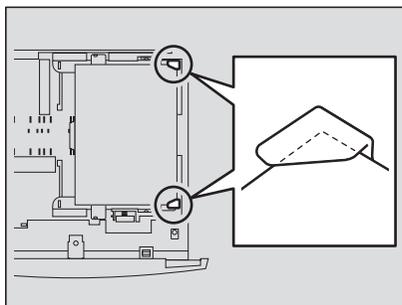
- 用紙は最大250枚(64~80 g/m²)までセットできます。サイドガイドおよび後端ガイドの内側にある上限表示を超えないようにしてください。
📖 P.37「使用できる用紙の種類」
- 用紙はよくさばいてからセットしてください。よくさばかないと二重送りの原因となります。用紙をさばくときは、用紙で指を切らないようにご注意ください。
- コピーする面を上にしてセットしてください。用紙の印字面は、用紙の包装紙などに記載されている場合があります。

7 サイドガイドを用紙サイズに合わせて調節します。

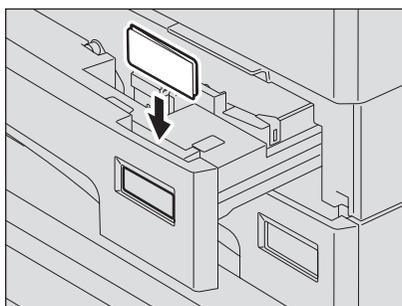
用紙とサイドガイドの間(図のAの部分)に0.5 mm以下(両側合わせて1.0 mm以下)のすき間ができるようにサイドガイドを調節してください。すき間が適切でないと給紙ミスの原因となります。



8 サイドガイドのツメの下に用紙が収まっていることを確認します。



9 セットした用紙に合わせて、用紙サイズ表示窓の中身を変更します。



10 カセットを、止まるまでまっすぐ静かに押し込みます。

⚠注意

カセットを閉める際には、指を挟まないように注意すること
けがの原因となります。

用紙をセットしたら用紙サイズを登録してください

用紙をセットしたら、セットした用紙のサイズを本機に登録してください。正しく登録しないと紙づまりの原因となります。

用紙サイズの登録のしかたについては、以下のページを参照してください。

☞ P.47「準備3 セットした用紙のサイズを登録する」

注意

用紙サイズの登録は、はじめて用紙をセットするときだけでなく、それまでにカセットに入っていた用紙とは異なるサイズの用紙をセットしたときにも必ず行ってください。

補足

カセットを開めたときに用紙サイズの登録画面を自動的に表示させることができます。用紙をひんばんに入れ替える場合に便利です。

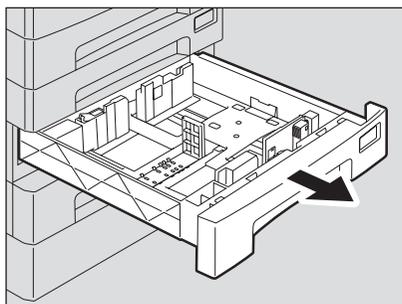
☞ P.167「用紙サイズの変更確認表示の設定」

多段給紙装置(オプション)のカセットに用紙をセットする

以下の手順に従って、多段給紙装置のカセットに用紙をセットします。
カセットにセットできる用紙については、以下のページを参照してください。

📖 P.37「使用できる用紙の種類」

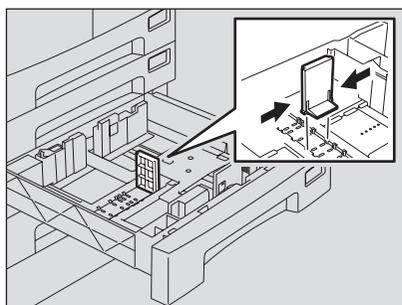
1 多段給紙装置のカセットを手前に静かに引き出します。



注意

カセットは止まるまで引き出してください。

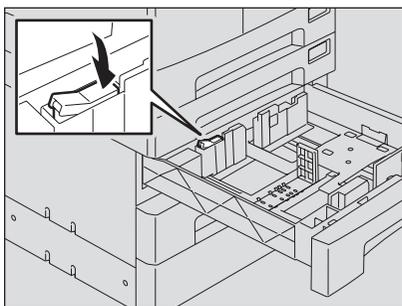
2 後端ガイドの下部を矢印方向に押しながら抜き取り、希望の用紙サイズの位置に差し込みます。



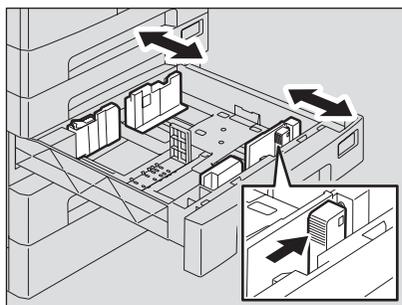
補足

カセットの底面に用紙サイズが表示されています。

3 サイドガイドロックの右側を押して、ロックを解除します。



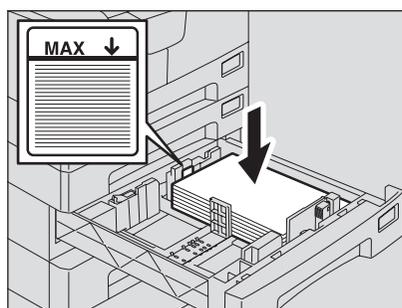
4 緑色のレバーを押さえながら、サイドガイドを希望の用紙サイズに合わせます。



注意

サイドガイドの調節は両手で行ってください。

5 カセットに用紙を入れます。

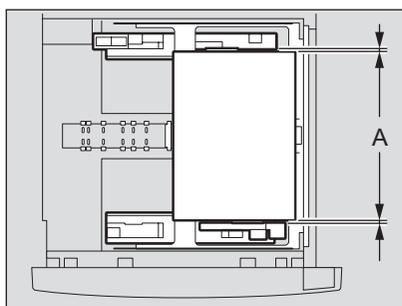


注意

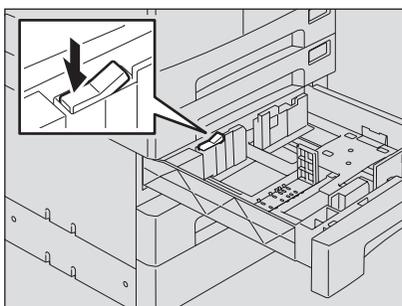
- 用紙は最大550枚(64~80 g/m²)までセットできます。サイドガイドの内側にある上限表示を超えないようにしてください。
📖 P.37「使用できる用紙の種類」
- 用紙はよくさばいてからセットしてください。よくさばかないと二重送りの原因となります。用紙をさばくときは、用紙で指を切らないようにご注意ください。
- コピーする面を上にしてセットしてください。用紙の印字面は、用紙の包装紙などに記載されている場合があります。

6 サイドガイドを調節します。

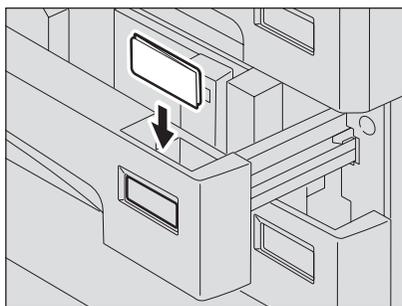
用紙とサイドガイドの間(図のAの部分)に、0.5 mm以下(両側合わせて1.0 mm以下)のすき間ができるようにサイドガイドを調節してください。すき間が適切でないと給紙ミスの原因となります。



7 サイドガイドロックの左側を押して、ロックします。



8 セットした用紙に合わせて、用紙サイズ表示窓の中身を変更します。



9 カセットを、止まるまでまっすぐ押し込みます。

⚠ 注意

カセットを閉める際には、指を挟まないように注意すること
けがの原因となります。

用紙をセットしたら用紙サイズを登録してください

用紙をセットしたら、セットした用紙のサイズを本機に登録してください。正しく登録しないと紙づまりの原因となります。

用紙サイズの登録のしかたについては、以下のページを参照してください。

📖 P.47「準備3 セットした用紙のサイズを登録する」

注意

用紙サイズの登録は、はじめて用紙をセットするときだけでなく、それまでにカセットに入っていた用紙とは異なるサイズの用紙をセットしたときにも必ず行ってください。

補足

カセットを開めたときに用紙サイズの登録画面を自動的に表示させることができます。用紙をひんばんに入れ替える場合に便利です。

📖 P.167「用紙サイズの変更確認表示の設定」

準備3 セットした用紙のサイズを登録する

はじめて用紙をセットするときや、それまでにカセットに入っていた用紙とは異なるサイズの用紙をセットしたときには、セットした用紙のサイズを本機に登録する必要があります。登録のしかたは、定形サイズ(A3、A4、A4-R、B4、B5、B5-R)と、その他の定形サイズの場合で異なります。

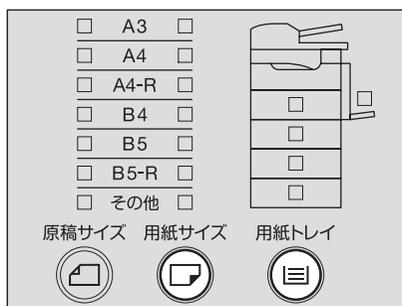
補足

- 用紙サイズの登録は、設定/登録画面から行うこともできます。
📖 P.121「用紙サイズの設定」
- カセットを閉じたときに用紙サイズの登録画面を自動的に表示させることができます。用紙をひんばんに入れ替える場合に便利です。
📖 P.167「用紙サイズの変更確認表示の設定」

定形サイズ(A3、A4、A4-R、B4、B5、B5-R)の場合

ここでは、本体のカセットにA4サイズの用紙をセットした場合を例に、用紙サイズの登録の手順を説明します。

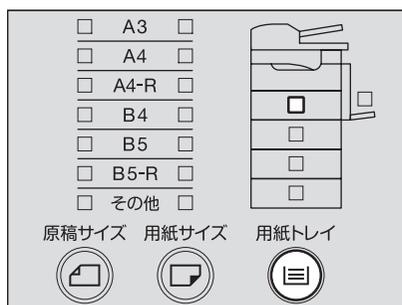
- 1 [用紙トレイ] ボタンと[用紙サイズ] ボタンを同時に2秒以上押したままにします。



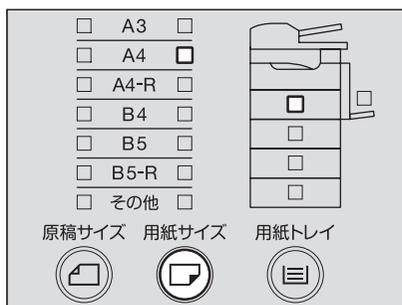
画面に以下のように表示されます。



- 2** [用紙トレイ] ボタンを必要な回数押して、用紙をセットしたカセットを選びます。



- 3** [用紙サイズ] ボタンを必要な回数押して、セットした用紙のサイズを選びます。



ここで[戻る/取消]ボタンを押すと、用紙サイズの登録はされず、通常の状態に戻ります。

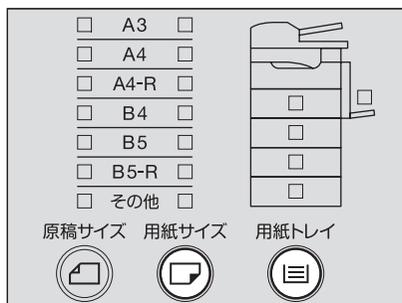
- 4** [OK] ボタンを押します。
用紙サイズが登録されます。

その他の定形サイズの場合

A3、A4、A4-R、B4、B5、B5-R以外の定形サイズ用紙をセットしたときは、セットした用紙のサイズを「その他」サイズとして登録します。

ここでは、本体のカセットにLTサイズ用紙をセットした場合を例に、用紙サイズの登録の手順を説明します。

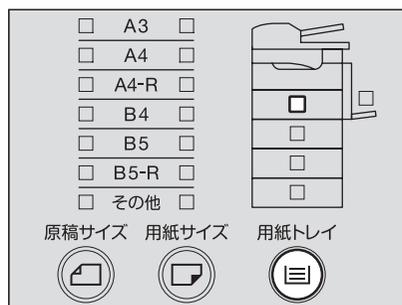
- 1 [用紙トレイ] ボタンと [用紙サイズ] ボタンを同時に2秒以上押したままにします。



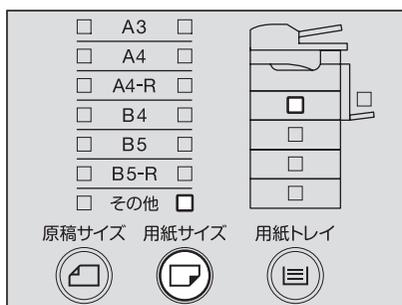
画面に以下のように表示されます。



- 2 [用紙トレイ] ボタンを必要な回数押して、用紙をセットしたカセットを選びます。

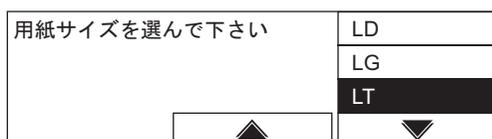


3 [用紙サイズ] ボタンを必要な回数押して、「その他」を選びます。



4 セレクトボタン(中央・右)または ▲ / ▼ ボタンを押して、セットした用紙のサイズを選びます。

例) LTサイズの用紙をセットした場合



5 [OK] ボタンを押します。

画面に以下のように表示されます。



6 [OK] ボタンを押します。

用紙サイズが「その他」サイズとして登録され、通常の状態に戻ります。

2

基本的なコピーのしかた

コピーの基本的なとりかたについて説明しています。

原稿をセットする	52
使用できる原稿の種類	52
原稿ガラス上に原稿をセットする	53
本・カタログなど冊子の原稿をセットする	54
自動(両面)原稿送り装置(オプション)を使う	55
自動(両面)原稿送り装置(オプション)に原稿をセットする	56
コピーする	57
コピーを停止/再開する	59
コピー動作を中断して、別の原稿をコピーする - 割り込みコピー -	60
手差しトレイを使ってコピーする	61
手差しコピーする(はがき以外)	62
はがきに手差しコピーする	65

原稿をセットする

使用できる原稿の種類

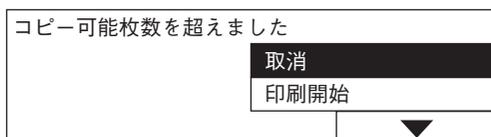
原稿ガラスには普通紙のほか、特殊紙、冊子、立体物をセットできます。オプションの自動(両面)原稿送り装置を使うと、普通紙の原稿を自動的に1枚ずつ読み込むことができます。

セットする場所	原稿の種類	最大サイズ	サイズ自動検知が可能なサイズ*1	備考
原稿ガラス	普通紙 特殊紙*2 冊子 立体物	縦:297 mm 横:432 mm	定形サイズのうち、A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R	*3
自動(両面)原稿送り装置(オプション)	普通紙		定形サイズのうち、A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO	*4、*5、*6、*7

- *1 LT系列のサイズの原稿では、サイズ自動検知機能は正しく働きません。(LT系列とは、北米で使用されている定形サイズです。)
- *2 自動(両面)原稿送り装置にはセットできない、OHPフィルムやトレーシングペーパーなど。
- *3 原稿ガラスに4 kg以上の重い物を載せたり、原稿を強く押し付けたりしないでください。
- *4 FOLIOサイズの原稿は、自動両面原稿送り装置にセットした場合のみ、サイズを自動検知できます。
- *5 原稿の坪量が、片面原稿・両面原稿ともに50~127 g/m²のもの。
- *6 原稿の紙の品質によっては使用できないものがあります。
- *7 A5サイズは必ず横向きにセットしてください。

一度に読み込める原稿の枚数は

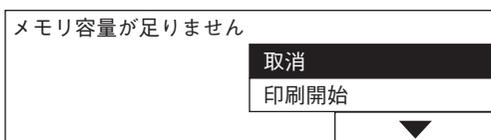
1回の読み込み動作で読み込める原稿の枚数は、A4サイズ原稿の場合、最大で250枚です。読み込み枚数が250枚を超えると読み込みが停止し、画面に「コピー可能枚数を超過しました」と表示されます。



読み込んだところまでコピーするときは「印刷開始」を選んでください。読み込んだ内容を取り消すときは「取消」を選んでください。

読み込み中に内蔵メモリの空き容量が不足した場合は

最大読み込み可能枚数に達していなくても、原稿を読み込んでいる途中で本機の内蔵メモリの空き容量が不足した場合は、読み込みが停止します。画面に「メモリ容量が足りません」と表示されます。



読み込んだところまでコピーするときは「印刷開始」を選んでください。読み込んだ内容を取り消すときは「取消」を選んでください。

原稿ガラス上に原稿をセットする

普通紙のほか、オプションの自動(両面)原稿送り装置にはセットできない、OHPフィルムやトレーシングペーパーなどの特殊紙を原稿ガラス上にセットします。

⚠注意

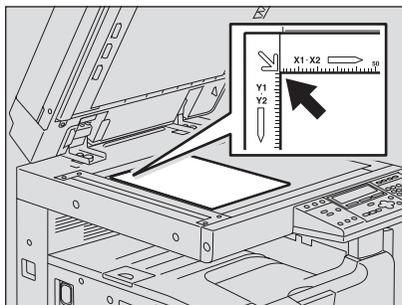
原稿ガラスの上に重い物(4 kg以上)を載せたり、強く押ししたりしないこと
ガラスが割れ、けがの原因となります。

- 1 原稿カバー(オプション)または自動(両面)原稿送り装置(オプション)を開きます。

注意

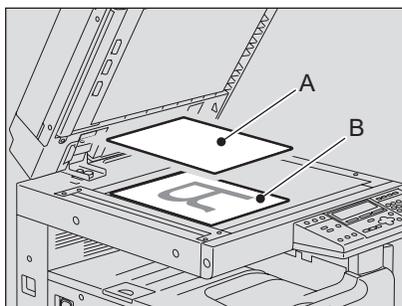
原稿のサイズを検知するため、原稿カバーや自動(両面)原稿送り装置は60度以上開いてください。

- 2 コピーしたい面を下にして、原稿ガラスの左奥コーナーに突き当てるようにして置きます。



透明度の高い原稿をコピーする場合は

OHPフィルムやトレーシングペーパーなど、透明度の高い原稿をコピーする場合は、原稿と同じかそれ以上の大きさの白紙(A)を原稿(B)の上に載せてください。



- 3 原稿カバー(オプション)または自動(両面)原稿送り装置(オプション)を静かに閉めます。

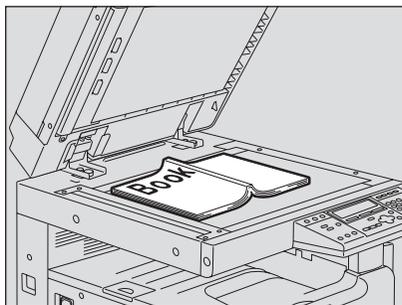
本・カタログなど冊子の原稿をセットする

冊子の原稿を、原稿ガラス上にセットします。

⚠注意

原稿ガラスの上に重い物(4 kg以上)を載せたり、強く押ししたりしないこと
ガラスが割れ、けがの原因となります。

- 1 原稿カバー(オプション)または自動(両面)原稿送り装置(オプション)を開きます。
- 2 コピーしたいページを開いて下に向け、原稿ガラスの左奥コーナーに突き当てるようにして置きます。



- 3 原稿カバー(オプション)または自動(両面)原稿送り装置(オプション)を静かに閉めます。

注意

- 厚い冊子を置いたときは無理に閉めないでください。閉めなくてもコピーはできます。
- コピー中は強い光がもれることがあります。原稿ガラス面を直視しないでください。

自動(両面)原稿送り装置(オプション)を使う

自動(両面)原稿送り装置に原稿をセットすると、原稿を自動的に1枚ずつ読み込むことができます。以下の原稿をセットすることができます。^{*1}

原稿の種類	最大サイズ	セット可能枚数	坪量
普通紙	縦:297 mm 横:432 mm	100枚(または積載高さ16 mm)	50~127 g/m ²

*1 両面原稿の読み込みには、自動両面原稿送り装置が必要です。

注意

- 原稿の紙の品質によっては使用できないものがあります。
- セットできる枚数は原稿の種類によって異なります。
- A5サイズは必ず横向きにセットしてください。
- 自動検知できる原稿のサイズは、定形サイズのうち、A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIOです。(FOLIOサイズの自動検知は、自動両面原稿送り装置使用時のみ可能です。)

自動(両面)原稿送り装置使用時のご注意

原稿づまりや破損の原因となりますので、以下のような原稿は使用しないでください。

- しわ、折れ、カールのひどい原稿
- カーボンが付いている原稿
- 貼り合わせ、切り抜きのある原稿
- クリップやステイプルなどで留めてある原稿
- 穴が開いている原稿、破損している原稿
- ぬれている原稿
- OHPフィルム、トレーシングペーパー
- コーティングシート(ワックス塗布など)
- 多穴原稿(ルーズリーフなど)

以下のような原稿は、充分注意して使用してください。

- 複数枚を指先で挟んでずらすことのできない原稿や、表面処理された原稿:すべりが悪いため、給紙時に1枚ずつ分離できない場合があります。
- 折り目のある原稿:折り目を伸ばしてから使用してください。

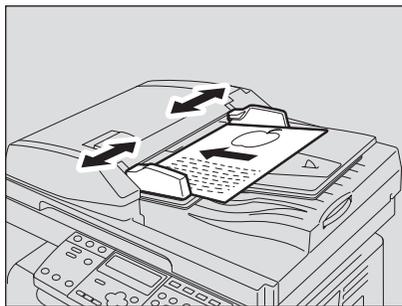
コピーに黒スジ等の汚れが出るときは

原稿読み取り部やガイド部が汚れていると、コピーに黒スジ等の汚れが出ることがあります。週1回程度のクリーニングをお勧めします。

 P.200「日常のお手入れ」

自動(両面)原稿送り装置(オプション)に原稿をセットする

- 1 原稿をよくそろえます。
- 2 コピーしたい面を上にしてまっすぐにセットし、サイドガイドを原稿の幅に合わせます。

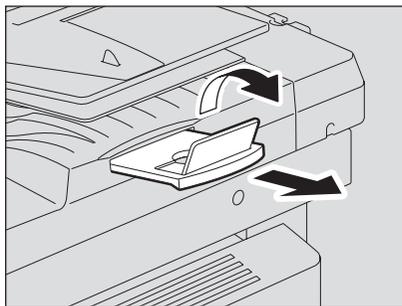


注意

- 原稿は一番上から順に読み込まれます。
- 原稿のサイズに関係なく、セットする原稿の量は100枚(50~80 g/m²)、または積載高さで16 mmを超えないようにしてください。

横長の原稿を大量にセットする場合は

読み込んだ原稿が飛び出さないよう、原稿ストッパを引き出してください。また、原稿ストッパを収納するときは、原稿ストッパを少し持ち上げて押してください。



コピーする

以下の手順でコピーします。

補足

コピーするときに、色々なコピー機能を使うことができます。詳しくは以下のページを参照してください。

📖 P.67「基本的なコピー機能を使う」

📖 P.81「便利なコピー機能を使う」

1 用紙がセットされていることを確認します。

使用できる用紙や、用紙のセットのしかたについては、以下のページを参照してください。

📖 P.37「使用できる用紙の種類」

📖 P.39「カセットに用紙をセットする」

📖 P.43「多段給紙装置(オプション)のカセットに用紙をセットする」

2 原稿をセットします。

使用できる原稿や、原稿のセットのしかたについては、以下のページを参照してください。

📖 P.52「使用できる原稿の種類」

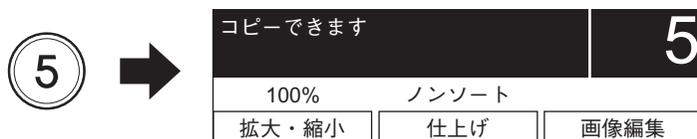
📖 P.56「自動(両面)原稿送り装置(オプション)に原稿をセットする」

📖 P.53「原稿ガラス上に原稿をセットする」

📖 P.54「本・カタログなど冊子の原稿をセットする」

3 複数部数コピーしたいときは、テンキーで部数を入力します。

例) 5部コピーしたい場合



補足

入力した部数を訂正したい場合は、[クリア/ストップ]ボタンを押してから入力し直してください。

4 必要に応じて、コピー機能を設定します。

📖 P.67「基本的なコピー機能を使う」

📖 P.81「便利なコピー機能を使う」

注意

機能によっては、他の機能と同時に使用できないものがあります。詳しくは以下のページを参照してください。

📖 P.211「コピー機能組み合わせ一覧」

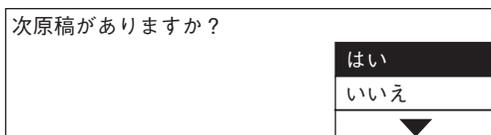
5 [スタート]ボタンを押します。

コピーが開始されます。印字面が下向き状態で排紙されます。

注意

排紙部および排紙直後の紙は熱いので、お取り扱いにはご注意ください。

画面に「次原稿がありますか？」と表示されたら

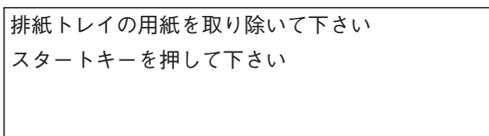


このメッセージは、原稿ガラス上に原稿をセットして、排紙方法に「ソート」を選んでいたり、両面コピーを行っていたりする場合に表示されます。

続きの原稿を原稿ガラス上にセットして[スタート]ボタンまたは[OK]ボタンを押してください。原稿が読み込まれます。すべての原稿を読み込み終わったら、「いいえ」を選んで[スタート]ボタンまたは[OK]ボタンを押してください。コピーが開始されます。

排紙した用紙が250枚を超えた場合は

排紙した用紙があふれるのを防ぐため、連続して約250枚排紙すると本機はコピー動作をいったん停止します。画面に以下のように表示されます。

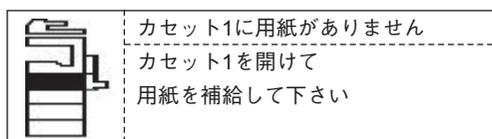


排紙トレイから用紙を取り除き、[スタート]ボタンを押してください。コピーが再開されます。コピーを中止したい場合は[クリア/ストップ]ボタンを押してください。画面に「メモリをクリアしますか？」と表示されます。「はい」を選んで[スタート]ボタンまたは[OK]ボタンを押してください。

コピー中に用紙がなくなったときは

コピーの途中で用紙がなくなった場合、他のカセットに同じサイズの用紙が同じ向きに入っていれば、自動的に給紙してコピーが続行されます。用紙が入っていない場合は、コピー動作が停止し、画面に以下のように表示されます。

例) 本体のカセットの用紙がなくなった場合



用紙がなくなったカセットの[用紙トレイ]ランプが点滅します。カセットに用紙をセットして、[スタート]ボタンを押してください。コピーが再開されます。

コピーを停止／再開する

原稿の読み込みやコピー動作を停止したいときは、[クリア/ストップ]ボタンを押します。

- 1 原稿読み込み中またはコピー動作中に、[クリア/ストップ]ボタンを押します。



原稿の読み込みやコピー動作が停止し、画面に以下のように表示されます。

メモリクリアしますか？	はい
	いいえ
	▼

または

ジョブキャンセルしますか？	はい
	いいえ
	▼

コピーを終了したい場合は、セレクトボタン(右)または \blacktriangle / \blacktriangledown ボタンを押して「はい」を選び、[スタート]ボタンまたは[OK]ボタンを押してください。

- 2 コピーを再開したい場合は、セレクトボタン(右)または \blacktriangle / \blacktriangledown ボタンを押して「いいえ」を選び、[スタート]ボタンまたは[OK]ボタンを押します。

画面に以下のように表示されます。

スタートキーをおして下さい		3
100%	ノンソート	
拡大・縮小	仕上げ	画像編集

- 3 [スタート]ボタンを押します。

コピー動作を中断して、別の原稿をコピーするー割り込みコピーー

コピー動作を中断し、別のコピーをとることができます(割り込みコピー)。また、中断したコピーに適用していた部数やコピー機能などの設定は本機に記憶されるので、コピー再開時にそれらを設定し直す必要はありません。

1 [割り込み] ボタンを押します。

[割り込み]ランプが点滅します。しばらくすると点灯状態に変わります。



画面に以下のように表示されます。



補 足

原稿読み込み中に[割り込み]ボタンを押した場合は、[割り込み]ランプが点滅し、読み込み動作が終わってから、[割り込み]ランプが点灯状態に変わります。

2 割り込ませたい原稿をセット(交換)します。

3 必要に応じてコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

割り込みコピーを開始します。

4 割り込みコピーが終わったら、[割り込み]ボタンを押します。

「元の状態に復帰しました」と表示され、割り込みコピー前の状態に復帰します。

補 足

[割り込み]ボタンを押さなくても、割り込みコピーが終わって一定時間経過するとオートクリア機能が働いて、自動的に割り込みモードが解除されます。

5 [スタート]ボタンを押します。

中断していたコピーが再開されます。

手差しトレイを使ってコピーする

以下の用紙にコピーする場合には、用紙を手差しトレイにセットしてください。

- 厚紙(81~163 g/m²のもの)
- トレーシングペーパー、ラベル紙、OHPフィルムなどの特殊紙
- 本体および、オプションの給紙ユニットのカセットにセットできない定形サイズの用紙 (A5-R, ST-R)
- はがき

また、カセットに入っている用紙以外の定形サイズの用紙にコピーしたい場合にも、手差しコピーが便利です。手差しトレイにセットできる用紙は以下のとおりです。

用紙の種類	用紙サイズ	セット可能枚数 ^{*1}
普通紙 (64~80 g/m ²)* ²	AB系列: A3, A4, A4-R, A5-R, B4, B5, B5-R, FOLIO	100枚 (64 g/m ²) 100枚 (80 g/m ²)
厚紙1 (81~105 g/m ²)* ³	LT系列: LD, LG, LT, LT-R, ST-R, COMP	1枚 (81~105 g/m ²)
厚紙2 (106~163 g/m ²)* ³		1枚 (106~163 g/m ²)
トレーシングペーパー (75 g/m ²)* ³		1枚
ラベル紙 ^{*3}		A4のみ
OHPフィルム ^{*3, *4}	A4のみ	1枚
はがき (190 g/m ²)* ^{3, *5}	100 mm × 148 mm (横置きのみ)	1枚

*1 東芝推奨紙を使用した場合の枚数です。推奨紙については以下のページを参照してください。
☞ P.38「推奨紙について」

*2 手差しトレイに1枚ずつセットする場合は、50~63 g/m²の用紙も使えます。

*3 自動両面コピーはできません。

*4 OHPフィルムは必ず弊社指定のものをお使いください。指定以外のOHPフィルムを使用すると故障の原因となることがあります。

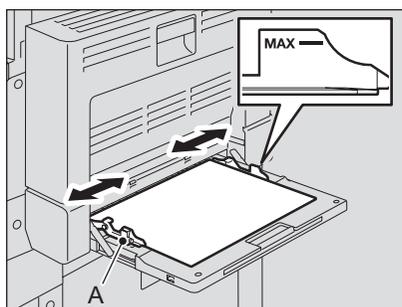
*5 郵便はがきのみ使用できます。インクジェット用はがき、写真用はがき、折り目付き往復はがき、私製はがきは使用できません。

手差しコピーする(はがき以外)

ここでは、A4サイズ用の紙にコピーする場合を例に、手差しコピーの手順を説明します。
はがきにコピーする場合の手順については、以下のページを参照してください。

📖 P.65「はがきに手差しコピーする」

- 1 コピーしたい面を下にして、用紙を手差しトレイにまっすぐにセットします。つまみ(A)を押さえながらサイドガイドを用紙の幅に合わせます。

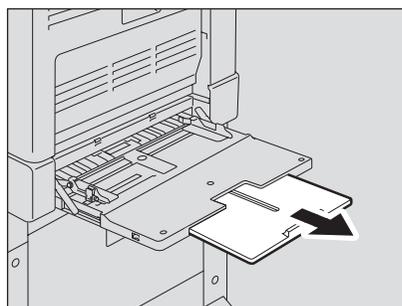


注意

- 普通紙(64~80 g/m²)の場合は、最大100枚までセットできます。その場合、サイドガイドの内側にある上限表示を超えていないことを確認してください。また、普通紙以外の用紙の場合は、1枚ずつセットしてください。
- 手差しトレイに複数枚の用紙をセットする場合は、セットする前に用紙をよくさばいてください。
- 用紙は強く押し込まないでください。給紙ミスの原因となります。

補足

用紙サイズが大きい場合は、用紙ホルダを引き出してください。



2 画面表示を確認します。

用紙サイズが登録されている場合は、以下のように表示されます。
この場合は手順5に進んでください。

手差しコピーできます		1
100%	ソート	
拡大・縮小	仕上げ	画像編集

用紙サイズが登録されていない場合は、以下のように表示されます。
この場合は、手順3に進んでください。

用紙サイズを選んで下さい	COMP
	はがき
	NON_SIZE

3 用紙サイズを設定します。

セレクトボタン(中央・右)または ▲ / ▼ ボタンを押してセットした用紙のサイズを選び、[OK]ボタンを押します。

例)A4サイズの内紙をセットした場合

用紙サイズを選んで下さい	A3
	A4
	A4-R

定形サイズ以外の用紙をセットした場合は、「NON_SIZE」を選びます。

4 用紙タイプを設定します。

セレクトボタン(右)または ▲ / ▼ ボタンを押して用紙タイプを選び、[OK]ボタンを押します。

例)厚紙(81~105 g/m²)の場合

用紙タイプ	厚紙1
	厚紙2
	OHP用紙

用紙タイプには以下の4つがあります。

厚紙1:厚紙(81~105 g/m²)

厚紙2:厚紙(106~163 g/m²)、ラベル紙

OHP用紙:OHPフィルム

普通紙:普通紙(64~80 g/m²)、トレーシングペーパー

注意

セットした用紙と異なる用紙タイプを選択すると、紙づまりを起こしたり、画質が著しく低下したりすることがあります。

5 原稿をセットします。**6 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。**

コピーを開始します。

注意

OHPフィルムにコピーするときは、1枚排紙するごとにOHPフィルムを排紙トレイから取り除いてください。排紙後のフィルムが重なると、フィルムのカールが大きくなり、OHPが映りにくくなる可能性があります。

補足

コピーの途中で手差しトレイ上の用紙がなくなった場合、カセットに同じサイズの用紙が入っていれば、カセット内の用紙を使ってコピーが続行されます。(ただし、手差しトレイにセットした用紙のサイズをあらかじめ登録しなかった場合は、コピー動作は停止します。この場合は手差しトレイに用紙を補給してから[スタート]ボタンを押してください。コピーを再開します。)

手差しコピーが終わったら

手差しトレイから用紙を取り除いた場合や用紙をすべて使い切った場合には、カセットから給紙するコピーに自動的に切り替わります。また、手差しトレイの用紙サイズの設定は解除されません。

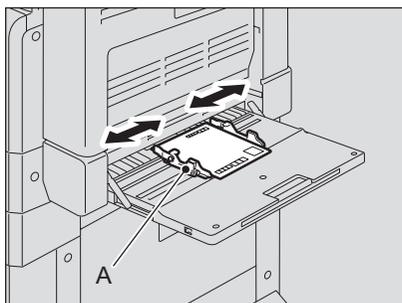
はがきに手差しコピーする

はがきを手差しトレイにセットした場合の手差しコピーの手順は以下のとおりです。

注意

郵便はがきのみ使用できます。インクジェット用はがき、写真用はがき、折り目付き往復はがき、私製はがきは使用できません。

- 1 はがきの下側を機体の方に向けて、コピーしたい面を下にしてセットします。つまみ(A)を押さえながらサイドガイドをはがきの幅に合わせます。

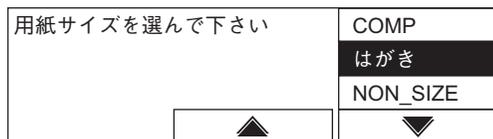


注意

- はがきがカールしている場合は、平らに伸ばしてからセットしてください。
- はがきは1枚ずつセットしてください。

2 用紙サイズを設定します。

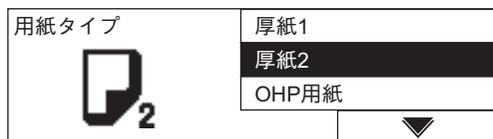
セレクトボタン(中央・右)または(▲) / (▼) ボタンを押して「はがき」を選び、[OK]ボタンを押します。



用紙タイプ設定画面が表示されます。

3 用紙タイプを設定します。

セレクトボタン(右)または ▲ / ▼ ボタンを必要な回数押して「厚紙2」を選び、[OK]ボタンを押します。

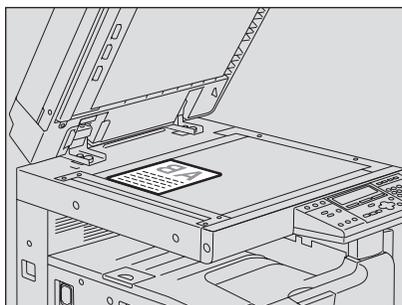


注意

「厚紙2」以外の用紙タイプを選択すると、紙づまりを起こしたり、画質が著しく低下したりすることがあります。

4 原稿ガラス上に原稿をセットします。

原稿ガラスの左奥コーナーに突き当てるようにして置きます。コピーしたい面を下にして、原稿の下側を本機の左側に向けてください。



5 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

コピーを開始します。

補足

手差しコピーが終了すると[リセット]ランプが点滅します。[リセット]ボタンを押すと、カセットから給紙するコピーに切り替わります。

3

基本的なコピー機能を使う

拡大・縮小コピー、画質の調整など、コピーするときと一緒に使う基本的な機能について説明しています。

コピー機能を使う前に	68
初期設定について	68
設定した機能を確認する.....	68
用紙の選択方法を切り替える	69
原稿と同じサイズの用紙を自動的に選択するー自動用紙選択ー	69
使いたい用紙を自分で選択するーマニュアル用紙選択ー	70
サイズが異なる原稿を一緒にコピーするー原稿混載ー	72
拡大・縮小コピーする	74
指定した用紙に合う倍率でコピーするー自動倍率選択ー	74
原稿と用紙のサイズを指定する	76
手動でコピー倍率を指定する	77
原稿に合った画質を選ぶ	79
コピー濃度を調整する	80

コピー機能を使う前に

初期設定について

本機の電源を入れた直後の、設定内容を何も変更していないときの設定の状態を初期設定と言います。電源を入れたときのほか、節電モードが解除されたとき、操作パネル上の[リセット]ボタンを押したときに、各種の設定が初期設定の状態になります。

基本的なコピー機能の、機体設置時の初期設定は以下のとおりです。

設定項目	設定内容	機体設置時の初期設定
コピー部数	1~999部	1部
用紙の選択方法	自動用紙選択、マニュアル用紙選択	自動用紙選択
コピー倍率	25~200%	100% (等倍)
画質	文字/写真、写真、文字	文字/写真
コピー濃度の調整	自動濃度調整、手動濃度調整	自動濃度調整

初期設定は変更できます。詳しくは、以下のページを参照してください。

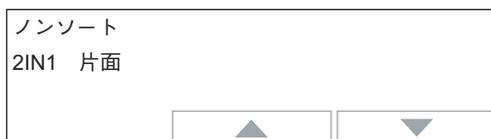
📖 P.113「本機の設定を変更する」

設定した機能を確認する

設定した機能を確認するには、[編集機能確認]ボタンを押します。



現在設定している機能と設定内容が画面に表示されます。



画面にすべての機能を表示しきれないときは、セレクトボタン(中央・右)または▲/▼ボタンを押して表示を切り替えてください。確認し終わったら、もう一度[編集機能確認]ボタンを押してください。

用紙の選択方法を切り替える

用紙の選択方法には、原稿のサイズに合った用紙が自動的に選ばれる「自動用紙選択」と、任意の用紙を手動で選ぶ「マニュアル用紙選択」の2通りがあります。

原稿と同じサイズの用紙を自動的に選択する(自動用紙選択):

原稿をセットすると本機が原稿のサイズを検知して、原稿と同じサイズの用紙を自動的に選択します。

以下のサイズの原稿が使えます。

A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO(FOLIOサイズの原稿は、自動両面原稿送り装置(オプション)にセットした場合のみ)

使いたい用紙を自分で選択する(マニュアル用紙選択):

任意の用紙を手動で選択します。原稿が定形外のサイズのときやOHPフィルムのときなど、自動用紙選択が利用できない場合に使います。

原稿と同じサイズの用紙を自動的に選択するー自動用紙選択ー

定形サイズの原稿をセットすると、本機が原稿のサイズを検知して、原稿と同じサイズの用紙を自動的に選択します。

補足

原稿のサイズが、A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIOの場合に使用できます。(FOLIOサイズの原稿は、自動両面原稿送り装置(オプション)にセットした場合のみ)

注意

原稿によってはサイズ自動検知が正しく働きません。以下のような原稿をコピーするときは、マニュアル用紙選択を行ってください。

- OHPフィルムやトレーシングペーパーなどの、透明度の高い原稿
- 全面または周囲が黒っぽい原稿
- 新聞、雑誌など不定形サイズの原稿

📖 P.70「使いたい用紙を自分で選択するーマニュアル用紙選択ー」

1 用紙をセット(確認)します。

注意

用紙のサイズをあらかじめ本機に登録してください。

📖 P.47「準備3 セットした用紙のサイズを登録する」

2 原稿をセットします。

3 自動用紙選択・自動倍率選択ボタンを押して、「自動用紙選択」を選びます。



補足

- 機体設置時の初期設定では、「自動用紙選択」が自動的に選ばれます。
- カセットの中にある用紙の向きが原稿の向きと違っていても、用紙と原稿のサイズが同じなら原稿内容が90度回転して原稿どおりにコピーされます(B5およびA4サイズのみ)。

4 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

使いたい用紙を自分で選択する—マニュアル用紙選択—

原稿サイズを正しく検知できない以下のような原稿をコピーするときには、用紙を手動で選択してください。

- OHPフィルムやトレーシングペーパーなどの、透明度の高い原稿
- 全面または周囲が黒っぽい原稿
- 新聞、雑誌など不定形サイズの原稿

補足

マニュアル用紙選択でコピーする場合に、使いたいサイズの用紙がカセットの中に入っていないときは、カセットの中の用紙を使いたいサイズの用紙に交換するか、用紙を手差しトレイにセットしてコピーしてください。

📖 P.39「カセットに用紙をセットする」

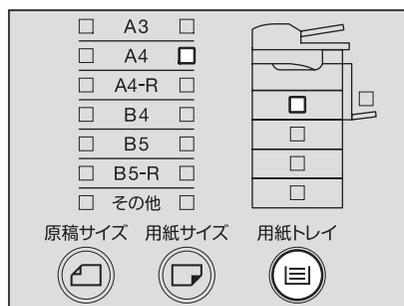
📖 P.61「手差しトレイを使ってコピーする」

1 用紙をセット(確認)します。

2 原稿をセットします。

3 [用紙トレイ]ボタンを押して、使用するカセットを選びます。

例) 本体のカセットを選ぶ場合



4 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

サイズが異なる原稿を一緒にコピーするー原稿混載ー

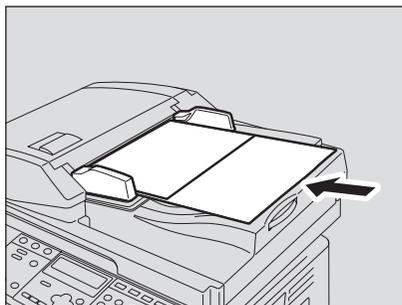
オプションの自動両面原稿送り装置を使うと、セットする原稿のサイズが違っていても、サイズの組み合わせによってはコピーできます。コピーできるのは、原稿サイズがA3とA4、B4とB5、またはA4-RとFOLIOのいずれかの組み合わせの場合です。

1 用紙をセット(確認)します。

注意

手差しコピーはできません。用紙はカセットにセットしてください。

2 原稿を自動両面原稿送り装置にセットします。



3 [原稿混載] ボタンを押します。

原稿混載機能が設定され、[原稿混載]ランプが点灯します。

自動用紙選択モードに切り替わり、[自動用紙選択]ランプが点灯します。自動用紙選択モードでコピーする場合は、手順4は不要です。手順5に進んでください。

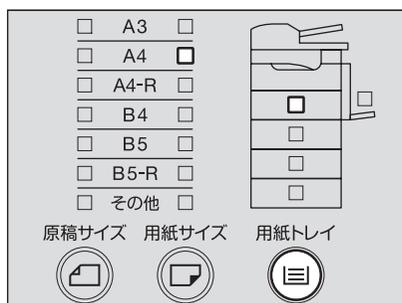


注意

自動用紙選択モードでは、原稿と同じサイズの下紙にコピーします。原稿と同じサイズの用紙を別々のカセットにあらかじめセットしておく必要があります。

4 すべての原稿を同一サイズの下紙にコピーしたい場合は、[用紙トレイ] ボタンを押して、使用するカセットを選びます。

例) 本体のカセットを選ぶ場合



5 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート] ボタンを押します。

コピーを開始します。

「原稿の向きを変えて下さい」というメッセージが表示されたら

原稿の向きが正しくありません。[OK] ボタンを押すと原稿が排出されます。原稿の向きを90度変えてセットし直してコピーしてください。

コピーが終了したら、[リセット] ボタンを押してください。

拡大・縮小コピーする

コピー倍率を変更する方法には、以下の3通りがあります。

指定した用紙に合う倍率でコピーする(自動倍率選択):

用紙のサイズをあらかじめ指定しておきます。原稿をセットすると本機が原稿のサイズを検知して、用紙のサイズに合ったコピー倍率に自動的に設定します。

以下のサイズの原稿が使えます。

A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO(FOLIOサイズの原稿は、自動両面原稿送り装置(オプション)にセットした場合のみ)

原稿と用紙のサイズを指定する:

原稿と用紙のサイズを指定すると、それらに合ったコピー倍率に設定されます。OHPフィルム原稿をコピーするときなど、自動倍率選択が利用できない場合に使います。

手動でコピー倍率を指定する:

25~200%の範囲でコピー倍率を指定します。

補足

縦方向と横方向に、別々のコピー倍率を指定することもできます。この場合は、コピー機能メニューから縦横独立変倍機能を選んで設定します。

📖 P.108「縦横の倍率を別々に指定するー縦横独立変倍ー」

指定した用紙に合う倍率でコピーするー自動倍率選択ー

使用する用紙のサイズを指定しておきます。原稿をセットすると、本機が原稿のサイズを検知して、用紙のサイズに合ったコピー倍率に自動的に設定します。

補足

原稿のサイズが、A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIOの場合に使用できます。(FOLIOサイズの原稿は、自動両面原稿送り装置(オプション)にセットした場合のみ)

注意

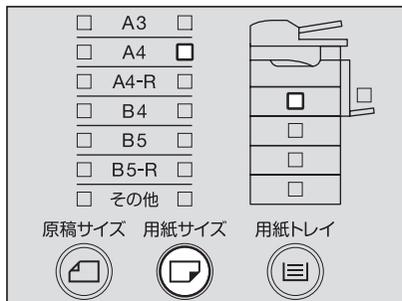
原稿によっては自動倍率選択が正しく働きません。以下のような原稿をコピーするときは、その他の方法でコピー倍率を変更してください。

- OHPフィルムやトレーシングペーパーなどの、透明度の高い原稿
- 全面および周囲が黒っぽい原稿
- 新聞、雑誌など不定形サイズの原稿

1 用紙をセット(確認)します。

2 [用紙サイズ]ボタンを押して、使用する用紙のサイズを選びます。

例) A4サイズの用紙を使う場合



補 足

[用紙トレイ]ボタンを押して、使用するカセットを選ぶこともできます。

3 自動用紙選択・自動倍率選択ボタンを押して、「自動倍率選択」を選びます。

[コピーモード]メイン画面のコピー倍率表示が「AMS」に変わります。



4 原稿をセットします。

5 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

指定した用紙に合った倍率でコピーされます。

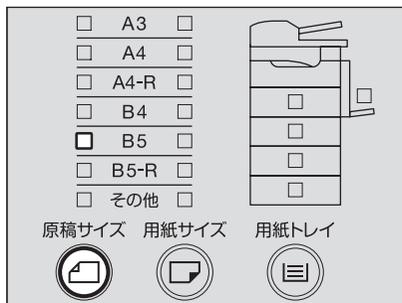
「原稿の向きを変えて下さい」というメッセージが表示されたら

原稿の向きが正しくありません。[OK]ボタンを押すと原稿が排出されます。原稿の向きを90度変えてセットし直してコピーしてください。

原稿と用紙のサイズを指定する

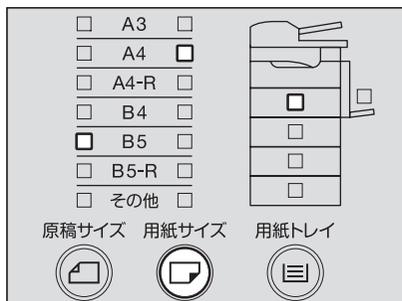
- 1 用紙をセット(確認)します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 [原稿サイズ]ボタンを押して、原稿のサイズを選びます。

例) 原稿のサイズがB5の場合



- 4 [用紙サイズ]ボタンを押して、使用する用紙のサイズを選びます。

例) A4サイズの内紙を使う場合



補足

- [用紙トレイ]ボタンを押して、使用するカセットを選ぶこともできます。
- 用紙のサイズが、A3、A4、B4、B5以外の定形サイズまたははがきの場合は、あらかじめ用紙サイズを「その他」サイズとして登録しておく必要があります。
📖 P.49「その他の定形サイズの場合」

原稿と用紙のサイズに合ったコピー倍率に設定されます。

- 5 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

手動でコピー倍率を指定する

- 1 用紙をセット(確認)します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 セレクトボタン(左)を押します。
画面に以下のように表示されます。



- 4 セレクトボタン(中央:-)／(右:+)を押して、希望の倍率に設定します。

ボタンを1回押すごとに倍率が1%ずつ変化します。押したままにすると倍率は連続的に変化します。25~200%の範囲で設定できます。

補足

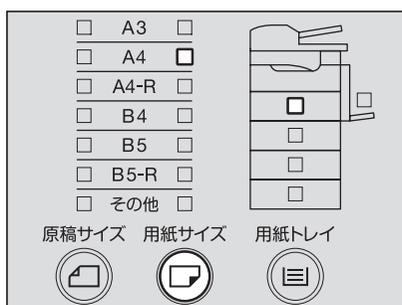
等倍(100%)に戻したいときは、セレクトボタン(左)を押してください。

- 5 [OK]ボタンを押します。

倍率が設定されます。

- 6 [用紙サイズ]ボタンを押して、使用する用紙のサイズを選びます。

例) A4サイズ of 用紙を使う場合



補足

- [用紙トレイ]ボタンを押して、使用するカセットを選ぶこともできます。
- 用紙のサイズが、A3、A4、B4、B5以外の定形サイズまたははがきの場合は、あらかじめ用紙サイズを「その他」サイズとして登録しておく必要があります。
P.49「その他の定形サイズの場合」

-
- 7 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

原稿に合った画質を選ぶ

原稿に合わせて、以下の3種類から画質を選んで設定できます。

文字/写真: 文字と写真が混在する原稿

写真: 写真の原稿

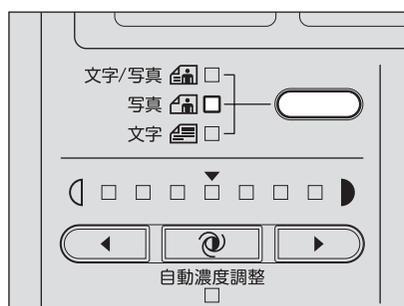
文字: 文字のみの原稿、または文字と線画のみの原稿

補足

機体設置時の初期設定では、「文字/写真」に設定されています。

- 1 用紙をセット(確認)します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 原稿モードボタンを押して、画質を選びます。

例) 原稿が写真の場合

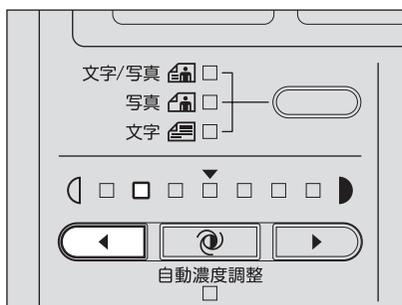


- 4 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

コピー濃度を調整する

機体設置時の初期設定では、本機が原稿の濃度を検知して最適なコピー濃度に設定する自動濃度モードに設定されています。手で好みの濃度に調整することもできます。

- 1 用紙をセット(確認)します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 濃度調整(◀ (薄く) / ▶ (濃く))ボタンを押して、希望の濃度に調整します。
濃度は7段階に設定できます。1回押すごとに濃度が1段階ずつ変化します。押したままにすると濃度は連続的に変化します。



- 4 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

自動濃度モードに戻りたいときは

Ⓜ (自動濃度調整)ボタンを押してください。

4

便利なコピー機能を使う

複数ページを1枚の用紙にコピーする、用紙に日付や時刻を印刷するなど、便利なコピー機能について説明しています。

コピー機能メニューについて	82
コピー機能メニューの操作	82
コピー機能メニュー一覧	83
原稿と同じページ順に1部ごとに仕分けるーソートー	84
1部ごとに向きを変えて排紙するー縦横交互ー	85
冊子の構成になるようにコピーするーマガジンソートー	86
紙面全体をずらして余白を作るーとじしろー	88
原稿の周囲の影を消すー粹消しー	90
両面コピーするー両面ー	91
用紙の片面にコピーする	92
用紙の両面にコピーする	93
冊子を用紙の両面にコピーする	94
冊子の左右ページを別々の用紙にコピーするーページ連写ー	97
ページ番号や日時を印刷するーページ・時刻付加ー	99
束ごとに設定を変えてコピーするービルドジョブー	100
2または4ページ分を1ページにコピーするー2in1/4in1ー	102
名刺の両面を1ページにコピーするー名刺印刷ー	106
縦横の倍率を別々に指定するー縦横独立変倍ー	108
よく使う機能の組み合わせを登録するーモードメモリーー	110
機能の組み合わせを登録する	110
機能の組み合わせを呼び出す	111

コピー機能メニューについて

本機は便利なコピー機能を多数備えています。「コピーモード」メイン画面でセレクトボタン(右)を押すと、コピー機能メニューが表示されます。このメニューから使いたい機能を選んで、設定を行います。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

注意

複数のコピー機能を同時に使うことができます。ただし、機能の組み合わせによっては同時に使えないものがあります。組み合わせについて詳しくは、以下のページを参照してください。

📖 P.211 「コピー機能組み合わせ一覧」

コピー機能メニューの操作

メニューから機能を選ぶときは、**▲**/**▼**/**◀**/**▶** ボタンまたはセレクトボタン(左・中央・右)を使います。ここでは、縦横独立変倍機能を選ぶ場合を例にとり、セレクトボタン(左・中央・右)を使ったコピー機能メニューの操作方法について説明します。

1 セレクトボタン(左・中央・右)を使って、設定したい機能がある列を選びます。

例)「縦横独立変倍」を選ぶときは、セレクトボタン(右)を押します。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

左 中央 右

2 同じセレクトボタンを必要な回数押して、設定したい機能を選びます。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

3 [OK] ボタンを押します。

機能設定画面が表示されます。画面表示に従って設定を行ってください。

コピー機能メニュー一覧

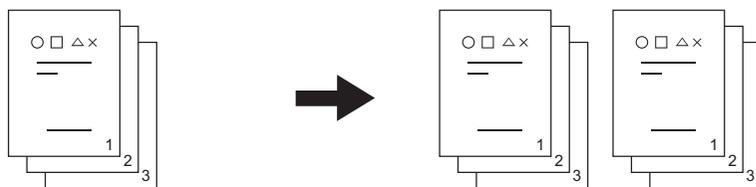
コピー機能メニューに表示される機能は以下のとおりです。

機能名	説明
仕上げ(☞ P.84、☞ P.85、☞ P.86)	コピーした用紙の排出のしかたを選びます。 ソート :原稿と同じページ順に、1部ごとに仕分けた状態で排紙する ノンソート :ソートしない状態で排紙する 縦横交互 :1部ごとに、縦横に向きを変えて排紙する マガジンソート :冊子のようなページ構成にしてコピーする
とじしろ(☞ P.88)	とじしろ(余白)を作ります。とじしろの幅は、4~15 mmの範囲で指定できます。 左とじ :用紙の左側にとじしろを作る 右とじ :用紙の右側にとじしろを作る
枠消し(☞ P.90)	周囲だけを白くしてコピーします。枠消しの幅は、4~15 mmの範囲で指定できます。
用紙タイプ(☞ P.61)	用紙の種類を設定します。手差しコピー時にのみ使用します。 厚紙1 :厚紙1(81~105 g/m ²)の用紙 厚紙2 :厚紙2(106~163 g/m ²)の用紙、ラベル紙 OHP用紙 :OHPフィルム 普通紙 :普通紙(64~80 g/m ²)、トレーシングペーパー
両面(☞ P.91)	原稿と用紙のそれぞれについて、片面・両面の設定を行います。 片面 → 片面 : 片面原稿を用紙の片面にコピーする 片面 → 両面 : 片面原稿を用紙の両面にコピーする 両面 → 両面 : 両面原稿を用紙の両面にコピーする 両面 → 片面 : 両面原稿を用紙の片面にコピーする ブック両面 : 冊子を用紙の両面にコピーする
ページ連写(☞ P.97)	見開きの冊子をセットして、左右のページを別々の用紙にコピーします。ブックマージンは、8~30 mmの範囲で指定できます。
ページ・時刻付加(☞ P.99)	ページ番号や日時を印刷します。 ページ :ページ番号を印刷する ページ・時刻 :ページ番号と日時を印刷する
ビルドジョブ(☞ P.100)	いくつかの束から成る原稿を、束ごとに設定や読み込み元を変えて読み込んでから、まとめてコピーします。
2in1/4in1(☞ P.102)	2または4ページ分の原稿を、1ページに縮小してコピーします。 2IN1 :2ページ分の原稿を1ページにコピーする 4IN1 :4ページ分の原稿を1ページにコピーする
名刺印刷(☞ P.106)	名刺の両面を、A4の用紙1ページにコピーします。
縦横独立変倍(☞ P.108)	縦方向と横方向に、コピー倍率を別々に指定します。
モードメモリー(☞ P.110)	よく使う機能の組み合わせを登録して、必要なときに呼び出します。 呼び出し :登録した組み合わせを呼び出す 登録 :組み合わせを登録する

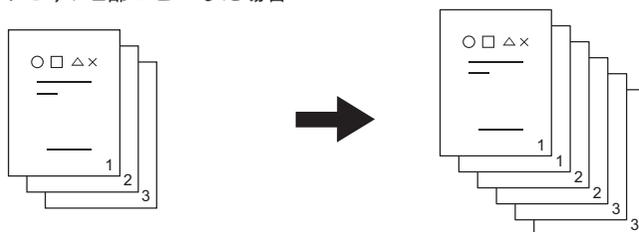
原稿と同じページ順に1部ごとに仕分けるーソートー

コピーを複数部数とする場合に、原稿と同じページ順に1部ごと仕分けた状態で排紙することができます。この排紙のしかたをソートと言います。

ソートして2部コピーした場合



ソートせずに2部コピーした場合



1 用紙をセット(確認)します。

2 原稿をセットします。

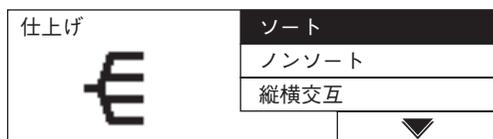
補 足

自動両面原稿送り装置に原稿をセットした場合は、自動的にソート機能が設定されます。この場合は手順5に進んでください。

3 コピー機能メニューで「仕上げ」を選び、[OK]ボタンを押します。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

4 「ソート」を選び、[OK]ボタンを押します。

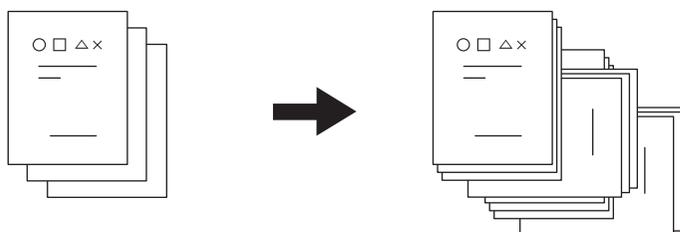


ソート機能が設定されます。

5 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

1部ごとに向きを変えて排紙する－縦横交互－

排紙の向きを1部ごとに縦横交互に変えることができます。この排紙のしかたを縦横交互排紙と言います。1つのカセットには縦に、もう1つのカセットには横に、あらかじめ同じサイズの下紙をセットしておきます。



注意

A4またはB5サイズの下紙サイズが使用できます。

- 1 下紙をセット(確認)します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 テンキーで部数を入力します。
- 4 コピー機能メニューで「仕上げ」を選び、[OK]ボタンを押します。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

- 5 「縦横交互」を選び、[OK]ボタンを押します。

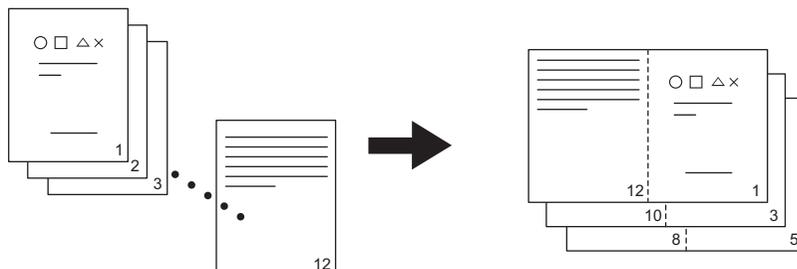
仕上げ 	ソート
	ノンソート
	縦横交互
	▼

縦横交互排紙機能が設定されます。

- 6 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

冊子の構成になるようにコピーする－マガジンソート－

冊子のようなページ構成にしてコピーできます。この排紙のしかたをマガジンソートと言います。コピーした用紙を中央で折って綴じれば冊子のできあがりです。



注意

- A3、A4-R、A5-R、B4、B5-Rサイズの内紙サイズが使用できます。
- オプションの自動両面ユニットが必要です。
- 綴じる方向(左開きまたは右開き)を設定できます。設定の変更は、マガジンソート機能を使う前に行ってください。
☞ P.161「マガジンソートの設定」
- とじしろ機能と一緒に利用することはできません。
☞ P.88「紙面全体をずらして余白を作る－とじしろ－」

- 1 用紙をセット(確認)します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 コピー機能メニューで「仕上げ」を選び、[OK]ボタンを押します。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

- 4 「マガジンソート」を選び、[OK]ボタンまたは ボタンを押します。

仕上げ	ノンソート
	縦横交互
	マガジンソート

5 セットする原稿に合わせて設定を選び、[OK]ボタンを押します。

片面 → 両面: 片面原稿の場合

両面 → 両面: 両面原稿の場合

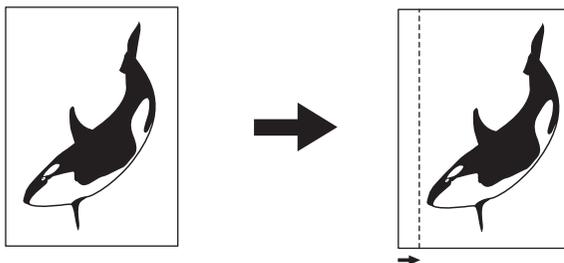


マガジンソート機能が設定されます。

6 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

紙面全体をずらして余白を作るーとじしろー

紙面全体を左右方向にずらし、とじしろ(余白)を残してコピーできます。コピー後に、パンチ穴を空けたりステイブルしたりする場合に便利です。



注意

- 手差しトレイに用紙をセットする場合は、あらかじめ用紙サイズを登録しておく必要があります。
- マガジンソート機能と一緒に利用することはできません。
 P.86「冊子の構成になるようにコピーするーマガジンソートー」

- 1 用紙をセット(確認)します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 コピー機能メニューで「とじしろ」を選び、[OK]ボタンを押します。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
粹消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

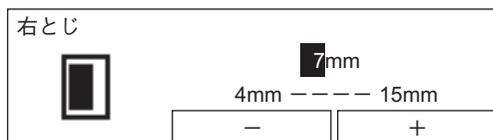
- 4 とじしろを作る側を選び、[OK]ボタンまたは  ボタンを押します。

左とじ:左側にとじしろを作る
 右とじ:右側にとじしろを作る



5 とじしろ幅を指定し、[OK]ボタンを押します。

とじしろ幅は、4～15 mmの範囲で指定できます。

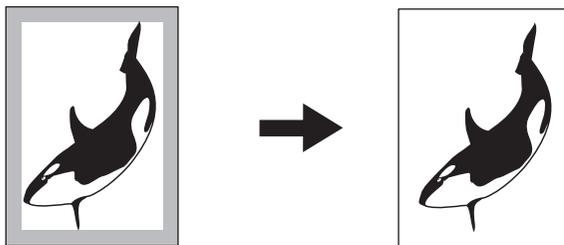


とじしろ機能が設定されます。

6 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

原稿の周囲の影を消す－粹消し－

厚手の本をコピーしたものを原稿として使うときなど、原稿の周囲が汚れている場合があります。粹消しを設定すると、周囲だけを白くしてコピーできます。



注意

- 定形サイズの前稿の場合のみ使用できます。
- 用紙を手差しトレイにセットする場合は、あらかじめ用紙サイズを登録しておく必要があります。

- 1 用紙をセット(確認)します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 コピー機能メニューで「粹消し」を選び、[OK]ボタンを押します。

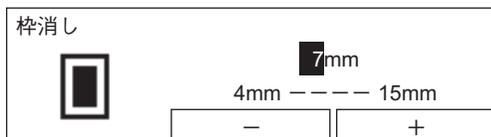
仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
粹消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

- 4 「設定」を選び、[OK]ボタンまたは  ボタンを押します。



- 5 粹消し幅を指定し、[OK]ボタンを押します。

粹消し幅は、4～15 mmの範囲で指定できます。



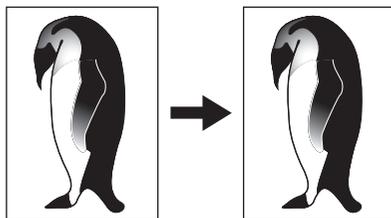
粹消し機能が設定されます。

- 6 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

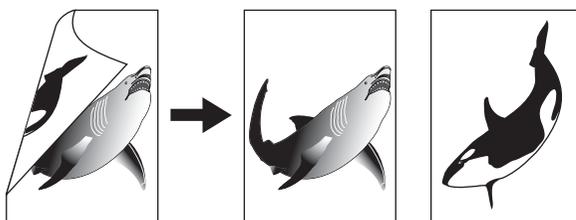
両面コピーする－両面－

原稿と用紙のそれぞれについて、片面・両面の設定ができます。片面原稿を用紙の両面にコピーして、使う用紙の量を減らしたり、本のおりに用紙の両面にコピーしたりできます。

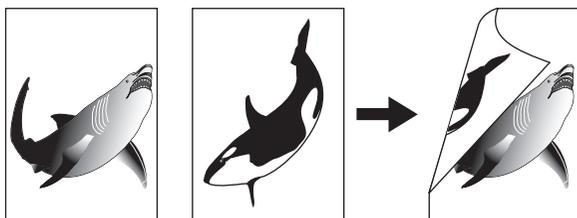
片面 → 片面(☞ P.92)



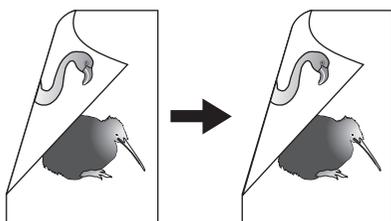
両面 → 片面(☞ P.92)



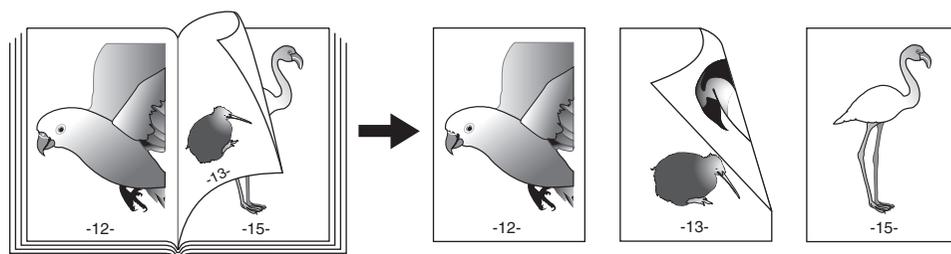
片面 → 両面(☞ P.93)



両面 → 両面(☞ P.93)



ブック両面(P.94)

**注意**

- 両面原稿を自動的に読み込むには、オプションの自動両面原稿送り装置が必要です。
- 用紙の両面にコピーするには、オプションの自動両面ユニットが必要です。

用紙の片面にコピーする

片面原稿や両面原稿を、用紙の片面にコピーします。

- 1 用紙をセット(確認)します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 コピー機能メニューで「両面」を選び、[OK]ボタンを押します。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

- 4 両面コピーのしかたを選び、[OK]ボタンを押します。

片面 → 片面: 片面原稿を、用紙の片面にコピーする

両面 → 片面: 両面原稿を、用紙の片面にコピーする



両面コピーのしかたが設定されます。

- 5 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

コピーを開始します。

- 6 原稿ガラス上に原稿をセットしている場合は、次の原稿をセットし、「はい」を選び、[OK]ボタンを押します。原稿をすべて読み込むまで、この手順を繰り返します。

「はい」を選ぶ代わりに、[スタート]ボタンを押すこともできます。

次原稿がありますか？	はい
	いいえ
	▼

すべての原稿を読み込み終わったら

「いいえ」を選び、[OK]ボタンを押します。

用紙の両面にコピーする

片面原稿や両面原稿を、用紙の両面にコピーします。

- 1 用紙をセット(確認)します。

注意

用紙は普通紙(64~80 g/m²)を使用してください。

- 2 原稿をセットします。

- 3 コピー機能メニューで「両面」を選び、[OK]ボタンを押します。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

- 4 両面コピーのしかたを選び、[OK]ボタンまたは Ⓜ ボタンを押します。

片面 → 両面: 片面原稿を、用紙の両面にコピーする

両面 → 両面: 両面原稿を、用紙の両面にコピーする

両面	片面 → 片面
	片面 → 両面 ※
	両面 → 両面 ※
	▼

5 仕上がりを選び、[OK]ボタンを押します。

左右とじ:左右開きになるようにコピーする

上下とじ:上下開きになるようにコピーする



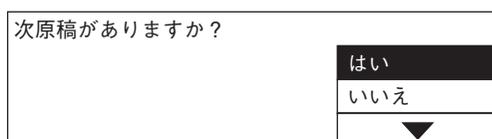
両面コピーのしかたが設定されます。

6 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

コピーを開始します。

7 原稿ガラス上に原稿をセットしている場合は、次の原稿をセットし、「はい」を選び、[OK]ボタンを押します。原稿をすべて読み込むまで、この手順を繰り返します。

「はい」を選ぶ代わりに、[スタート]ボタンを押すこともできます。



すべての原稿を読み込み終わったら

「いいえ」を選び、[OK]ボタンを押します。

冊子を用紙の両面にコピーする

本やカタログなどの冊子の原稿を、原稿のとおり用紙の両面にコピーします。

注意

綴じる方向(左開きまたは右開き)を設定できます。設定の変更は、ブック両面機能を使う前に行ってください。

📖 P.165「ブック両面コピーの設定」

1 用紙をセット(確認)します。

注意

- 用紙は普通紙(64~80 g/m²)を使用してください。
- A4またはB5サイズ用紙が使用できます。

2 [用紙トレイ]ボタンを押して、給紙元を選びます。

3 コピー機能メニューで「両面」を選び、[OK]ボタンを押します。

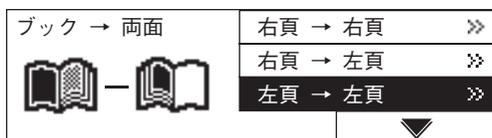
仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

4 「ブック両面」を選び、[OK]ボタンまたは ボタンを押します。

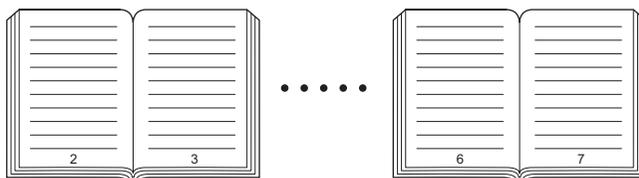


5 コピーする範囲の始まりと終わりの組み合わせを選び、[OK]ボタンまたは ボタンを押します。

「右頁 → 右頁」、「右頁 → 左頁」、「左頁 → 左頁」、「左頁 → 右頁」から選びます。

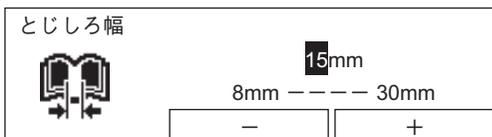


例)2ページから6ページまでをコピーする場合:「左頁 → 左頁」



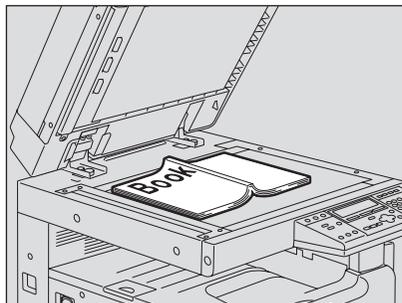
6 とじしろ幅を指定し、[OK]ボタンを押します。

とじしろ幅は、8～30 mmの範囲で指定できます。



両面コピーのしかたが設定されます。

- 7** 原稿をセットし、必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。



⚠ 注意

原稿ガラスの上に重い物(4 kg以上)を載せたり、強く押ししたりしないこと
ガラスが割れ、けがの原因となります。

原稿が読み込まれます。

- 8** 次のページを開いてセットし、「はい」を選び、[OK]ボタンを押します。
最後のページの手前まで、この手順を繰り返します。

「はい」を選ぶ代わりに、[スタート]ボタンを押すこともできます。

次原稿がありますか？	
はい	
次原稿あり (片面)	▼

最後のページを読み込むときは

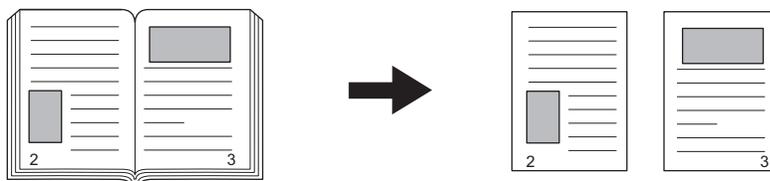
最後のページが片面の場合は「次原稿あり(片面)」を選び、[OK]ボタンを押します。両面の場合は「はい」を選び、[OK]ボタンを押します。

すべての原稿を読み込み終わったら

「いいえ」を選び、[OK]ボタンを押します。

冊子の左右ページを別々の用紙にコピーするーページ連写ー

冊子原稿を開いた状態でセットして、左右のページを別々の用紙にコピーできます。また、オプションの自動両面ユニットを装着している場合は、用紙の両面へのコピーもできます。原稿ガラス上で原稿を移動させる必要はありません。

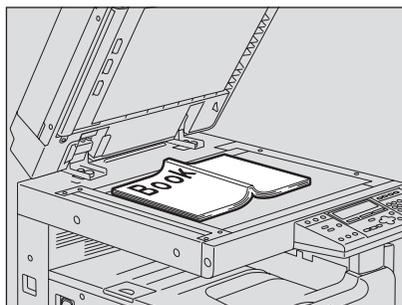


注意

- A4またはB5サイズの用紙が使用できます。
- 用紙を手差しトレイにセットする場合は、あらかじめ用紙サイズを登録しておく必要があります。

1 用紙をセット(確認)します。

2 原稿をセットします。



⚠注意

原稿ガラスの上に重い物(4 kg以上)を載せたり、強く押ししたりしないこと
ガラスが割れ、けがの原因となります。

3 コピー機能メニューで「ページ連写」を選び、[OK]ボタンを押します。

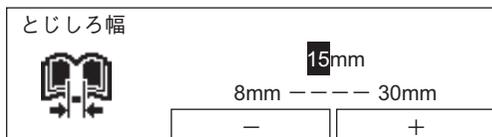
仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
粹消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

4 「設定」を選び、[OK] ボタンまたは ボタンを押します。



5 とじしろ幅を指定し、[OK] ボタンを押します。

とじしろ幅は、8～30 mmの範囲で指定できます。



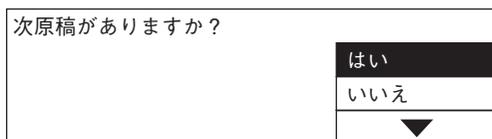
ページ連写機能が設定されます。

6 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート] ボタンを押します。

コピーを開始します。

7 原稿のページをめくって再度セットし、「はい」を選び、[OK] ボタンを押します。原稿をすべて読み込むまで、この手順を繰り返します。

「はい」を選ぶ代わりに、[スタート] ボタンを押すこともできます。



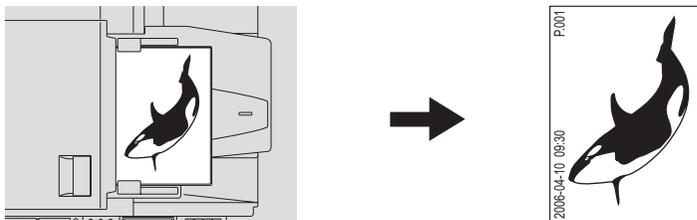
すべてのページを読み込み終わったら

「いいえ」を選び、[OK] ボタンを押します。

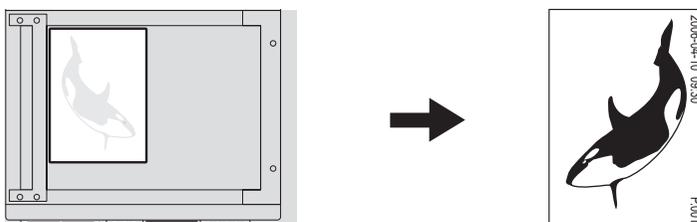
ページ番号や日時を印刷するーページ・時刻付加ー

コピーするときにページ番号や日時を印刷できます。印刷される位置は、自動(両面)原稿送り装置に原稿をセットした場合と、原稿ガラス上に原稿をセットした場合で異なります。

自動(両面)原稿送り装置にセットした場合



原稿ガラス上にセットした場合



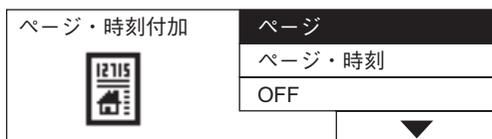
- 1 用紙をセット(確認)します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 コピー機能メニューで「ページ・時刻付加」を選び、[OK]ボタンを押します。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

- 4 印刷する内容を選び、[OK]ボタンを押します。

ページ: ページ番号を印刷する

ページ・時刻: ページ番号と日時を印刷する

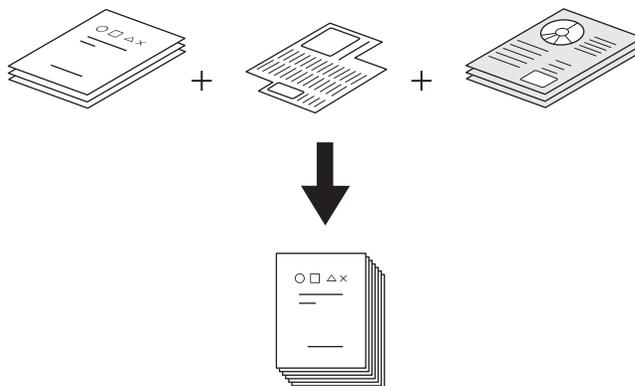


ページ・時刻付加機能が設定されます。

- 5 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

束ごとに設定を変えてコピーするービルドジョブー

いくつかの束(ジョブ)から成る原稿を、束ごとに設定や読み込み元を変えて読み込んでから、まとめてコピーすることができます。全体で最大250ページの原稿を扱えます。ジョブは最大5束まで読み込めます。



注意

コピー濃度、原稿モード、枠消しの各機能の設定を、束ごとに変更できます。使用できない機能や、使用が制限される機能があります。

最初の束の読み込み時の設定がすべての束に適用される機能：

用紙サイズ、仕上げ、とじしろ

使用できない機能：

原稿混載、自動用紙選択、ブック両面、手動による倍率設定、縦横独立変倍、マガジンソート、ページ連写、2in1/4in1、名刺印刷、ページ・時刻付加

- 1 用紙をセット(確認)します。
- 2 コピー部数を設定します。
- 3 コピー機能メニューで「ビルドジョブ」を選び、[OK]ボタンを押します。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

- 4 「設定」を選び、[OK]ボタンを押してから、[戻る/取消]ボタンを押します。



ビルドジョブ機能が設定され、以下の画面が表示されます。



- 5 最初の原稿の束をセットします。
- 6 必要に応じてコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。
原稿が読み込まれます。読み込みが終わると以下の画面が表示されます。



- 7 次の原稿の束をセットします。
すべての原稿の束を読み込み終えるまで、手順6と7を繰り返します。
- 8 すべての原稿の束を読み込んだら、「印刷開始」を選び、[OK]ボタンを押します。



コピーを開始します。

2または4ページ分を1ページにコピーするー2in1/4in1ー

2または4ページ分の原稿を、用紙1ページに収まるように縮小してコピーします。オプションの自動両面ユニットを使用して両面にコピーすれば、1枚の用紙に最大で8ページ分の原稿をコピーすることができます。

原稿をセットする向きと「2IN1/4IN1設定」にご注意ください

2in1/4in1機能を使うときは、本機の設定メニューの「2IN1/4IN1設定」の内容にご注意ください。

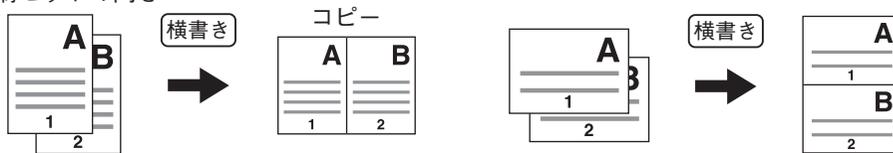
原稿を、縦向き(自分から見て読める向き)にセットする場合は、原稿が縦書きなら「2IN1/4IN1設定」を「縦書き」に、横書きなら「横書き」に設定してください。ただし、原稿を自分から見て横向きにセットする場合は、原稿が縦書きなら「横書き」に、横書きなら「縦書き」に設定する必要があります。

📖 P.163 「2in1/4in1の設定」

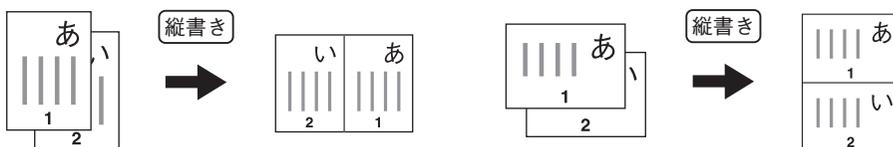
以下は、片面原稿を縦向き(自分から見て読める向き)にセットしたときのコピーの仕上がりを表しています。

2IN1(横書きの原稿)

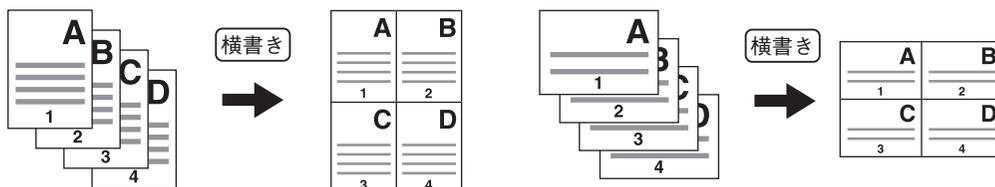
原稿セットの向き



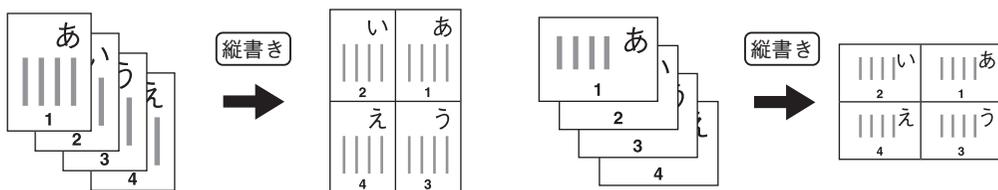
2IN1(縦書きの原稿)



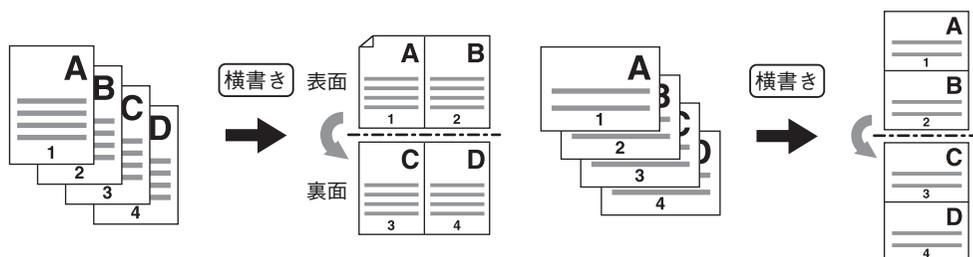
4IN1(横書きの原稿)



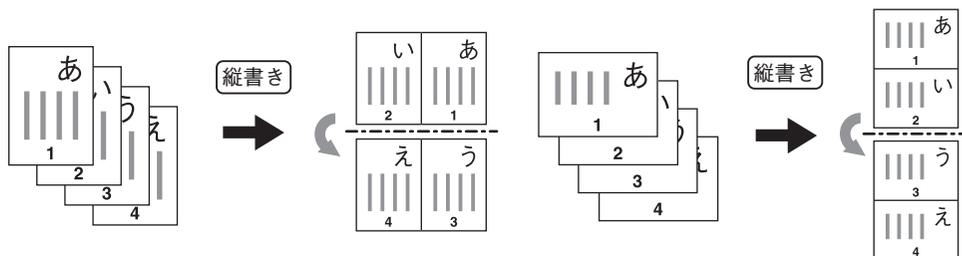
4IN1(縦書きの原稿)



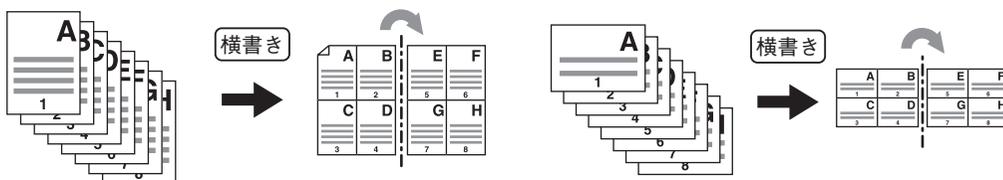
2IN1両面(横書きの原稿)



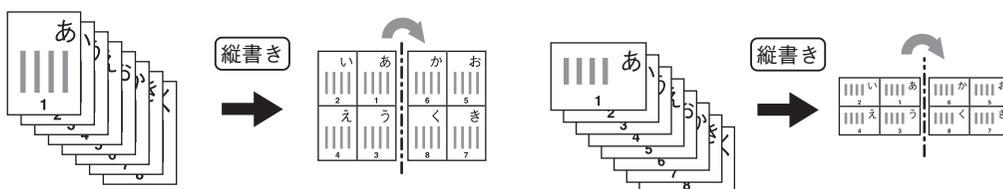
2IN1両面(縦書きの原稿)



4IN1両面(横書きの原稿)



4IN1両面(縦書きの原稿)



1 用紙をセット(確認)します。

注意

用紙を手差しトレイにセットする場合は、あらかじめ用紙サイズを登録しておく必要があります。

2 コピー機能メニューで「2in1/4in1」を選び、[OK]ボタンを押します。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

3 「2IN1」または「4IN1」のどちらかを選び、[OK]ボタンまたは ボタンを押します。

2IN1:2ページ分の原稿を用紙1ページにコピーする

4IN1:4ページ分の原稿を用紙1ページにコピーする



4 両面設定を選び、[OK]ボタンを押します。

「片面 → 片面」以外の設定を選ぶときは、[OK]ボタンの代わりに  ボタンも使えます。

片面 → 片面:原稿が片面で、用紙の片面にコピーする

片面 → 両面:原稿が片面で、用紙の両面にコピーする

両面 → 両面:原稿が両面で、用紙の両面にコピーする

両面 → 片面:原稿が両面で、用紙の片面にコピーする



5 レイアウトの向きを選び、[OK]ボタンを押します。

左右とじ:左右開きになるようにコピーする

上下とじ:上下開きになるようにコピーする



注意

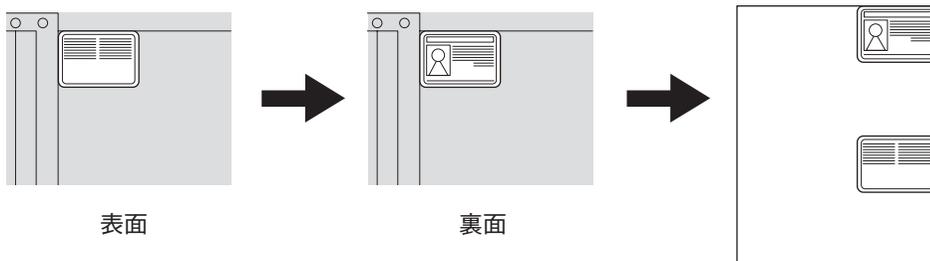
手順4で「片面 → 片面」を選んだ場合は、この手順は不要です。

2in1/4in1機能が設定されます。

6 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

名刺の両面を1ページにコピーするー名刺印刷ー

カードサイズの原稿の両面を、A4サイズの内紙の片面にコピーします。両面に印刷された名刺やカードを大量にコピーして整理したいときなどに便利です。



1 用紙をセット(確認)します。

注意

A4またはA4-Rサイズの用紙が使えます。

2 コピー機能メニューで「名刺印刷」を選び、[OK]ボタンを押します。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

3 「設定」を選び、[OK]ボタンを押します。

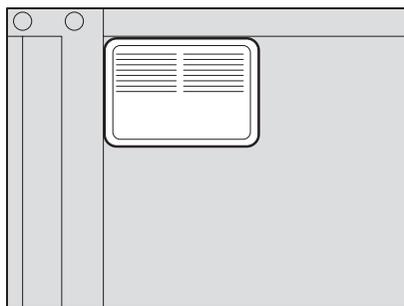


名刺印刷機能が設定されます。

4 原稿カバー(オプション)または自動(両面)原稿送り装置(オプション)を開きます。

5 原稿を原稿ガラス上にセットします。

原稿の表面を下にして、原稿ガラスの左奥コーナーに突き当てるようにして置きます。



注意

原稿ガラスの上端と左端の部分(約2 mm幅)はコピーされない場合があります。原稿の隅々までコピーしたい場合は、原稿を原稿ガラスの端から離して置いてください。

6 原稿カバー(オプション)または自動(両面)原稿送り装置(オプション)を静かに閉めます。

7 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

原稿の表面が読み込まれ、画面に以下のように表示されます。



8 原稿カバー(オプション)または自動(両面)原稿送り装置(オプション)を開きます。

9 原稿を裏返してセットし直します。

原稿ガラスの左奥コーナーに突き当てるようにして置きます。

注意

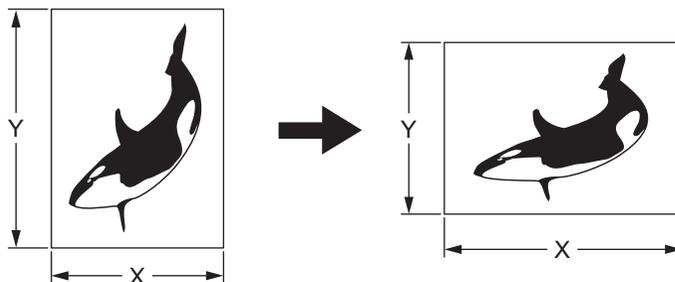
原稿ガラスの上端と左端の部分(約2 mm幅)はコピーされない場合があります。原稿の隅々までコピーしたい場合は、原稿を原稿ガラスの端から離して置いてください。

10 原稿カバー(オプション)または自動(両面)原稿送り装置(オプション)を静かに閉めます。

11 [スタート]ボタンを押します。

縦横の倍率を別々に指定する－縦横独立変倍－

縦方向(Y)と横方向(X)に、コピー倍率を別々に指定できます。



- 1 用紙をセット(確認)します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 コピー機能メニューで「縦横独立変倍」を選び、[OK] ボタンを押します。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

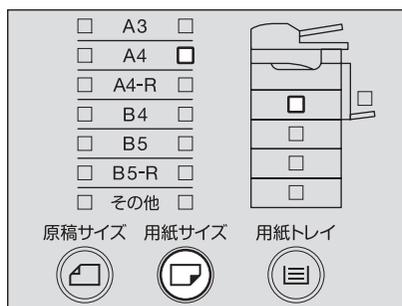
- 4 セレクトボタン(中央: -) / (右: +) を押して希望の倍率に設定します。
ボタンを1回押すごとに倍率が1%ずつ変化します。押したままにすると倍率は連続的に変化します。25~200%の範囲で設定できます。
設定する方向は、セレクトボタン(左: X/Y) を押して切り替えます。

縦横独立変倍		
X : 120%	Y : 80%	
	25% ----- 200%	
X/Y	-	+

- 5 [OK] ボタンを押します。
倍率が設定されます。
- 6 [戻る/取消] ボタンを押します。
「コピーモード」メイン画面に戻ります。

7 [用紙サイズ]ボタンを押して、使用する用紙のサイズを選びます。

例)A4サイズ of 用紙を使う場合



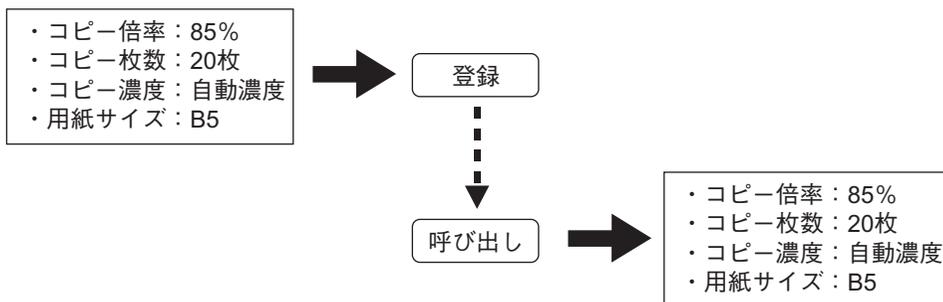
補 足

- [用紙トレイ]ボタンを押して、使用するカセットを選ぶこともできます。
- 用紙のサイズが、A3、A4、B4、B5以外の定形サイズまたははがきの場合は、あらかじめ用紙サイズを「その他」サイズとして登録しておく必要があります。
📖 P.49「その他の定形サイズの場合」

8 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

よく使う機能の組み合わせを登録するーモードメモリーー

よく使う機能の組み合わせを登録しておき、必要なときに呼び出すことができます。登録した内容は、本機の電源を切っても消えません。機能の組み合わせは4通りまで登録できます。



注意

登録できる機能は以下のとおりです。

原稿サイズ、自動用紙選択/自動倍率選択、原稿混載、倍率、画質、コピー濃度、仕上げ、とじしろ、枠消し、用紙タイプ、両面コピー、ページ連写、ページ・時刻付加、ビルドジョブ、2in1/4in1、縦横独立変倍

機能の組み合わせを登録する

1 登録したい機能をすべて設定します。

例) 倍率:85%、コピー部数:20部、コピー濃度:自動濃度、用紙サイズ:B5

2 コピー機能メニューで「モードメモリー」を選び、[OK]ボタンを押します。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

3 「登録」を選び、[OK]ボタンまたは ボタンを押します。

モードメモリー	
	呼び出し 
	登録 
	

4 登録先を「メモリ1」～「メモリ4」から選び、[OK]ボタンを押します。

例)「メモリ4」を選ぶ場合

登録	メモリ2
	メモリ3
	メモリ4
	

注意

メモリ名の左端に印が付いているメモリには、機能の組み合わせがすでに登録されています。登録済みのメモリを選ぶと、内容は上書きされます。

機能の組み合わせが登録されます。

機能の組み合わせを呼び出す

- 1 コピー機能メニューで「モードメモリー」を選び、[OK]ボタンを押します。

仕上げ	両面	2in1/4in1
とじしろ	ページ連写	名刺印刷
枠消し	ページ・時刻付加	縦横独立変倍
用紙タイプ	ビルドジョブ	モードメモリー

- 2 「呼び出し」を選び、[OK]ボタンまたは  ボタンを押します。



- 3 呼び出し元を「メモリ1」～「メモリ4」から選び、[OK]ボタンを押します。
例)「メモリ4」を選ぶ場合

呼び出し	メモリ2
	メモリ3
	メモリ4
	

注意

機能の組み合わせが登録されているメモリには、メモリ名の左端に印が付いています。

機能の組み合わせが呼び出されます。

- 4 必要に応じてその他のコピー機能を設定し、[スタート]ボタンを押します。

5

本機の設定を変更する

本機の各種設定を変更する方法について説明しています。

本機の設定を変更する前に	115
「設定/登録モード」メイン画面を表示する	115
設定変更時のボタン操作.....	116
日付・時刻の設定	117
時刻合わせ	117
日付・時刻の表示形式の設定	119
表示言語の設定	120
用紙サイズの設定	121
優先画面の設定	123
各種タイマの設定	125
オートクリア時間	125
自動節電時間.....	126
自動オフ時間.....	128
ウィークリータイマの設定	130
音量の調節	133
キータッチ音の設定	135
部門管理	137
部門コードを設定する	137
部門名や部門コードを変更する	141
部門コードを削除する	144
カウンタをリセットする.....	146
カウンタ値を印刷する	148
部門管理機能を停止する.....	149

お好み機能の設定	151
用紙優先選択／倍率優先選択の設定	153
原稿モードの設定	155
濃度調整の設定	157
仕分けの設定	159
マガジンソートの設定	161
2in1/4in1の設定	163
ブック両面コピーの設定	165
用紙サイズの変更確認表示の設定	167
各種リストの印刷	169
メニューリストの印刷	171
ROMバージョン表示	172

本機の設定を変更する前に

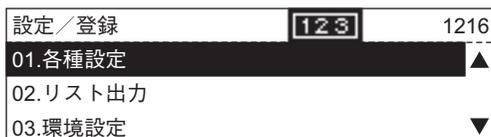
ご使用状況に合わせて、本機の設定を変更できます。ここでは、設定を変更するときの画面表示と、基本的なボタン操作について説明します。

「設定/登録モード」メイン画面を表示する

設定の変更は、画面に表示されるメニューを見ながら、操作パネルのボタンを操作して行います。操作パネル上の[設定/登録]ボタンを押してください。



画面に「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。この画面から項目を選び、設定を変更します。



コピーとプリントの合計枚数を確認できます

「設定/登録モード」メイン画面の右上に、コピーとプリントの合計枚数が表示されます。

注意

合計枚数の値はリセットできません。

メニュー構成を確認できます

本機のメニューを一覧にして印刷できます。詳しくは以下のページを参照してください。

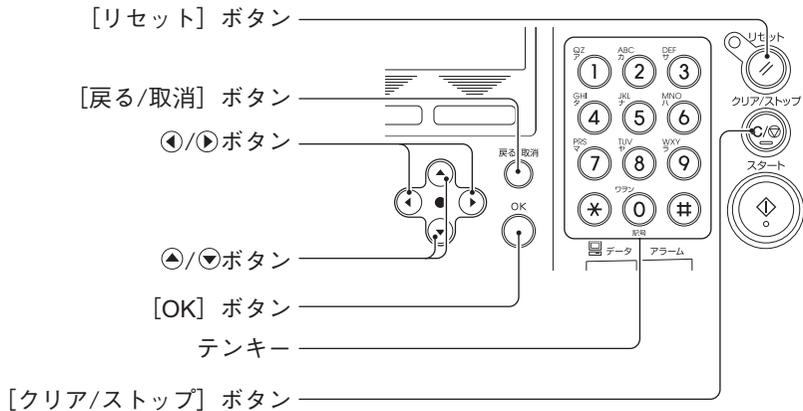
📖 P.171 「メニューリストの印刷」

本書に記載していないメニュー項目について

本書では、本機の全般的な設定と、コピー機能に関する設定について説明しています。ファクスやスキャンなどオプション機器を装着した場合に使用する設定については、各オプション機器に付属の取扱説明書で解説しています。

設定変更時のボタン操作

設定変更時は、以下のボタンを使います。



[リセット] ボタン:

「設定/登録モード」メイン画面に戻ります。

[戻る/取消] ボタン:

選択操作をキャンセルします。画面は前画面に戻ります。「設定/登録モード」メイン画面で押すと、「コピーモード」メイン画面に戻ります。

◀/▶ ボタン:

カーソルを左右に移動します。

▲/▼ ボタン:

カーソルを上下に移動して、メニューや項目を選択します。

[OK] ボタン:

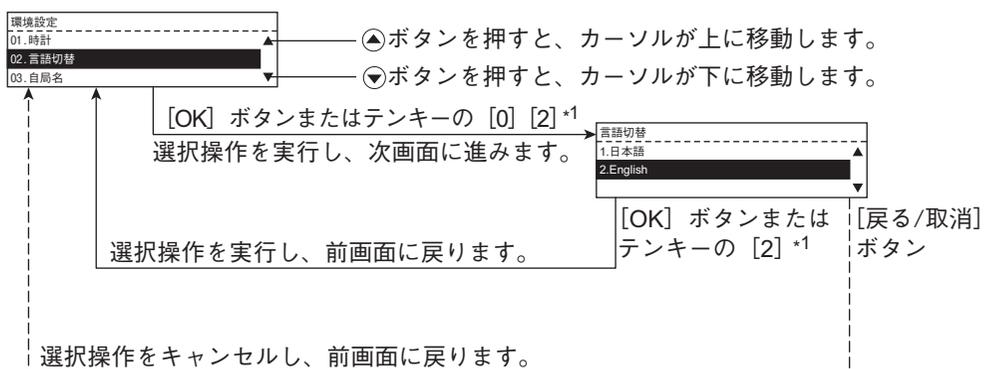
メニューや項目の選択を実行します。数値入力時は、入力した数値を確認します。

テンキー:

数値を入力します。

[クリア/ストップ] ボタン: 入力した数値を一括クリアします。

実際のメニュー操作の例を以下に示します。



*1 各項目の先頭には、1桁または2桁の番号が付いています。▲/▼ボタンと[OK]ボタンを押す代わりに、この番号をテンキーで入力することにより、直接その項目を選択・実行することもできます。

「コピーモード」メイン画面に戻るには

[設定/登録] ボタン、または  (コピーモード) ボタンを押してください。「コピーモード」メイン画面に戻ります。

日付・時刻の設定

時刻合わせと、日付・時刻の表示形式の設定を行います。

時刻合わせ

- 1 [設定/登録] ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

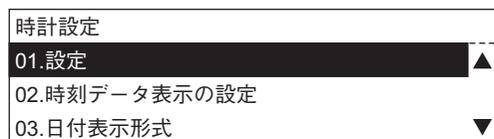
- 2 ▲/▼を押して「環境設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



- 3 ▲/▼を押して「時計」を選び、[OK] ボタンを押します。

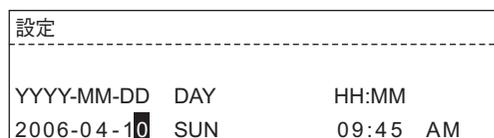


- 4 ▲/▼を押して「設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



- 5 テンキーを使って日付を入力します。

例)2006年4月10日の場合:[2][0][0][6][0][4][1][0]



6 ▲/▼を押して曜日を選び、▶を押します。

設定		
YYYY-MM-DD	DAY	HH:MM
2006-04-10	MON ▲	09:45 AM

7 テンキーを使って時刻を入力します。

例)10時30分の場合:[1][0][3][0]

設定		
YYYY-MM-DD	DAY	HH:MM
2006-04-10	MON	10:30 AM

補 足

12時間表示になっている場合は、▲/▼を押して午前/午後を切り替えてください。

8 すべての項目を入力し終わったら、[OK]ボタンを押します。

時刻が設定され、手順4の画面に戻ります。

9 [設定/登録]ボタン、または^{コピー} (コピーモード)ボタンを押します。

「コピーモード」メイン画面に戻ります。

日付・時刻の表示形式の設定

日付と時刻の表示形式の設定を行います。「時計設定」メニューから各項目を選んで設定します。

時計設定
01.設定 ▲
02.時刻データ表示の設定
03.日付表示形式 ▼

時刻データ表示の設定

時刻表示のしかたを選びます。

24時間:24時間表示にする

12時間:12時間表示にする

時刻データ表示の設定
1.24時間 ▲
2.12時間 ▼

日付表示形式

日付の表示のしかたを選びます。

例)2006年4月10日の場合

YYYY-MM-DD: 2006-04-10

MM-DD-YYYY: 04-10-2006

DD-MM-YYYY: 10-04-2006

YY-MM-DD: 06-04-10

MM-DD-YY: 04-10-06

DD-MM-YY: 10-04-06

日付表示形式
1.YYYY-MM-DD ▲
2.MM-DD-YYYY
3.DD-MM-YYYY ▼

月データ表示の設定

月の表示のしかたを選びます。

数字: 月を数字で表示する

アルファベット: 月をアルファベット(Jan, Feb, ...)で表示する

月データ表示の設定
1.数字 ▲
2.アルファベット ▼

表示言語の設定

画面の表示言語を切り替えます。

1 [設定/登録] ボタンを押します。

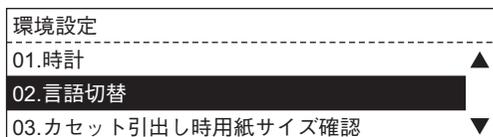


「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

2 ▲/▼を押して「環境設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「言語切替」を選び、[OK] ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して表示言語を選び、[OK] ボタンを押します。

日本語、または英語が選べます。



表示言語が設定され、手順3の画面に戻ります。

5 [設定/登録] ボタン、または (コピーモード) ボタンを押します。

「コピーモード」メイン画面に戻ります。

用紙サイズの設定

カセットや手差しトレイにセットした用紙のサイズを設定します。

1 [設定/登録] ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



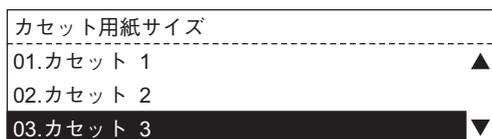
3 ▲/▼を押して「一般設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「カセット用紙サイズ」を選び、[OK] ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して用紙サイズを設定したい給紙元を選び、[OK] ボタンを押します。



6 ▲/▼を押して用紙のサイズを選び、[OK]ボタンを押します。

設定できる用紙サイズは以下のとおりです。

A3、A4、A4-R、B4、B5、B5-R、A5-R、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、FOLIO、COMP、はがき（A5-R、ST-Rは「カセット3」、「カセット4」、「手差し」にのみ設定できます。はがきは「手差し」にのみ設定できます。）



用紙サイズが設定され、手順5の画面に戻ります。

7 [設定/登録]ボタン、または^{コピー}☐(コピーモード)ボタンを押します。

「コピーモード」メイン画面に戻ります。

優先画面の設定

本機の電源を入れたときに表示される画面を設定します。工場出荷時の初期設定では、「コピーモード」メイン画面が表示されるようになっています。

1 「設定/登録」ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

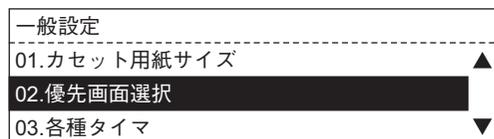
2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK]ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「一般設定」を選び、[OK]ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「優先画面選択」を選び、[OK]ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して、電源を入れたときに表示される画面を選び、[OK]ボタンを押します。

コピー、ファクス、スキャンから選びます。



注意

- 「ファクス」は、オプションのファクスキット装着時のみ表示されます。
- 「スキャン」は、オプションのスキャナアップグレードキット装着時のみ表示されません。

電源を入れたときに表示される画面が設定され、手順4の画面に戻ります。

6 [設定/登録]ボタン、または^{コピー} (コピーモード)ボタンを押します。 「コピーモード」メイン画面に戻ります。

補足

変更した設定内容は、オートクリア時間が経過すると有効になります。

各種タイマの設定

以下のタイマ設定を変更します。

オートクリア時間： オートクリアするまでの時間

自動節電時間： 低電力モードに入るまでの時間

自動オフ時間： 低電力モードに入ってから、スリープモードに入るまでの時間

低電力モード、スリープモードについて詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ P.22 「本機を快適な環境でご使用いただくために」

オートクリア時間

1 [設定/登録] ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

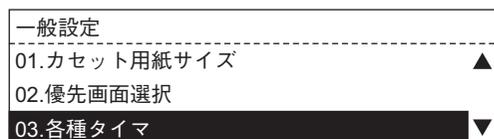
2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「一般設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「各種タイマ」を選び、[OK] ボタンを押します。



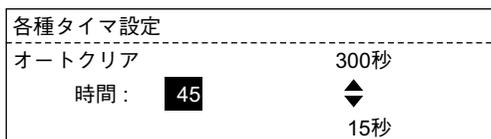
- 5 ▲/▼を押して「オートクリア時間」を選び、[OK] ボタンを押します。



- 6 ▲/▼を押して、オートクリアされるまでの時間を選び、[OK] ボタンを押します。

設定できる時間は以下のとおりです。(単位:秒)

15、30、45、60、75、90、105、120、135、150、180、210、240、270、300



オートクリア時間が設定され、手順5の画面に戻ります。

- 7 [設定/登録] ボタン、または  (コピーモード) ボタンを押します。
「コピーモード」メイン画面に戻ります。

自動節電時間

- 1 [設定/登録] ボタンを押します。

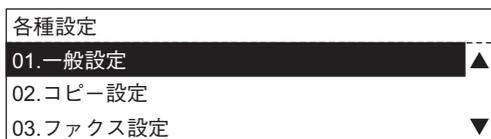


「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

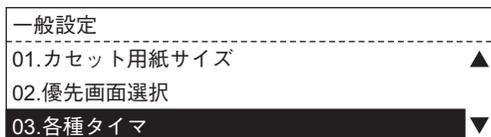
- 2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



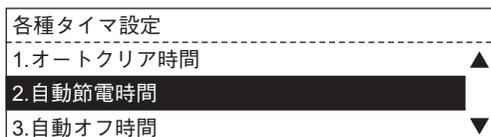
3 ▲/▼を押して「一般設定」を選び、[OK]ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「各種タイマ」を選び、[OK]ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して「自動節電時間」を選び、[OK]ボタンを押します。



6 ▲/▼を押して、低電力モードに入るまでの時間を選び、[OK]ボタンを押します。

設定できる時間は以下のとおりです。(単位:分)

1、2、3、4、5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60、70、80、90、100、110、120、150、180、210、240



低電力モードに入るまでの時間が設定され、手順5の画面に戻ります。

7 [設定/登録]ボタン、または^{コピー} (コピーモード)ボタンを押します。
「コピーモード」メイン画面に戻ります。

自動オフ時間

- 1 [設定/登録] ボタンを押します。

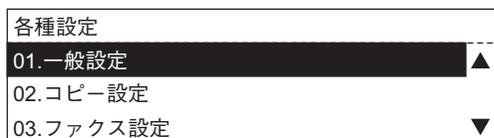


「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

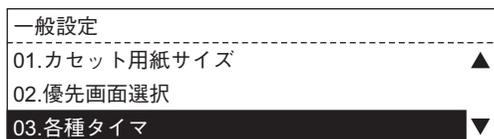
- 2 $\triangleleft/\triangleright$ を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



- 3 $\triangleleft/\triangleright$ を押して「一般設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



- 4 $\triangleleft/\triangleright$ を押して「各種タイマ」を選び、[OK] ボタンを押します。



- 5 $\triangleleft/\triangleright$ を押して「自動オフ時間」を選び、[OK] ボタンを押します。



6 ▲/▼を押して、スリープモードに入るまでの時間を選び、[OK]ボタンを押します。

設定できる時間は以下のとおりです。(単位:分)

3、5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60、70、80、90、100、110、120、150、180、210、240

各種タイマ設定	
自動オフ	240分
時間: 15	◆
	3分

スリープモードに入るまでの時間が設定され、手順5の画面に戻ります。

7 [設定/登録]ボタン、または^{コピー} (コピーモード)ボタンを押します。
「コピーモード」メイン画面に戻ります。

ウィークリータイマの設定

ウィークリータイマを設定します。ウィークリータイマを使えば、決められた時刻になると本機が自動的にスリープモードに入るように設定できます。始業時刻になると待機状態になり、終業時刻になるとスリープモードに入るような使いかたが可能です。また、時刻は曜日ごとに設定できます。

注意

- 本機が節電モードに入っているときに、ウィークリータイマのオフ時刻になった場合、次のオン時刻になっても本機は待機状態に戻りません。この場合は以下の方法で待機状態に戻してください。
 - [節電]ボタンを押す。
 - 原稿カバー(オプション)、自動(両面)原稿送り装置(オプション)を開ける。
 - 本機とコンピュータをUSBケーブルで接続する。
- 本機の電源スイッチがオフになっている場合は、ウィークリータイマは動作しません。

補足

オプションのファクスキットを使用している場合は、省エネルギー対策としてこの機能をお使いになることをお勧めします。

1 [設定/登録]ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

2 ◀/▶を押して「各種設定」を選び、[OK]ボタンを押します。



3 ◀/▶を押して「一般設定」を選び、[OK]ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「ウィークリータイマ」を選び、[OK] ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して「オン」を選び、[OK] ボタンを押します。



6 ▲/▼を押して、設定したい曜日を選び、[OK] ボタンを押します。



7 電源をオンにする時刻を、テンキーを使って入力し、[OK] ボタンを押します。

例)10時30分の場合:[1][0][3][0]



補 足

12時間表示になっている場合は、▲/▼を押して午前/午後を切り替えてください。

8 電源をオフにする時刻を、テンキーを使って入力し、[OK] ボタンを押します。



電源をオン/オフする時刻が設定され、手順6の画面に戻ります。

9 手順6～8に従って、電源をオン／オフする時刻を曜日ごとに設定します。

10 すべての設定が終わったら「設定終了」を選び、[OK] ボタンを押します。



ウィークリータイマが有効になり、手順4の画面に戻ります。

11 [設定/登録] ボタン、または  (コピーモード) ボタンを押します。
「コピーモード」メイン画面に戻ります。

ウィークリータイマを解除するには
手順5で「オフ」を選びます。

補 足

設定した時刻の情報は、ウィークリータイマを解除しても保持されています。再度ウィークリータイマをオンにしたときに、時刻の設定が有効になります。

音量の調節

警告音、キータッチ音、呼び出し音、回線音量のそれぞれの音量を設定します。

注意

このメニュー項目は、オプションのファクスキット装着時のみ表示されます。ファクスキットを装着していない場合は、キータッチ音のオン/オフの切り替えができます。

📖 P.135 「キータッチ音の設定」

1 [設定/登録] ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

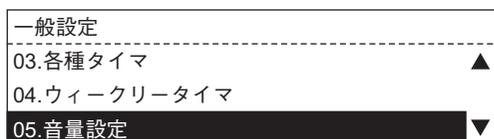
2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「一般設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「音量設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して、音量を設定したい音の種類を選び、[OK]ボタンを押します。

設定できる音は以下のとおりです。

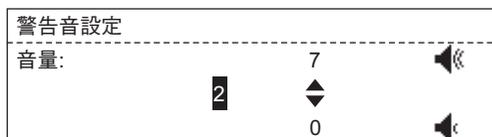
警告音、キータッチ音、呼び出し音、回線音量

例)「警告音」を選んだ場合



6 ▲/▼を押して、音量を調節し、[OK]ボタンを押します。

音量は0(消音)～7(最大)まで8段階で調節できます。



音量が設定され、手順5の画面に戻ります。

7 手順5、6に従って、必要に応じて他の音の音量を調節します。

8 [設定/登録]ボタン、または^{コピー} (コピーモード)ボタンを押します。 「コピーモード」メイン画面に戻ります。

キータッチ音の設定

操作パネルのボタンを押したときに鳴る音のオン/オフを切り替えます。

注意

このメニュー項目は、オプションのファクスキットを装着していない場合にのみ表示されます。ファクスキットを装着している場合は、各種の音量を調節できます。

📖 P.133 「音量の調節」

1 [設定/登録] ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



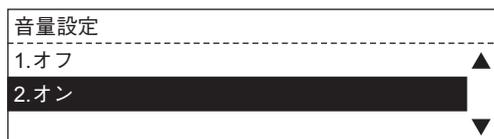
3 ▲/▼を押して「一般設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「音量設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



- 5 ▲/▼を押して、キータッチ音のオン／オフを切り替え、[OK]ボタンを押します。



手順4の画面に戻ります。

- 6 [設定/登録]ボタン、または^{コピー} (コピーモード)ボタンを押します。
「コピーモード」メイン画面に戻ります。

部門管理

部門管理機能を使うと、使用者のグループ(部門)ごとに、コピー、ファクス送受信、プリントのそれぞれの出力実績を把握できます。

また、部門管理機能を使うと、本機を使用する前に部門コードの入力を促す画面が表示されます。これにより、本機的不正利用を防ぐことができます。

📖 P.35「準備1 電源を入れる」

部門コードを設定する

1 [設定/登録] ボタンを押します。

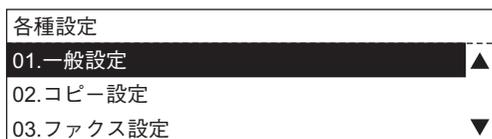


「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

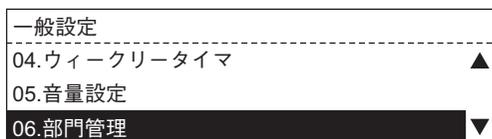
2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「一般設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「部門管理」を選び、[OK] ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して「有効」を選び、[OK]ボタンを押します。

部門管理	
1.有効	▲
2.無効	▼

6 ▲/▼を押して、「新規作成」を選び、[OK]ボタンを押します。

部門管理	
1.以前のコードを利用	▲
2.新規作成	▼

注意

- この画面は、はじめて本機の部門管理機能を設定する場合や、それまで部門管理機能を「有効」に設定していた場合は表示されません。
- 「新規作成」を選ぶと、それまでに設定してあったマスターコードおよび部門コードは削除されます。(以前に設定したマスターコードおよび部門コードを使う場合は、「以前のコードを利用」を選びます。)

次に、マスターコード(管理者用のコード)を設定します。オプションの拡張キーボードを装着している場合は手順7に、装着していない場合は手順8に進んでください。

7 マスターコード名を入力します。

以下の画面が約2秒間表示されます。

マスターコード登録	
部門番号 =	01
マスターコード名の入力 = (MAX20)	

その後、文字入力画面に切り替わります。

AI辞書変換	
入力=1	

マスターコード名を入力し、[OK]ボタンを押します。

注意

- マスターコード名の入力、オプションの拡張キーボードを装着している場合のみ行います。
- マスターコード名には、任意の文字列を設定できます。入力モードを「カタカナ」または「アルファベット」にしている場合は最大20文字、「ひらがな」または「文字コード」にしている場合は最大10文字まで入力できます。
- マスターコード名は省略できます。省略する場合は、何も入力せずに[OK]ボタンを押してください。

補足

入力モードの切り替えかたや文字入力のしかたについては、オプションのファクスキットまたはスキャナアップグレードキットに付属の取扱説明書をご覧ください。

8 マスターコードをテンキーで入力し、[OK]ボタンを押します。

マスターコード登録	
部門番号 =	01
マスターコードを入力してください	

注意

- マスターコードには、5桁の数字を入力します。入力した数字はアスタリスク(*)で表示されます。
- マスターコードは、各部門コードの設定や削除を行うときに入力する必要があります。マスターコードを忘れないようにご注意ください。

マスターコードが部門番号「1」に登録されます。
次に、部門コードを設定します。

9 部門コードの設定を行います。設定したい部門番号をテンキーで入力し、[OK]ボタンを押します。

部門コードの設定	
部門番号を選択してください (1-99)	
	2

注意

部門番号は、「2」～「99」から選んで入力します。部門番号「1」には、マスターコードが登録されています。

オプションの拡張キーボードを装着している場合は手順10に、装着していない場合は手順11に進んでください。

10 部門名を入力します。

以下の画面が約2秒間表示されます。

部門コード登録	
部門番号＝	02
部門名を入力して下さい (MAX20)	
■	

その後、文字入力画面に切り替わります。

AI辞書変換	
入力＝1	■
■	

部門名を入力し、[OK]ボタンを押します。

注意

- ・ 部門名の入力は、オプションの拡張キーボードを装着している場合のみ行います。
- ・ 部門名には、任意の文字列を設定できます。入力モードを「カタカナ」または「アルファベット」にしている場合は最大20文字、「ひらがな」または「文字コード」にしている場合は最大10文字まで入力できます。
- ・ 部門名は省略できます。省略する場合は、何も入力せずに[OK]ボタンを押してください。

補足

入力モードの切り替えかたや文字入力のしかたについては、オプションのファクスキットまたはスキャナアップグレードキットに付属の取扱説明書をご覧ください。

11 部門コードをテンキーで入力し、[OK]ボタンを押します。

部門コード登録	
部門番号＝	02
コードを入力してください	
*****■	

注意

- ・ 部門コードには、5桁の数字を入力します。入力した数字はアスタリスク(*)で表示されます。
- ・ すでに設定されている部門コードは使用できません。

手順9の画面に戻ります。

12 手順9～11に従って、必要に応じて他の部門コードを設定します。

13 [設定/登録] ボタン、または  (コピーモード) ボタンを押します。
「コピーモード」メイン画面に戻ります。

部門名や部門コードを変更する

設定済みの部門の名前や部門コードを変更します。部門コード入力画面でマスターコードを入力してから以下の手順に進んでください。

1 [設定/登録] ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

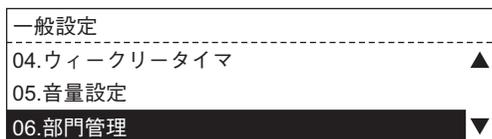
2  /  を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



3  /  を押して「一般設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



4  /  を押して「部門管理」を選び、[OK] ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して「有効」を選び、[OK]ボタンを押します。

部門管理
1.有効 ▲
2.無効 ▼

6 設定を変更したい部門番号をテンキーで入力し、[OK]ボタンを押します。

部門コードの設定
部門番号を選択してください (1-99)
2

以下の画面が約2秒間表示されます。

部門コード登録
部門番号＝ 02
登録済みです

7 ▲/▼を押して「修正」を選び、[OK]ボタンを押します。

部門コード登録
1.削除 ▲
2.修正 ▼
3.変更なし

オプションの拡張キーボードを装着している場合は手順8に、装着していない場合は手順9に進んでください。

8 新しい部門名に変更します。

以下の画面が約2秒間表示されます。

部門コード登録
部門番号＝ 02
部門名を入力して下さい (MAX20)
■

その後、文字入力画面に切り替わります。

AI辞書変換
入力=1 ■
■

新しい部門名を入力し、[OK]ボタンを押します。

注意

- 部門名の入力には、オプションの拡張キーボードを装着している場合のみ行います。
- 部門名には、任意の文字列を設定できます。入力モードを「カタカナ」または「アルファベット」にしている場合は最大20文字、「ひらがな」または「文字コード」にしている場合は最大10文字まで入力できます。
- 部門名は省略できます。省略する場合は、何も入力せずに[OK]ボタンを押してください。(この場合、変更以前の部門名は削除されます。)

補足

入力モードの切り替えかたや文字入力のしかたについては、オプションのファクスキットまたはスキャナアップグレードキットに付属の取扱説明書をご覧ください。

9 新しい部門コードをテンキーで入力し、[OK]ボタンを押します。

部門コード登録	
部門番号 =	02
コードを入力してください	

注意

- 部門コードには、5桁の数字を入力します。入力した数字はアスタリスク(*)で表示されます。
- すでに設定されている部門コードは使用できません。

設定が変更され、手順6の画面に戻ります。

10 手順6～9に従って、必要に応じて他の部門コードの設定を変更します。

11 [設定/登録]ボタン、または^{コピー} (コピーモード)ボタンを押します。 「コピーモード」メイン画面に戻ります。

部門コードを削除する

設定済みの部門コードを削除します。部門コード入力画面でマスターコードを入力してから以下の手順に進んでください。

1 [設定/登録] ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

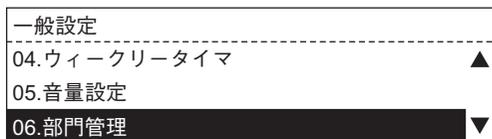
2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



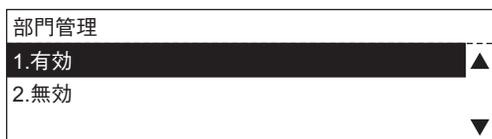
3 ▲/▼を押して「一般設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「部門管理」を選び、[OK] ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して「有効」を選び、[OK] ボタンを押します。



6 削除したい部門番号をテンキーで入力し、[OK]ボタンを押します。

部門コードの設定

部門番号を選択してください (1-99)
2

以下の画面が約2秒間表示されます。

部門コード登録

部門番号 = 02
登録済みです

7 /を押して「削除」を選び、[OK]ボタンを押します。

部門コード登録

1.削除 ▲
2.修正
3.変更なし ▼

注意

削除できるのは部門コードのみです。マスターコードは削除できません。

部門コードが削除され、手順6の画面に戻ります。

8 手順6、7に従って、必要に応じて他の部門コードを削除します。

9 [設定/登録]ボタン、または (コピーモード)ボタンを押します。 「コピーモード」メイン画面に戻ります。

カウンタをリセットする

これまでに各部門で出力した枚数の値をリセットします。部門コード入力画面でマスターコードを入力してから以下の手順に進んでください。

1 [設定/登録] ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

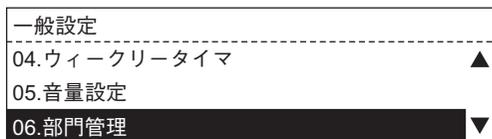
2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



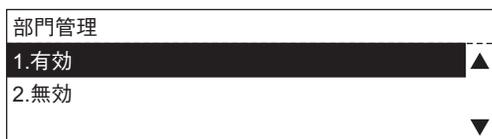
3 ▲/▼を押して「一般設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「部門管理」を選び、[OK] ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して「有効」を選び、[OK] ボタンを押します。



6 カウンタをリセットしたい部門番号をテンキーで入力し、[OK] ボタンを押します。

注意

マスターコードの部門番号(「1」)を入力すると、すべての部門番号のカウンタ値がリセットされます。

部門コードの設定
部門番号を選択してください (1-99)
2

以下の画面が約2秒間表示されます。

部門コード登録
部門番号 = 02
登録済みです

7 /を押して「カウンタリセット」を選び、[OK] ボタンを押します。

部門コード登録
2.修正 ▲
3.変更なし
4.カウンタリセット ▼

以下の画面が約2秒間表示されます。

部門コード登録
部門番号 = 02
カウンタをリセットしました

カウンタがリセットされ、手順6の画面に戻ります。

8 手順6、7に従って、必要に応じて他のカウンタをリセットします。

9 [設定/登録] ボタン、または (コピーモード) ボタンを押します。 「コピーモード」メイン画面に戻ります。

カウンタ値を印刷する

これまでに各部門で出力した枚数を印刷します。

注意

- 印刷されるカウンタ値は、部門コード入力画面で入力した部門のもので。
- 登録してあるすべての部門のカウンタ値を印刷したい場合は、部門コード入力画面でマスターコードを入力してから以下の手順に進んでください。

1 [設定/登録] ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

2 ▲/▼を押して「リスト出力」を選び、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「部門管理リスト」を選び、[OK] ボタンを押します。



部門管理リストが印刷されます。

リストの印刷例については、以下のページを参照してください。

📖 P.213 「部門管理リスト」

4 [設定/登録] ボタン、または (コピーモード) ボタンを押します。

「コピーモード」メイン画面に戻ります。

部門管理機能を停止する

部門コード入力画面でマスターコードを入力してから以下の手順に進んでください。

1 「設定/登録」ボタンを押します。

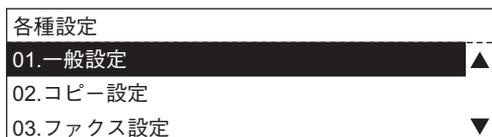


「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

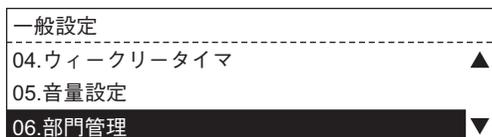
2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK]ボタンを押します。



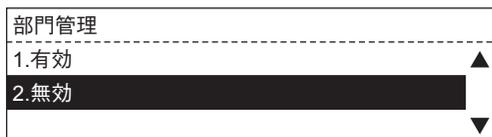
3 ▲/▼を押して「一般設定」を選び、[OK]ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「部門管理」を選び、[OK]ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して「無効」を選び、[OK]ボタンを押します。



-
- 6** [設定/登録] ボタン、または  (コピーモード) ボタンを押します。
「コピーモード」メイン画面に戻ります。

お好み機能の設定

お好み機能の設定を変更します。お好み機能として登録したコピー機能は、「コピーモード」メイン画面でセレクトボタン(中央)を押して呼び出すことができます。よく使う機能を登録しておく便利です。

1 [設定/登録] ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

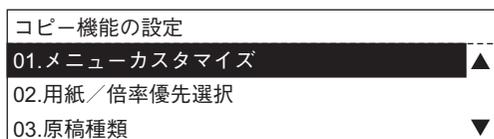
2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「コピー設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「メニューカスタマイズ」を選び、[OK] ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して、お好み機能として登録したい機能を選び、[OK]ボタンを押します。

登録できるコピー機能は以下のとおりです。

仕上げ、両面、2IN1/4IN1、とじしろ、ページ連写、名刺印刷



お好み機能が設定され、手順4の画面に戻ります。

6 [設定/登録]ボタン、または^{コピー} (コピーモード)ボタンを押します。

「コピーモード」メイン画面に戻ります。

補 足

変更した設定内容は、[リセット]ボタンを押すかオートクリア時間が経過すると有効になります。

用紙優先選択／倍率優先選択の設定

「自動用紙選択」と「自動倍率選択」のどちらを優先的に選択するかを設定します。

1 [設定/登録] ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

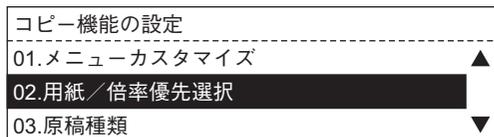
2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「コピー設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「用紙／倍率優先選択」を選び、[OK] ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して、優先的に選択させたい設定を選び、[OK]ボタンを押します。

自動用紙選択(APS): 自動用紙選択を優先的に選択する

自動倍率選択(AMS): 自動倍率選択を優先的に選択する

優先選択なし: 優先選択しない



優先選択が設定され、手順4の画面に戻ります。

6 [設定/登録]ボタン、または^{コピー}☐(コピーモード)ボタンを押します。

「コピーモード」メイン画面に戻ります。

補足

変更した設定内容は、[リセット]ボタンを押すかオートクリア時間が経過すると有効になります。

原稿モードの設定

原稿モードの設定を変更します。

1 [設定/登録] ボタンを押します。

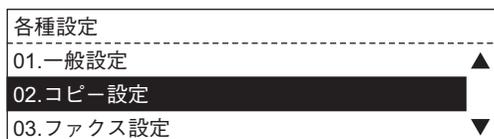


「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

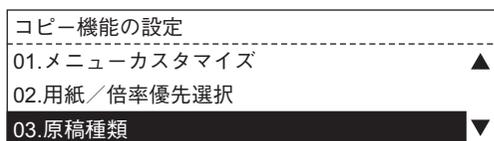
2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「コピー設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「原稿種類」を選び、[OK] ボタンを押します。

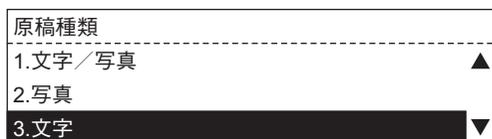


5 ▲/▼を押して原稿モードを選び、[OK]ボタンを押します。

文字/写真: 文字と写真が混在する原稿

写真: 写真の原稿

文字: 文字のみの原稿、または文字と線画のみの原稿



原稿モードが設定され、手順4の画面に戻ります。

6 [設定/登録]ボタン、または^{コピー} (コピーモード)ボタンを押します。

「コピーモード」メイン画面に戻ります。

補 足

変更した設定内容は、[リセット]ボタンを押すかオートクリア時間が経過すると有効になります。

濃度調整の設定

濃度調整のしかたを切り替えます。

1 [設定/登録] ボタンを押します。

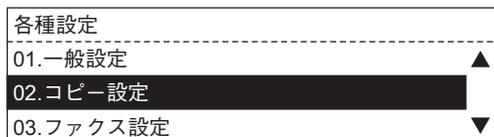


「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

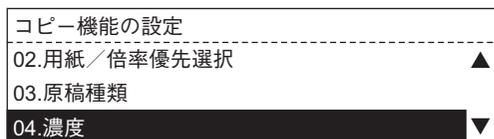
2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「コピー設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



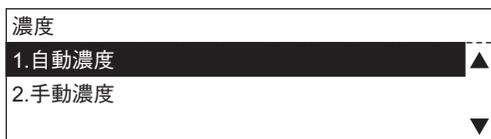
4 ▲/▼を押して「濃度」を選び、[OK] ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して濃度調整のしかたを選び、[OK]ボタンを押します。

自動濃度:原稿の濃度を検知して、最適なコピー濃度に自動的に設定する

手動濃度:コピー濃度を手動で設定する



「自動濃度」を選択した場合は、自動濃度モードに設定され、手順4の画面に戻ります。手順7に進んでください。

「手動濃度」を選択した場合は、手順6に進んでください。

6 ▲/▼を押して濃度を選び、[OK]ボタンを押します。

「低濃度3」(薄い)～「高濃度3」(濃い)の7段階に設定できます。



7 [設定/登録]ボタン、または^{コピー}☐(コピーモード)ボタンを押します。

「コピーモード」メイン画面に戻ります。

補 足

変更した設定内容は、[リセット]ボタンを押すかオートクリア時間が経過すると有効になります。

仕分けの設定

仕分け(排紙のしかた)の優先設定を変更します。

1 [設定/登録] ボタンを押します。

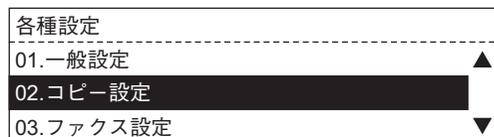


「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「コピー設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



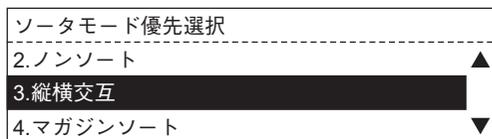
4 ▲/▼を押して「ソータモード優先選択」を選び、[OK] ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して、優先する排紙のしかたを選び、[OK]ボタンを押します。

選択できる仕分けは、以下のとおりです。

ソート、ノンソート、縦横交互、マガジンソート



優先する排紙のしかたが設定され、手順4の画面に戻ります。

6 [設定/登録]ボタン、または^{コピー} (コピーモード)ボタンを押します。

「コピーモード」メイン画面に戻ります。

補 足

変更した設定内容は、[リセット]ボタンを押すかオートクリア時間が経過すると有効になります。

マガジンソートの設定

マガジンソート機能を使ったときの、綴じる方向を設定します。

注意

このメニュー項目は、オプションの自動両面ユニット装着時のみ表示されます。

1 [設定/登録] ボタンを押します。

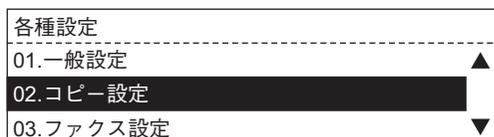


「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

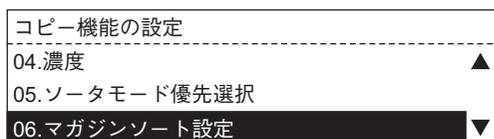
2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「コピー設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「マガジンソート設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して綴じる方向を選び、[OK]ボタンを押します。

左開き:左側にページをめくる冊子(主に横書き)の場合

右開き:右側にページをめくる冊子(主に縦書き)の場合



綴じる方向が設定され、手順4の画面に戻ります。

6 [設定/登録]ボタン、または^{コピー}☐(コピーモード)ボタンを押します。

「コピーモード」メイン画面に戻ります。

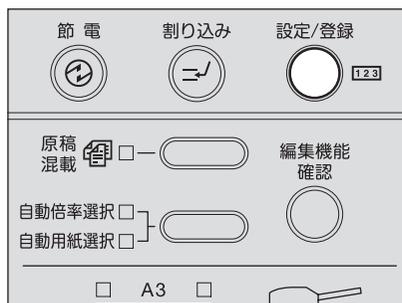
補足

変更した設定内容は、[リセット]ボタンを押すかオートクリア時間が経過すると有効になります。

2in1/4in1の設定

2in1/4in1機能を使ってコピーするときの、原稿の向きを設定します。

1 [設定/登録] ボタンを押します。

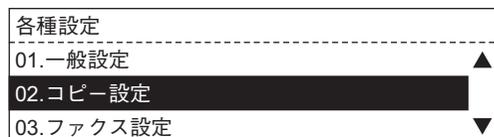


「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

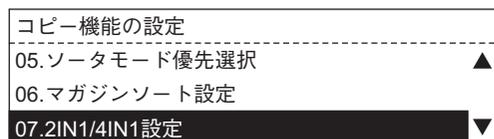
2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「コピー設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して「2IN1/4IN1設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して原稿の向きを選び、[OK]ボタンを押します。

横書き:原稿が横書きの場合

縦書き:原稿が縦書きの場合



原稿の向きが設定され、手順4の画面に戻ります。

6 [設定/登録]ボタン、または^{コピー} (コピーモード)ボタンを押します。

「コピーモード」メイン画面に戻ります。

補足

変更した設定内容は、[リセット]ボタンを押すかオートクリア時間が経過すると有効になります。

ブック両面コピーの設定

ブック両面コピーを行うときの、綴じる方向を設定します。

注意

このメニュー項目は、オプションの自動両面ユニット装着時のみ表示されます。

1 [設定/登録] ボタンを押します。

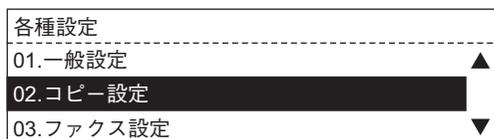


「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

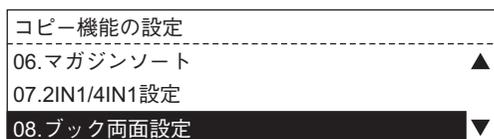
2 ▲/▼を押して「各種設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「コピー設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



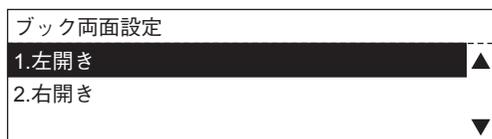
4 ▲/▼を押して「ブック両面設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



5 ▲/▼を押して綴じる方向を選び、[OK]ボタンを押します。

左開き:左側にページをめくる冊子(主に横書き)の場合

右開き:右側にページをめくる冊子(主に縦書き)の場合



綴じる方向が設定され、手順4の画面に戻ります。

6 [設定/登録]ボタン、または^{コピー}☐(コピーモード)ボタンを押します。

「コピーモード」メイン画面に戻ります。

補足

変更した設定内容は、[リセット]ボタンを押すかオートクリア時間が経過すると有効になります。

用紙サイズの変更確認表示の設定

それまでカセットに入っていた用紙とは異なるサイズの用紙をセットしたときには、用紙サイズを本機に登録し直す必要があります。

用紙をひんばんに入れ替える場合は、カセットを閉めたときに用紙サイズの登録画面を自動的に表示させる設定にしておく便利です。

1 [設定/登録] ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

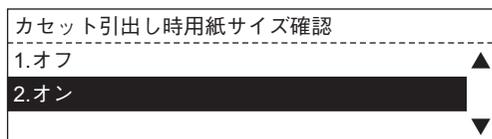
2 ▲/▼を押して「環境設定」を選び、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して「カセット引出し時用紙サイズ確認」を選び、[OK] ボタンを押します。



4 ▲/▼を押して、画面表示のオン/オフを切り替え、[OK] ボタンを押します。



手順3の画面に戻ります。

5 [設定/登録] ボタン、または (コピーモード) ボタンを押します。 「コピーモード」メイン画面に戻ります。

「オン」を選んだ場合はカセットを閉めたときにメッセージが表示されます

「カセット引出し時用紙サイズ確認」を「オン」に設定すると、カセットを閉めたときにメッセージが表示されるようになります。その場合は以下の手順に従って用紙サイズを登録してください。

- 1 それまでカセットに入っていた用紙とは異なるサイズの用紙をセットした場合は、「はい」を選びます。同じサイズの用紙をセットした場合は「いいえ」を選びます。

カセットの用紙サイズを変更しますか	
1. はい	▲
2. いいえ	▼

「いいえ」を選んだ場合は操作完了です。

「はい」を選んだ場合は、手順2に進んでください。

- 2 ▲/▼を押してセットした用紙のサイズを選び、[OK]ボタンを押します。

用紙サイズの選択	
05.B5	▲
06.B5-R	▼
07.LD	▼

用紙サイズが登録されます。

注意

複数のカセットを一緒に閉めた場合は、はじめに閉めた方のカセットの用紙サイズが登録の対象となります。後から閉めた方のカセットの用紙サイズは別途設定してください。

📖 P.121 「用紙サイズの設定」

各種リストの印刷

以下の情報を確認したいときに、一覧にして印刷します。

- 部門管理リスト:** 登録されている部門コードと各部門のカウンタ値を印刷します
- システム設定リスト:** 本機の各種設定の内容を印刷します
- 消耗品通知リスト:** 本機の消耗品情報を印刷します(サービスエンジニア用の機能です。選択できません。)
- メールボックスリスト:** 登録されているメールボックスの箱番号や属性、原稿の登録日時などを印刷します
- 設定リスト:** オプションのネットワークプリンタユニットの設定状態を印刷します
- ネットワーク設定リスト:** オプションのネットワークプリンタユニットの、NIC(Network Interface Card)の情報を印刷します

1 [設定/登録] ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

2 ▲/▼を押して「リスト出力」を選び、[OK] ボタンを押します。



3 ▲/▼を押して印刷したいリストを選び、[OK]ボタンを押します。



注意

- 「消耗品通知リスト」は、サービスエンジニア用の機能です。選択できません。
- 「メールボックスリスト」は、オプションのファクスキット装着時のみ表示されます。
- 「設定リスト」および「ネットワーク設定リスト」は、オプションのネットワークプリンタユニット装着時のみ表示されます。

リストが印刷されます。

各リストの印刷例については、以下のページを参照してください。

📖 P.213 「リスト出力例」

4 [設定/登録]ボタン、または (コピーモード)ボタンを押します。 「コピーモード」メイン画面に戻ります。

メニューリストの印刷

本機のメニューを一覧にして印刷します。

1 [設定/登録] ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

2 \triangle / ∇ を押して「メニューリスト」を選び、[OK] ボタンを押します。



メニューリストが印刷されます。

メニューリストの印刷例については、以下のページを参照してください。

P.213 「リスト出力例」

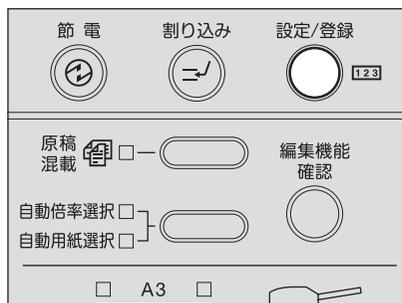
3 [設定/登録] ボタン、または \square (コピーモード) ボタンを押します。

「コピーモード」メイン画面に戻ります。

ROMバージョン表示

本機の製造バージョンを表示します。

1 [設定/登録] ボタンを押します。



「設定/登録モード」メイン画面が表示されます。

2 ▲/▼を押して「ROMバージョン表示」を選び、[OK] ボタンを押します。



本機の製造バージョンが表示されます。

3 [設定/登録] ボタン、または ^{コピー} (コピーモード) ボタンを押します。

「コピーモード」メイン画面に戻ります。

6

こんなときは

トラブルが発生したときのメッセージのほか、紙が詰まったときの対処のしかた、トナーカートリッジの交換手順、困ったときの対処のしかたなどについて説明しています。

画面にメッセージが表示される	174
紙が詰まったときは	176
紙が詰まっている位置を確認する	176
紙づまりがひんぱんに起こるときは.....	176
用紙を取り除くときのご注意	177
自動(両面)原稿送り装置(オプション)内部の紙づまり解除	177
手差しトレイの紙づまり解除	181
自動両面ユニット(オプション)内部の紙づまり解除	181
転写ユニット内部の紙づまり解除	182
定着器内部の紙づまり解除	183
給紙ユニット(オプション)の紙づまり解除	185
多段給紙装置(オプション)の紙づまり解除	186
トナーカートリッジを交換する	187
故障かな? と思ったときは	193
操作全般.....	193
トナー関連	194
原稿・用紙関連.....	195
思いどおりのコピーができない.....	195

画面にメッセージが表示される

機体にトラブルが生じると、画面にメッセージが表示されます。以下の表をご覧のうえ、対処してください。

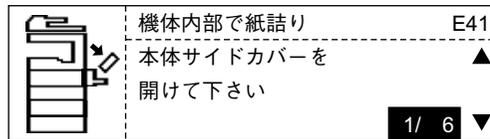
メッセージ	意味	対処のしかた
で紙詰り	「」で示す場所で原稿や用紙が詰まっている。	つまっている紙を取り除いてください。 ☞ P.176「紙が詰まったときは」
を閉めて下さい	「」で示すカバーが確実に閉まっていない。	カバーを確実に閉めてください。
カセット*に用紙がありません	「*」で示すカセットの用紙がなくなった。	用紙をセットしてください。 ☞ P.39「カセットに用紙をセットする」
コピー可能枚数を超えました	原稿を読み込んでいる途中で、最大読み込み可能枚数(250枚)を超えた。	読み込んだところまでコピーするときは「印刷」を選んでください。読み込んだ内容を取り消すときは「取消」を選んでください。
サービスコール	サービスエンジニアによる調整が必要です。	弊社販売店にご連絡ください。 画面右上に表示されているエラーコード(アルファベットと数字の組み合わせ)を担当者にお知らせください。 ⚠ 警告 分解・改造・修理はしないこと 感電・火災・けがの原因となります。動作不良・故障時は弊社販売店にご連絡ください。
定期点検の時期です	サービスエンジニアによる保守点検が必要です。	弊社販売店にご連絡ください。
手差しに用紙がありません	手差しトレイの用紙がなくなりました。	用紙をセットしてください。 ☞ P.61「手差しトレイを使ってコピーする」
トナーが残り少なくなりました	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなりました。	トナーカートリッジ内にトナーが残っています。トナーカートリッジは「トナーを交換して下さい」と表示されるまで交換しないでください。 注意 <ul style="list-style-type: none"> トナーカートリッジ内のトナーの残りかたは一律ではないので、ごく稀にこのメッセージが表示されない場合があります。 このメッセージが表示されたら、推奨トナーカートリッジをご購入いただきご準備いただくことをお勧めします。
トナーが認識されません	トナーカートリッジが正しく挿入されていない。	トナーカートリッジを正しく挿入してください。
	推奨品以外のトナーカートリッジが挿入されている。	推奨トナーカートリッジを使用してください。推奨品以外のトナーカートリッジを使用したい場合、このメッセージ表示に不都合を感じる場合は弊社販売店までご連絡ください。 ☞ P.24「推奨トナーカートリッジについて」
トナーを交換して下さい	トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。	新しいトナーカートリッジと交換してください。 ☞ P.187「トナーカートリッジを交換する」
部門コードが異なります	部門コード入力画面で入力した部門コードが正しくありません。	正しい部門コードを入力し直してください。部門コードが分からないときは、管理者に確認してください。

メッセージ	意味	対処のしかた
メモリ容量が足りません	原稿を読み込んでいる途中で、本機の内蔵メモリの空き容量が不足した。	読み込んだところまでコピーするときは「印刷」を選んでください。読み込んだ内容を取り消すときは「取消」を選んでください。
排紙トレイの用紙を取り除いて下さい スタートキーを押して下さい	排紙した用紙があふれるのを防ぐため、連続して約250枚排紙したところでコピー動作を停止した。	排紙トレイから用紙を取り除き、[スタート]ボタンを押してください。コピーが再開されます。コピーを中止したい場合は[クリア/ストップ]ボタンを押してください。画面に「メモリをクリアしますか?」と表示されます。「はい」を選んで[スタート]ボタンまたは[OK]ボタンを押してください。

紙がつまったときは

紙がつまっている位置を確認する

原稿や用紙がつまるとコピー動作が停止して、紙がつまっている場所をメッセージでお知らせします。



メッセージを確認して、つまっている紙を取り除き、[スタート]ボタンを押してください。コピーが再開されます。

補足

原稿や用紙がつまったときは、紙づまりの解除の手順が画面に表示されます。▲/▼ボタンを押すと、手順を前後にたどることができます。

メッセージ	紙がつまっている場所
原稿送り装置で紙詰り	オプションの自動(両面)原稿送り装置の内部(☞ P.177)
手差しで紙詰り	手差しトレイ(☞ P.181)
両面装置で紙詰り	オプションの自動両面ユニットの内部(☞ P.181)
機体内部で紙詰り	転写ユニットの内部(☞ P.182)
	定着器の内部(☞ P.183)
	オプションの給紙ユニットの給紙カセット(☞ P.185)
	オプションの多段給紙装置の給紙カセット(☞ P.186)

紙づまりがひんぱんに起こるときは

紙づまりが起こる原因には、主に以下のものが考えられます。紙づまりがひんぱんに起こるときは、再度確認してください。

- 自動(両面)原稿送り装置にセットできない原稿をセットしている。
☞ P.55「自動(両面)原稿送り装置使用時のご注意」
- 本機で使用できない用紙を使用している。
☞ P.38「使用できない用紙」
- カセットや手差しトレイにセットした用紙のサイズが、本機に正しく登録されていない。
☞ P.47「準備3 セットした用紙のサイズを登録する」
☞ P.62「手差しコピーする(はがき以外)」
☞ P.65「はがきに手差しコピーする」
- 紙づまりが生じたときに、つまっているすべての紙を取り除いていない。
- 給紙カセット内の用紙とサイドガイドの間にまったくすき間がない。またはすき間が空きすぎている。
- 給紙カセット内のサイドガイドの内側にある上限表示より多く用紙をセットしている。

用紙を取り除くときのご注意

つまった用紙を取り除くときは以下の点に注意してください。

用紙が破れないように注意してください

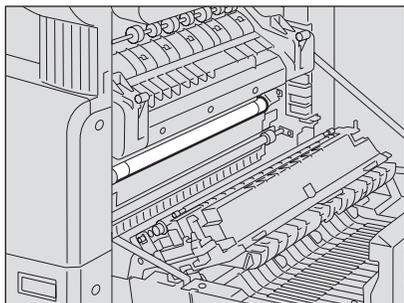
つまった用紙が破れないように、両手でゆっくり取り除いてください。無理に取り除こうとすると、用紙が破れて取り除きにくくなります。また、用紙が破れたときは破れた用紙を本機内に残さないようにしてください。

定着器およびその付近の金属部に触れないように注意してください

定着器内でつまった用紙を取り除くときは、定着器およびその付近の金属部に触れないように注意してください。やけどや、触れたショックで手を機器内部に当ててけがをする原因となります。

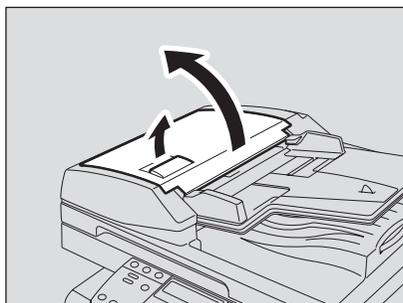
感光ドラムに触れないように注意してください

転写ユニット内および定着器内でつまった用紙を取り除くときは、感光ドラムに触れないように注意してください。画像が汚れる原因となります。

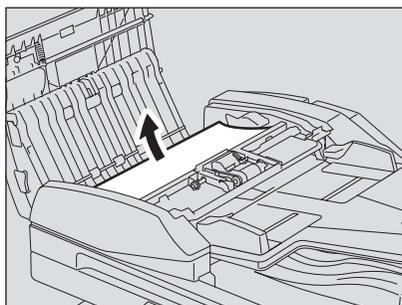


自動(両面)原稿送り装置(オプション)内部の紙づまり解除

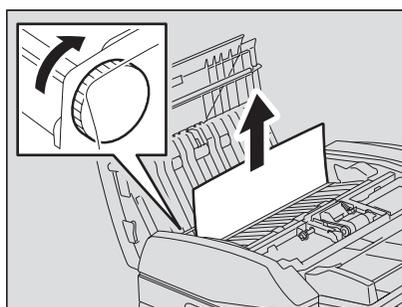
- 1 レバーを上げ、上カバーを開けます。



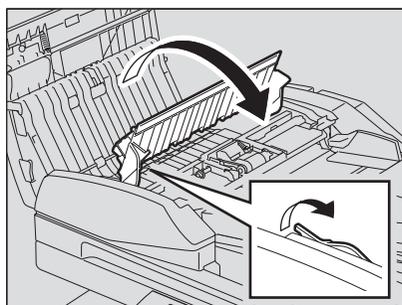
2 原稿を取り除きます。



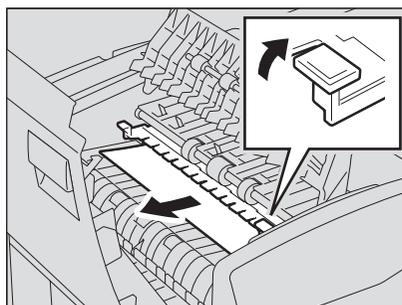
3 ダイアルを回して原稿を取り除きます。



4 搬送ガイドを開きます。



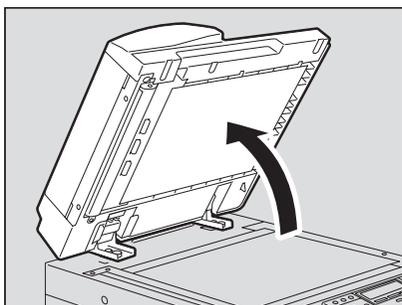
5 搬送ガイドの下のガイド板を上げ、下にある原稿を取り除きます。



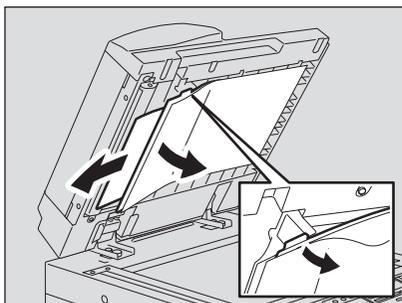
6 搬送ガイドを閉め、上カバーを閉めます。

自動原稿送り装置を使用している場合は、以上で手順は終了です。
自動両面原稿送り装置を使用している場合は、以下の手順に進んでください。

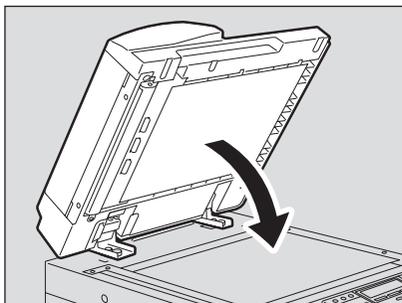
7 自動両面原稿送り装置を開きます。



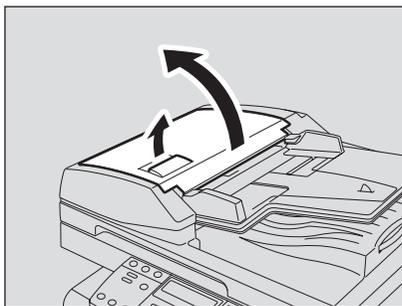
8 反転カバーを開け、原稿を取り除きます。



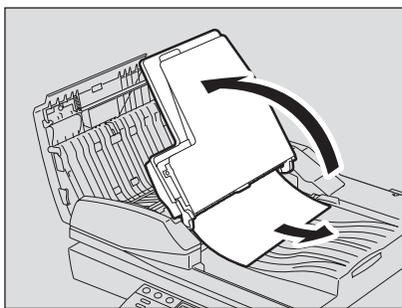
9 自動両面原稿送り装置を静かに閉めます。



10 レバーを上げ、上カバーを開けます。

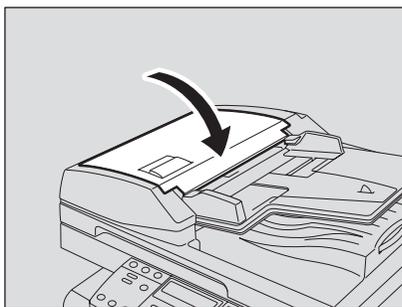


11 原稿給紙トレイを上げ、下にある原稿を取り除きます。



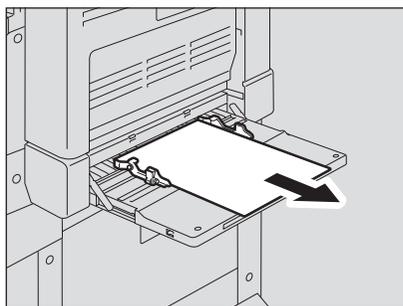
12 原稿給紙トレイを下ろします。

13 上カバーを閉めます。



手差しトレイの紙づまり解除

- 1 手差しトレイ上でつまっている用紙を引き抜きます。



- 2 給紙部の搬送ガイドの下を確認します。

転写ユニット内部の、給紙部の搬送ガイドの下に用紙がつまっていないか確認してください。

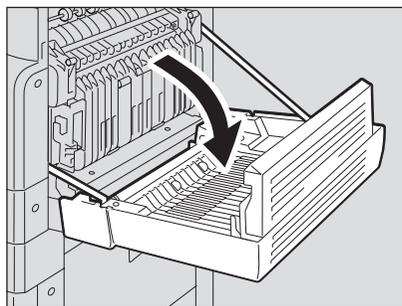
☞ P.182「転写ユニット内部の紙づまり解除」

自動両面ユニット(オプション)内部の紙づまり解除

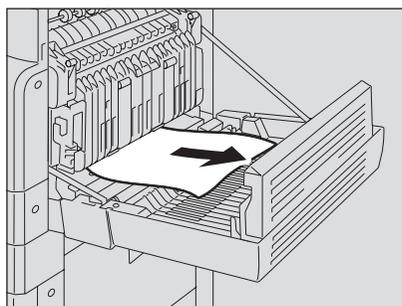
⚠注意

機体とサイドカバーの間に指を挟み込まないように注意すること
けがの原因となります。

- 1 サイドカバーを開けます。



2 つまっている用紙を取り除きます。



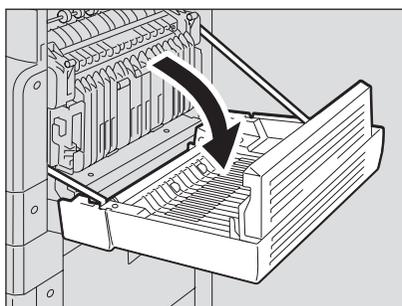
3 サイドカバーを閉めます。

転写ユニット内部の紙づまり解除

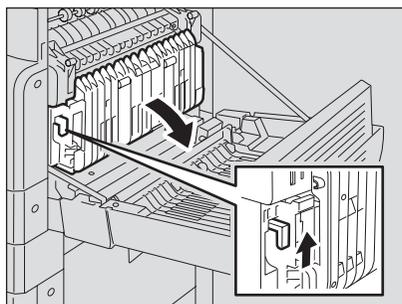
⚠注意

機体とサイドカバーの間に指を挟み込まないように注意すること
けがの原因となります。

1 サイドカバーを開けます。



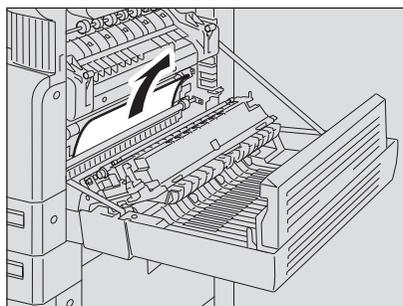
2 緑色のレバーを上げながら、転写ユニットをゆっくり引いて倒します。



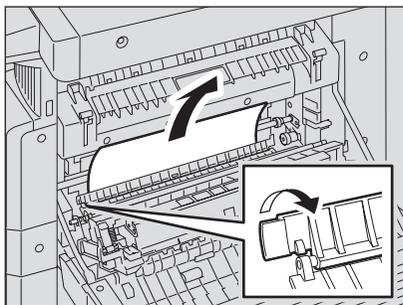
3 つまっている用紙を取り除きます。

注意

用紙を取り除くときに、感光ドラムに触れないように注意してください。



4 給紙部の搬送ガイドを手前に開け、搬送ガイドの下に用紙がつまっていないか確認し、つまっていたら取り除きます。



5 転写ユニットとサイドカバーを閉めます。

定着器内部の紙づまり解除

⚠注意

機体とサイドカバーの間に指を挟み込まないように注意すること
けがの原因となります。

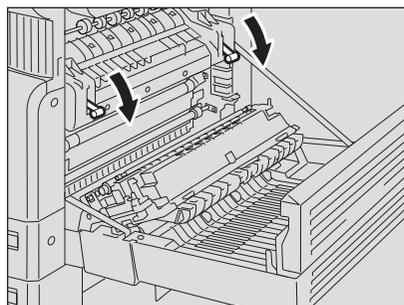
⚠注意

定着器およびその付近の金属部には触れないこと
やけどや、触れたショックで手を機器内部に当て、けがの原因となります。

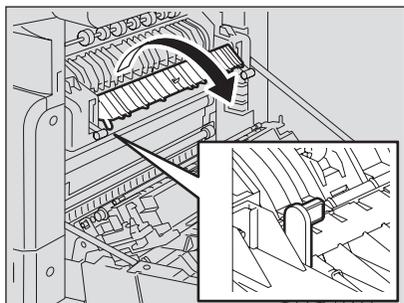
- 1 サイドカバーを開け、転写ユニットを倒した状態で、定着器加圧解除レバー(緑色のつまみ2か所)を止まるまで押し下げます。

注意

レバーは、止まる位置まで確実に押し下げてください。



- 2 つまみを持って、搬送ガイドを開けます。



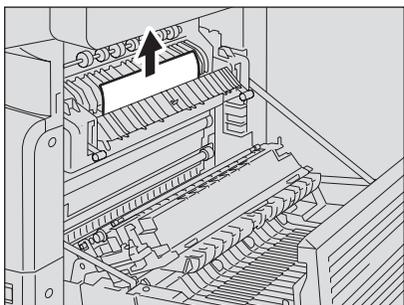
- 3 つまっている用紙を取り除きます。

以下のように、つまった場所にに応じて上または下から用紙を引き抜いてください。

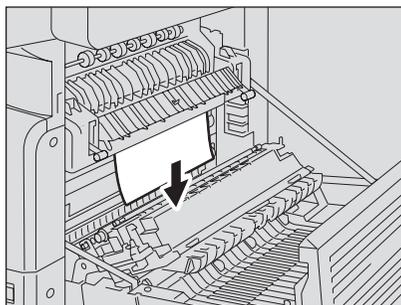
注意

用紙を取り除くときに、感光ドラムに触れないように注意してください。

上から用紙を取り除く場合



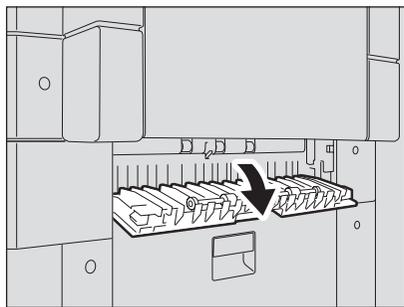
下から用紙を取り除く場合



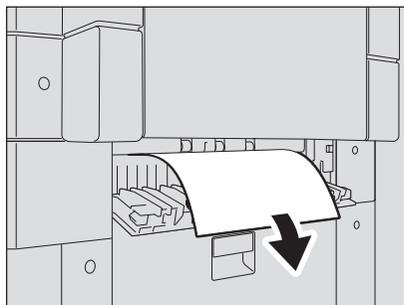
-
- 4** 搬送ガイドを元の位置に戻してから、転写ユニットとサイドカバーを閉めます。

給紙ユニット(オプション)の紙づまり解除

- 1** 給紙ユニットの給紙カバーを開けます。



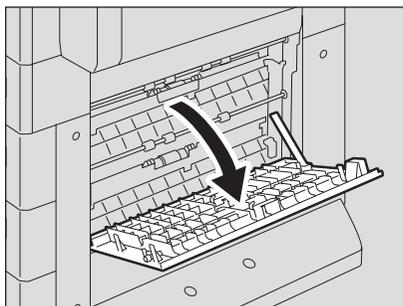
- 2** つまっている用紙を取り除きます。



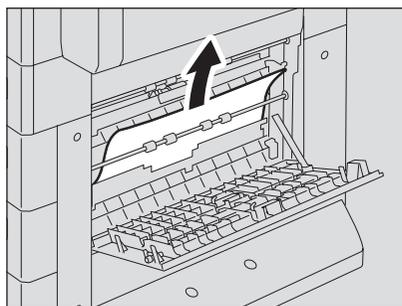
- 3** 給紙カバーを閉めます。

多段給紙装置(オプション)の紙づまり解除

- 1 多段給紙装置の給紙カバーを開けます。



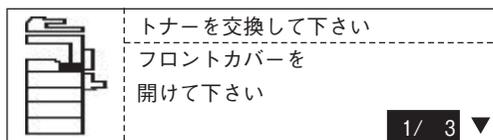
- 2 つまっている用紙を取り除きます。



- 3 給紙カバーを閉めます。

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジ内のトナーがなくなると、画面に以下のように表示されます。



この場合は、新しいトナーカートリッジと交換してください。

補足

トナーカートリッジ内のトナーがなくなったときは、カートリッジの交換手順が画面に表示されます。▲/▼ボタンを押すと、手順を前後にたどることができます。

警告

トナーカートリッジは火の中に入れてはいけないこと
火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。

注意

- 新しいトナーカートリッジを挿入する前に、トナーカートリッジの品名を確認してください。品名に「T-1640J」とあるトナーカートリッジが使用できます。
- 使用済みのトナーカートリッジは廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。
- トナーカートリッジに付いている基板に触れないでください。破損する恐れがあります。

推奨トナーカートリッジについて

最適な印刷品質を得るため、東芝製トナーカートリッジの使用をお勧めします。推奨トナーカートリッジをお使いになりますと、本機が備える以下の2つの機能がご利用いただけます。

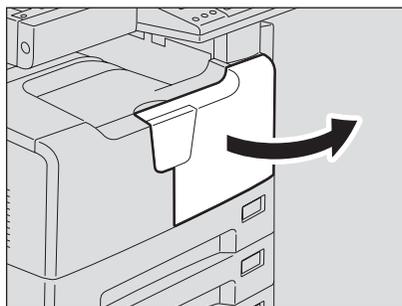
カートリッジチェック機能: トナーカートリッジが本機に正しく挿入されているかチェックし、挿入されていない場合にお客様にお知らせする機能です。

トナー残量チェック機能: トナーが残り少なくなるとお客様にお知らせする機能です。また、トナーが少なくなったことを弊社販売店に自動的に連絡する機能も備えています。

推奨品以外のトナーカートリッジをお使いの場合は、トナーカートリッジが挿入されているかどうか認識できない可能性があります。そのため、カートリッジが挿入されていても、画面に「トナーが認識されません」とメッセージが表示され、通常の印刷ができず、トナー残量チェック機能および弊社販売店への自動連絡機能もご利用になれない可能性があります。

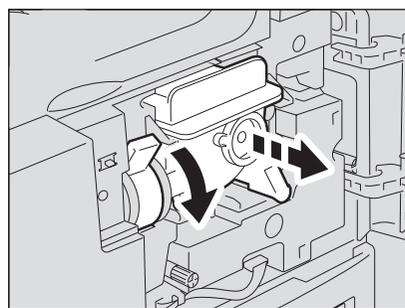
推奨品以外のトナーカートリッジをお使いになるお客様で、不都合を感じる場合は、弊社販売店までご連絡いただければチェック機能の解除も可能です。ただし、この機能を解除しますと、推奨トナーカートリッジをお使いの場合でも、上記の機能をご利用になれなくなりますので十分にご注意ください。

1 フロントカバーを開けます。

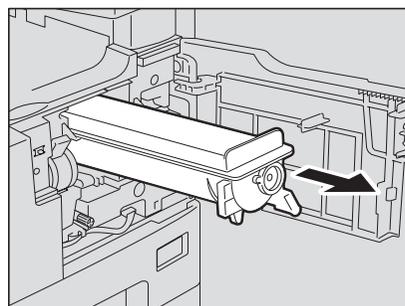


2 緑色のレバーを押し下げます。

トナーカートリッジが少し押し出されます。



3 トナーカートリッジを引き抜きます。



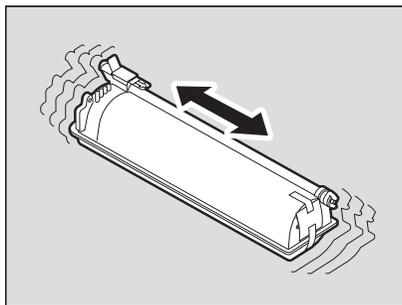
⚠ 警告

トナーカートリッジは火の中に入れていないこと
火の中に入れると爆発・破裂の原因となります。

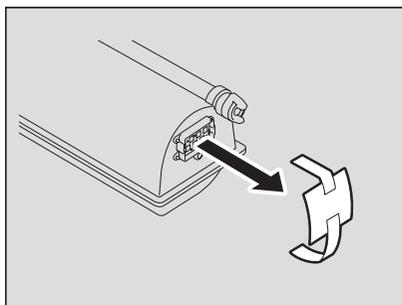
注意

使用済みのトナーカートリッジは廃棄しないでください。弊社販売店のサービスエンジニアが回収します。

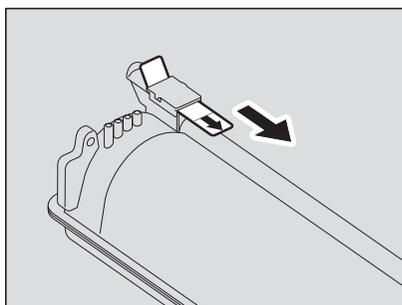
-
- 4** 新しいトナーカートリッジをよく振り、カートリッジ内のトナーをほぐします。



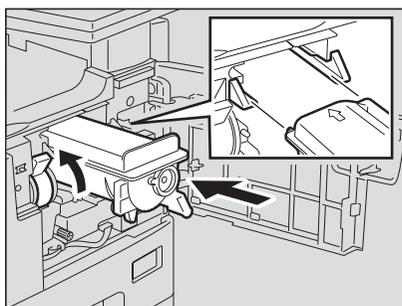
- 5** 基板上のシールをはがします。



- 6** シール部分を矢印の方向に引き抜きます。



7 トナーカートリッジをレールに沿って差し込みます。

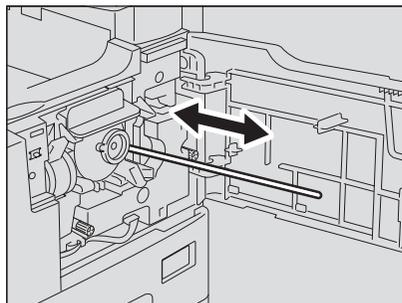


注意

- トナーカートリッジを差し込む前に、緑色のレバーが上がっていることを確認してください。レバーが上がっていない場合は上げてください。
- カチッと音がするまで差し込んでください。

8 チャージャをクリーニングします。

チャージャのクリーニング用つまみをつまんで、手前側に静かに止まるまで引き出した後、静かに元の位置までまっすぐに押し込みます。この動作を2,3回繰り返します。

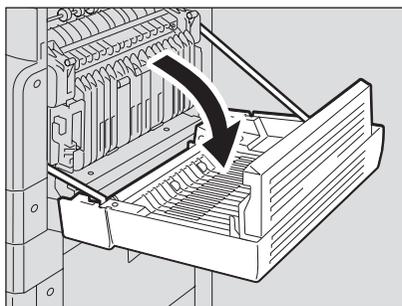


注意

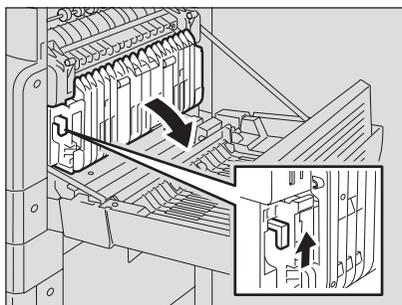
クリーニング終了後、チャージャのクリーニング用つまみが奥まで押し込まれていることを確認してください。

画像のムラを防ぐために、トナーカートリッジを交換した後は以下の手順に従って転写チャージャワイヤを必ずクリーニングしてください。

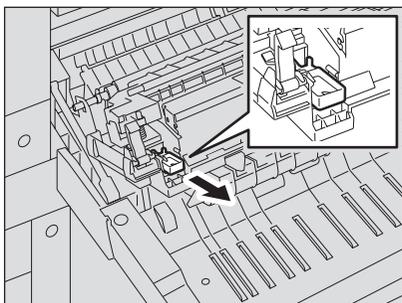
9 サイドカバーを開けます。



10 緑色のレバーを上げながら、転写ユニットをゆっくり引いて倒します。

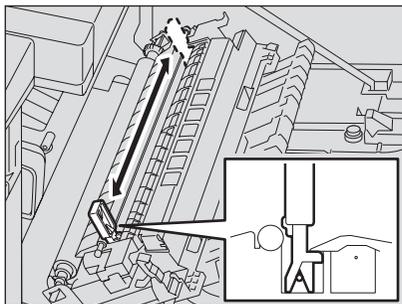


11 手前のクリーナーポケットから転写チャージャクリーナーを取り出します。

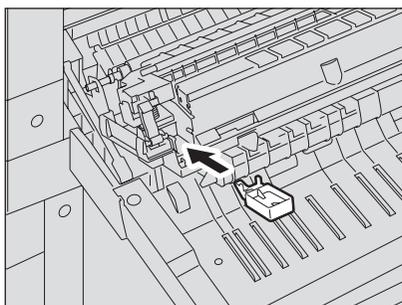


12 転写チャージャクリーナーで転写チャージャワイヤを拭きます。

- (1) 転写チャージャクリーナーを、転写チャージャの手前の端から入れます。
- (2) クリーナーを手前の壁に押し当てるようにして、クリーナーのパッドが転写チャージャワイヤに当たっていることを確認します。
- (3) 手前から奥まで、2往復ほど拭きます。
- (4) 拭き終わったら、転写チャージャの手前の端からクリーナーを取り出します。



13 転写チャージャクリーナーをクリーナーポケットに戻し、転写ユニットを閉めます。



14 サイドカバーを閉めます。

15 フロントカバーを閉めます。

トナー補給動作を開始します。

故障かな？ と思ったときは

本機をお使いになっていて不具合が生じた場合は、以下の項目についてももう一度お確かめください。

操作全般

症状	原因	対処のしかた
本機がまったく動かない。	電源プラグがしっかり差し込まれていない。	電源プラグを奥まで確実に差し込んでください。
	ウィークリータイマが働いて、スリープモードになっている。	操作パネル上の[節電]ボタン/[スタート]ボタン/モードボタンのいずれかを押ししてください。
ボタンを押しても操作できない。	画面にメッセージが表示されている。	メッセージの意味を確認して対処してください。 ☞ P.174「画面にメッセージが表示される」
	節電モードになっている。	[節電]ボタンを押して、節電モードを解除してください。 ☞ P.36「使わないときの電力消費を抑えるー節電モードー」
	部門管理機能を使って本機が管理されている場合、部門コードの入力待ち状態になっている。	部門コードを入力してください。 ☞ P.35「電源を入れる」 ☞ P.137「部門管理」
	電源を入れてからまだ間もない。	本機のウォームアップが完了するまで待つて、再度操作してください。
原稿読み込み中に動作が停止する。(画面に「コピー可能枚数を超えました」と表示される。)	最大読み込み可能枚数を超えた。	読み込んだところまでコピーするときは「印刷」を選んでください。読み込んだ内容を取り消すときは「取消」を選んでください。
原稿読み込み中に動作が停止する。(画面に「メモリ容量が足りません」と表示される。)	本機の内蔵メモリの空き容量が不足した。	読み込んだところまでコピーするときは「印刷」を選んでください。読み込んだ内容を取り消すときは「取消」を選んでください。
コピー中に動作が停止する。(画面に「排紙トレイの用紙を取り除いて下さいスタートキーを押して下さい」と表示される。)	排紙した用紙があふれるのを防ぐため、連続して約250枚排紙したところでコピー動作を停止した。	排紙トレイから用紙を取り除き、[スタート]ボタンを押してください。コピーが再開されます。コピーを中止したい場合は[クリア/ストップ]ボタンを押してください。画面に「メモリをクリアしますか?」と表示されます。「はい」を選んで[スタート]ボタンまたは[OK]ボタンを押してください。
画面に「節電しています」と表示される。	低電力モードになっている。	本機を最後に使用してから一定時間経過すると、自動的に低電力モードに移行します。コピーできます。
画面に「スリープモード中です」と表示される。	スリープモードになっている。	本機を最後に使用してから一定時間経過すると、自動的にスリープモードに移行します。プリントデータを受信するか、操作パネル上の[節電]ボタン/[スタート]ボタン/モードボタンのいずれかを押しすと、ウォームアップを開始します。ウォームアップが終わるとコピーできます。
コピー機能が設定できない。	同時に使用できない他の機能をすでに設定している。	機能によっては、他の機能と同時に使用できないものがあります。 ☞ P.211「コピー機能組み合わせ一覧」

症状	原因	対処のしかた
「部門管理」を選んでも、部門管理メニューに入らない。	部門コード入力画面で、マスターコード以外の部門コードを入力した。	部門管理機能を設定したい場合で、部門管理機能が有効になっているときは、部門コード入力画面でマスターコードを入力してください。マスターコードを入力しないと、部門管理メニューに入れません。 ☞ P.137「部門管理」
部門管理メニューで、部門管理の有効/無効の切り替えができない。	印刷待ちのプリントデータやファクスがある。	プリントデータやファクスの印刷が終わってから操作し直してください。
USBケーブルで本機をコンピュータに接続しても、本機が認識されない。	USB2.0 Hi-Speed規格の認証を取得していないケーブルを使用している。	USB2.0 Hi-Speed規格認証ケーブルを使用してください。
	USBハブなどを經由してコンピュータに接続している。	USBハブなどを經由して接続すると、正しく動作しない場合があります。本機とコンピュータを、USBケーブルで直接接続してください。

トナー関連

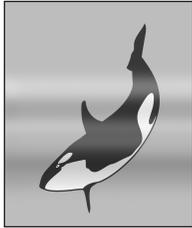
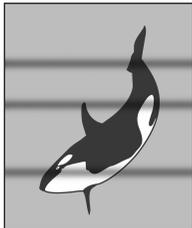
症状	原因	対処のしかた
画面に「トナーが残り少なくなりました」と表示される。	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなった。	トナーカートリッジ内にはまだトナーが残っています。トナーカートリッジは「トナーを交換して下さい」と表示されるまで交換しないでください。
画面に「トナーを交換して下さい」と表示される。	トナーカートリッジ内のトナーがなくなった。	新しいトナーカートリッジと交換してください。
画面に「トナーが認識されません」と表示される。	トナーカートリッジが挿入されていない。または正しく挿入されていない。	トナーカートリッジを正しく挿入してください。
	推奨品以外のトナーカートリッジを使用している。	推奨トナーカートリッジを使用してください。推奨品以外のトナーカートリッジを使用したい場合で、このメッセージ表示に不都合を感じる場合は弊社販売店までご連絡ください。 ☞ P.24「推奨トナーカートリッジについて」
トナーがなくなりそうなのに、画面に「トナーが残り少なくなりました」と表示されない。	本機購入時に、トナー残量チェック機能をオフにしている。	弊社販売店までご連絡ください。
トナーカートリッジを挿入後に、コピーできる状態にならない。	本機で使用できないトナーカートリッジを挿入している。	トナーカートリッジの品名を確認してください。品名に「T-1640J」とあるトナーカートリッジが使用できます。

原稿・用紙関連

症状	原因	対処のしかた
原稿がつまる。	本機で使用できない原稿を使用している。	使用できる原稿かどうか確認してください。 ☞ P.55「自動(両面)原稿送り装置使用時のご注意」
用紙がつまる。	本機で使用できない用紙を使用している。	使用できる用紙かどうか確認してください。 ☞ P.38「使用できない用紙」
	カセットや手差しトレイにセットした用紙のサイズが、本機に正しく登録されていない。	セットした用紙のサイズを正しく登録してください。 ☞ P.47「準備3 セットした用紙のサイズを登録する」 ☞ P.62「手差しコピーする(はがき以外)」 ☞ P.65「はがきに手差しコピーする」
	見づらいところにつまっている紙が取り除かれていない。	画面のメッセージを確認して、紙づまりが起きている場所をもう一度確認してください。 ☞ P.176「紙がつまったときは」
用紙が二重送りされる。	給紙カセット内の用紙とサイドガイドの間にまったくすき間がない。またはすき間が空きすぎている。	用紙とサイドガイドのすき間を適切な幅に調節してください。 ☞ P.39「カセットに用紙をセットする」 ☞ P.43「多段給紙装置(オプション)のカセットに用紙をセットする」
	用紙どうしがくっついている。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。

思いどおりのコピーができない

症状	原因	対処のしかた
コピーが薄い。	トナーがなくなった。	トナーがなくなると、画面に「トナーを交換して下さい」と表示されます。このメッセージが表示されたら、新しいトナーカートリッジと交換してください。 ☞ P.187「トナーカートリッジを交換する」
	コピー濃度が薄めに設定されている。	手動で濃度を調整している場合は濃度を濃いめに調整してください。または自動濃度モードでコピーしてください。
	転写チャージャワイヤが汚れている。	転写チャージャワイヤをクリーニングしてください。 ☞ P.202「転写チャージャのクリーニング」
コピーが濃い。	コピー濃度が濃いめに設定されている。	手動で濃度を調整している場合は濃度を薄めに調整してください。または自動濃度モードでコピーしてください。

症状	原因	対処のしかた
コピーが汚れる。	原稿カバー(オプション)や自動(両面)原稿送り装置(オプション)が確実に閉まっていない。	確実に閉めて、外からの光をシャットアウトしてください。
	原稿ガラス、原稿押さえ、原稿読み取り部、ガイド部が汚れている。	クリーニングしてください。 ☞ P.200「日常のお手入れ」
	コピー濃度が濃いめに設定されている。	手動で濃度を調整している場合は濃度を薄めに調整してください。または自動濃度モードでコピーしてください。
	OHPフィルムやトレーシングペーパーなど、透明度が高い原稿を使っている。	原稿と同じかそれ以上の大きさの白紙を原稿の上に載せてコピーしてください。
コピーがぼやける。 	原稿ガラス上に置いた原稿が浮いている。	原稿ガラスに原稿が密着するように、原稿カバー(オプション)や自動(両面)原稿送り装置(オプション)を閉めてください。
	用紙が湿っている。	乾いた用紙と交換してください。
横方向にムラが出る。 	転写チャージャワイヤが汚れている。	転写チャージャワイヤをクリーニングしてください。 ☞ P.202「転写チャージャのクリーニング」
コピーが欠ける。	用紙と原稿のサイズや向き、コピー倍率の設定が正しくない。	原稿と同じサイズの内紙にコピーするか、用紙サイズに合ったコピー倍率に設定してください。
	とじしろ幅が広すぎる。	とじしろ幅を設定し直してください。 ☞ P.88「紙面全体をずらして余白を作るーとじしろー」
横方向に黒いスジが入る。 	原稿読み取り部、ガイド部が汚れている。	クリーニングしてください。 ☞ P.200「日常のお手入れ」
	チャージャが汚れている。	チャージャをクリーニングしてください。 ☞ P.201「チャージャのクリーニング」

症状	原因	対処のしかた
<p data-bbox="257 214 509 239">横方向に白いスジが入る。</p> 	<p data-bbox="528 214 742 272">転写チャージャワイヤが汚れている。</p>	<p data-bbox="775 214 1232 272">転写チャージャワイヤをクリーニングしてください。</p> <p data-bbox="775 272 1199 297">☞ P.202「転写チャージャのクリーニング」</p>

7

保守・点検

いつもきれいなコピーをおとりいただくために必要な、本機のお手入れのしかたなどについて説明しています。

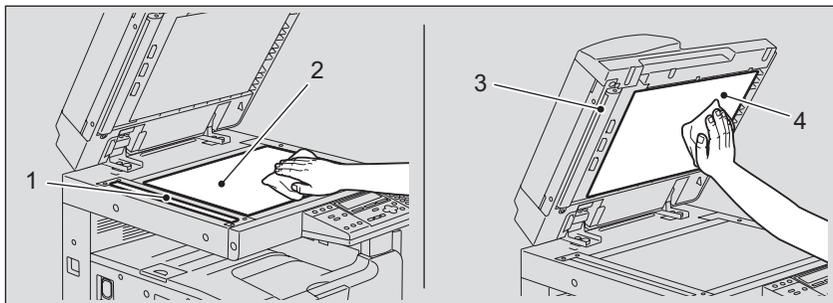
日常のお手入れ	200
チャージャのクリーニング.....	201
転写チャージャのクリーニング.....	202
保守サービスについて	204

日常のお手入れ

常にゴミや汚れのない状態で原稿を読み取るために、1週間に1回程度、以下の部分をクリーニングするようお勧めします。

注意

- クリーニングする場所を傷つけないようご注意ください。
- 機械を拭くときは、シンナー、ベンジンなどを使わないでください。変形や変色の原因となります。
- 化学ぞうきんを使う場合は、その注意書きに従ってください。



1. 原稿読み取り部

乾いた柔らかい布で拭くか、または水でぬらして固く絞った柔らかい布で拭いてください。アルコール、溶剤等は使用しないでください。

2. 原稿ガラス

3. ガイド部

4. 原稿押さえ

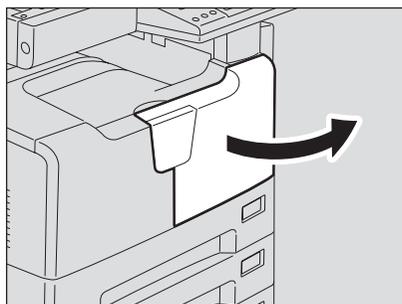
汚れの程度により、以下の方法でクリーニングしてください。

- 乾いた柔らかい布で拭く。
- 水でぬらして固く絞った柔らかい布で拭く。
- アルコールを含ませて固く絞った柔らかい布で拭いた後、から拭きする。
- 薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った柔らかい布で拭いた後、水拭きしてから、から拭きする。

チャージャのクリーニング

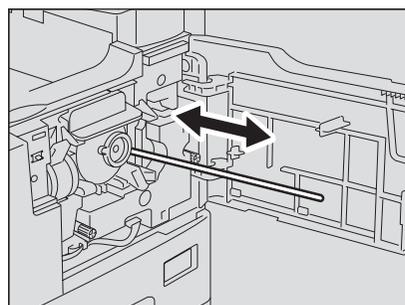
チャージャの内側が汚れるとコピーが汚れます。以下の手順に従ってチャージャをクリーニングしてください。

1 フロントカバーを開けます。



2 チャージャをクリーニングします。

チャージャのクリーニング用つまみをつまんで、手前側に静かに止まるまで引き出した後、静かに元の位置までまっすぐに押し込みます。この操作を2、3回繰り返します。



注意

クリーニング終了後、チャージャのクリーニング用つまみが奥まで押し込まれていることを確認してください。

3 フロントカバーを閉めます。

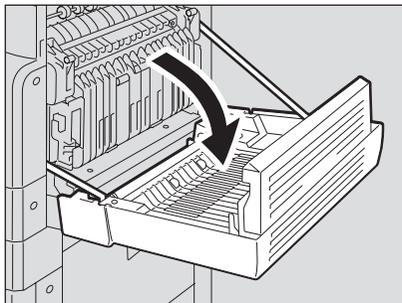
転写チャージャのクリーニング

転写チャージャワイヤが汚れると、コピーに白いスジが入ったり、ムラが出たり、薄くなったりします。以下の手順に従って転写チャージャワイヤをクリーニングしてください。

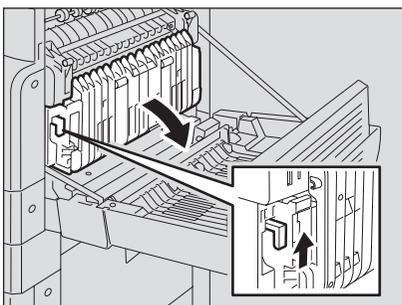
⚠注意

機体とサイドカバーの間に指を挟み込まないように注意すること
けがの原因となります。

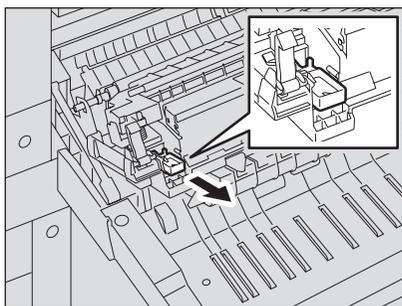
1 サイドカバーを開けます。



2 緑色のレバーを上げながら、転写ユニットをゆっくり引いて倒します。

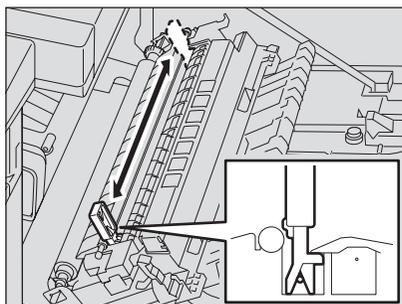


3 手前のクリーナーポケットから転写チャージャクリーナーを取り出します。

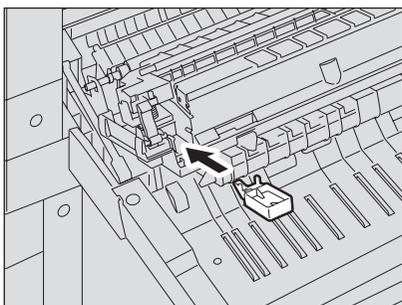


4 転写チャージャクリーナーで転写チャージャワイヤを拭きます。

- (1) 転写チャージャクリーナーを、転写チャージャの手前の端から入れます。
- (2) クリーナーを手前の壁に押し当てるようにして、クリーナーのパッドが転写チャージャワイヤに当たっていることを確認します。
- (3) 手前から奥まで、2往復ほど拭きます。
- (4) 拭き終わったら、転写チャージャの手前の端からクリーナーを取り出します。



5 転写チャージャクリーナーをクリーナーポケットに戻し、転写ユニットを閉めます。



6 サイドカバーを閉めます。

保守サービスについて

e-STUDIO167/207を安定した状態でご使用いただくため、保守サービスが必要です。補修用部品の供給年限は、製造中止後7年間です。詳しくは、弊社販売店にお尋ねください。

注意

- サービスエンジニアによる点検・保守サービスが必要な場合や、この取扱説明書に説明のない事項につきましては、弊社販売店にご相談ください。

お客様メモ	
販売店	
電話番号	
担当者名	
購入年月日	

- 修理を依頼されるときは、まずP.193「故障かな？ と思ったときは」を見て確認してください。それでも異常のあるときは使用を中止して、必ず電源プラグを抜いてから弊社販売店までご連絡ください。その際、下記の内容を必ずお知らせください。

商品名	e-STUDIO167/207
お客様の名前	会社名、部門、おところ
故障の内容	具体的にお知らせください

故障・保守サービスのご用命は

東芝テックビジネスソリューション サポートコールセンター

電話：0570-001192

(発信の際は電話番号の前に「186」を付けてダイヤルをお願いします。)

商品に関するお問い合わせは

東芝テック コンタクトデスク

電話：0120-201877

受付時間：9:00~12:00、13:00~17:00

(土・日・祝祭日および年末年始、弊社休業日を除く)

個人情報の取り扱いについて

- お客様にご記入いただいた住所などの情報は、サービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、弊社から修理委託している保守会社などに必要な情報を委託する場合がございますが、個人情報保護法および弊社と同様の個人情報保護プログラムが遵守されるよう、適切な措置をとります。

8

その他

e-STUDIO167/207の仕様	206
連続複写速度.....	207
オプション機器の仕様	208
同梱品	210
コピー機能組み合わせ一覧	211
組み合わせ一覧1/2.....	211
組み合わせ一覧2/2.....	212
リスト出力例	213
部門管理リスト.....	213
システム設定リスト.....	213
消耗品通知リスト.....	214
メールボックスリスト.....	214
設定リスト.....	215
ネットワーク設定リスト.....	215
メニューリスト.....	216

e-STUDIO167/207の仕様

型名	DP-1670/2070	
形式	デスクトップタイプ	
原稿台方式	固定式	
複写(印刷)方式	間接電子写真方式	
現像方式	乾式2成分磁気ブラシ現像方式	
定着方式	ハロゲンランプ2本方式	
感光体種類	OPCドラム	
原稿読み取り方式	平面走査方式 (自動両面原稿送り装置/自動原稿送り装置使用时:走査部固定原稿流し読み方式)	
原稿読み取りセンサー	CISラインセンサー	
読み取り光源	LED	
解像度	読み取り	600 dpi×600 dpi
	書き込み	2400 dpi×600 dpi (スムージング処理)
原稿種類	シート、ブック、立体物	
原稿サイズ	最大A3	
用紙サイズ	カセット	A3、A4、A4-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、COMP
	手差し	A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP、はがき
用紙の坪量	カセット	64~80 g/m ²
	手差し	64~80 g/m ² (連続給紙の場合) 50~163 g/m ² (1枚給紙の場合) 64~80 g/m ² (自動両面ユニット使用时)
ウォームアップ・タイム	約25秒	
ファーストコピー・タイム (A4ヨコ)	約7.6秒	
連続複写速度	☞ P.207「連続複写速度」を参照	
連続複写枚数	1~999枚(テンキー入力)	
画像欠け幅	コピー	先端:3.0±2.0 mm、後端・両端:2.0±2.0 mm
	プリント	先端:5.0±2.0 mm、後端・両端:5.0±2.0 mm
複写倍率	等倍	100±0.5%
	ズーム	25~200%(1%刻み)
入力可能原稿枚数	250枚またはメモリフル(弊社独自チャート)	
給紙容量	カセット:250枚、手差し:100枚(64 g/m ²)	
排紙トレイ積載量	約250枚(64 g/m ²)	
トナー濃度調整方式	磁気式オートトナー方式	
濃度調整	自動濃度調整および手動濃度調整(7ステップ)	

メモリ容量	ページメモリ:112 MB
USBインターフェイス	USB2.0(Hi-Speed)
使用環境(通常使用時)	温度10~30 °C、湿度20~85%(結露なきこと)
電源	100 V±10%(50/60 Hz)
最大消費電力	1.5 kW 以下(オプション含む)
大きさ(本体のみ)	幅600 mm×奥行658.6 mm×高さ462.5 mm
質量	約33.9 kg(本体+ドラム)
機械占有寸法(本体のみ)	幅948 mm×奥行658.6 mm

- 本仕様は、使用条件、使用環境により変わる場合があります。
- 仕様は予告なしに変更することがあります。

連続複写速度

(原稿ガラス上にセット、100%ノンソート連続複写時)

単位:枚/分

用紙サイズ	給紙元	e-STUDIO167	e-STUDIO207
A4、A5-R*1、B5、LT、ST-R*1	カセット	16	20
	手差し	16	20
A4-R、B5-R、LT-R	カセット	15.5	15.5
	手差し	15.5	15.5
B4、FOLIO、LG、COMP	カセット	13	13
	手差し	13	13
A3、LD	カセット	11	11
	手差し	11	11

*1 A5-R、ST-Rは手差しトレイにのみセットできます。

- 東芝推奨紙を使用した場合の速度です。
- 手差しコピーの速度はサイズ指定を実施した場合の速度です。
- 本仕様は、使用条件、使用環境により変わる場合があります。

オプション機器の仕様

自動両面原稿送り装置

型名	MR-3019
原稿コピー面	片面、両面
原稿セット数	100枚(50~80 g/m ²)または積載高さ16 mm以下(80 g/m ² 超)
原稿処理速度	45.5~182 mm/s
原稿サイズ	A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP (A5、STは使用不可)
原稿の坪量	片面原稿:50~127 g/m ² 、両面原稿:50~127 g/m ²
電源	24 V(本体より供給)
大きさ	幅600 mm×奥行513 mm×高さ135 mm
質量	約11.5 kg
最大消費電力	33 W以下

自動原稿送り装置

型名	MR-2017
原稿コピー面	片面
原稿セット数	100枚(50~80 g/m ²)または積載高さ16 mm以下(80 g/m ² 超)
原稿処理速度	45.5~182 mm/s
原稿サイズ	A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP (A5、STは使用不可)
原稿の坪量	50~127 g/m ²
電源	24 V(本体より供給)
大きさ	幅600 mm×奥行513 mm×高さ135 mm
質量	約11.0 kg
最大消費電力	30 W以下

自動両面ユニット

型名	MD-0103
用紙サイズ	A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP
用紙の坪量	64~80 g/m ²
質量	約1.2 kg

給紙ユニット

型名	MY-1027J
用紙サイズ	A3、A4、A4-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、COMP（非定形サイズは使用不可）
用紙の坪量	64~80 g/m ²
用紙収容可能枚数	最大250枚(80 g/m ²)
大きさ	幅530 mm×奥行577 mm×高さ125 mm
質量	約5.0 kg

多段給紙装置

型名	KD-1022J
用紙サイズ	A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP（A5、ST、非定形サイズは使用不可）
用紙の坪量	64~80 g/m ²
用紙収容可能枚数	最大550枚(64 g/m ²)
大きさ	幅623 mm×奥行657 mm×高さ367 mm
質量	約26.0 kg

給紙カセット

型名	MY-1028
用紙サイズ	A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO、LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP（A5、ST、非定形サイズは使用不可）
用紙の坪量	64~80 g/m ²
用紙収容可能枚数	最大550枚(64 g/m ²)
質量	約4.0 kg

記載している数値は、東芝推奨紙使用時のものです。仕様は予告なしに変更することがあります。

同梱品

同梱品	取扱説明書
	お客様登録書
	定期点検カード・ケース
	電源ケーブル
	感光体ドラム
	現像剤
	取扱説明書ポケット
	カードインスト
	CD-ROM(2枚)

コピー機能組み合わせ一覧

組み合わせ一覧1/2

設定する機能 → ↓既に設定されている機能	原稿認識	仕上げ				とじしろ	枠消し	用紙タイプ	両面				
		ノンソート	ソート	縦横交互	マガジンソート				片面 → 片面	片面 → 両面	両面 → 両面	両面 → ブック	
原稿認識		X	○	X	X	○	○	○	○	○	○	○	X
ノンソート	*1		○	○	○	○	○	*1	*1	*1	○	*1	*1
ソート	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
縦横交互	X				○	X	○	○	○	○	○	○	X
マガジンソート	X				○	X	○	○	○	○	○	○	○
とじしろ	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○
枠消し	X				○	○	○	○	○	○	○	○	○
用紙タイプ	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○
片面 → 片面	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
片面 → 両面	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
両面 → 片面	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
両面 → 両面	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブック両面	X	X	○	X	X	X	○	○	○	○	○	○	○
ページ連写	X	X	○	X	X	X	○	○	○	○	X	X	X
ページ・時刻付加	X	X	○	X	X	X	○	○	○	○	X	X	X
ビルドジョブ	X	○	○	○	X	○	○	○	○	○	○	○	X
2in1/4in1	X	X	○	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○
名刺印刷	X	X	○	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○
縦横独立変倍	*2	○	○	*3	*3	○	○	○	○	○	○	○	○
モードメモリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*1 ノンソートに設定されている機能も、ソートに設定される

*2 後から設定した機能が有効となり、倍率は等倍（100%）になる

*3 後から設定した機能が有効となり、自動倍率設定になる

組み合わせ一覧2/2

設定する機能 →		ページ連写	ページ・時刻付加	ビルドジョブ	2in1/4in1	名刺印刷	縦構独立変倍	モードメモリー
↓既に設定されている機能	原稿選載	×	×	×	×	×	×	○
	ノンソート	*1	*1	○	*1	*1	○	○
仕上げ	ソート	○	○	○	○	○	○	○
	縦横交互	×	×	○	○	○	×	○
とじしろ	マガジンソート	×	×	×	×	×	×	○
		×	○	○	○	○	○	○
用紙タイプ	枠消し	○	○	○	○	○	×	○
		○	○	○	○	○	○	○
両面	片面 → 片面	○	○	○	○	○	○	○
	片面 → 両面	×	×	○	×	×	○	○
	両面 → 片面	×	×	○	×	×	○	○
	両面 → 両面	×	×	○	×	×	○	○
ページ連写	ブック両面	×	×	×	×	×	○	○
		×	×	×	×	×	○	○
ページ・時刻付加	ページ連写	×	×	×	×	×	○	○
		×	×	×	×	×	○	○
ビルドジョブ	ビルドジョブ	×	×	×	×	×	×	○
		×	×	×	×	×	×	○
2in1/4in1	2in1/4in1	×	×	×	×	×	×	○
		×	×	×	×	×	×	○
名刺印刷	名刺印刷	×	×	×	×	×	×	○
		○	○	*2	*2	*3	×	○
縦構独立変倍	縦構独立変倍	○	○	○	○	○	○	○
		○	○	○	○	○	○	○
モードメモリー		○	○	○	○	○	○	○

- *1 ノンソートに設定されていても、ソートに設定される
 *2 後から設定した機能が有効となり、倍率は等倍（100%）になる
 *3 後から設定した機能が有効となり、自動倍率設定になる

リスト出力例

部門管理リスト

部門管理リスト

ページ : 001
出力時刻 : 2006-04-10 09:30
電話番号 : XXX-XXX-XXXX
局名 : XXXXXXXXXXXX

部門番号	部門名	部門コード	コピー枚数	送信枚数	受信枚数	プリント枚数
D 01	XXXXXXXXXX	XXXXX	XX	XX	XX	XX
D 02	XXXXXXXXXX	XXXXX	XX	XX	XX	XX
D 03	XXXXXXXXXX	XXXXX	XX	XX	XX	XX
D 99	XXXXXXXXXX	XXXXX	XX	XX	XX	XX

システム設定リスト

システム設定リスト

XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXX XXXX

ページ : 001
出力時刻 : 2006-04-10 09:30
電話番号 : XXX-XXX-XXXX
局名 : XXXXXXXXXXXX

メモリサイズ	: 112MB	復活送信	: オフ
一般設定		発信元記録	: オン
カセット用紙サイズ		メモリ入力後送信	: オフ
カセット 1	: A4 □	アカウントコード	: オフ
手差し	:	セパレータページ	: オフ
優先画面選択	: コピー	機密受信	: オフ
各種タイマ		メモリ代行受信	: オン
オートクリア時間	: 45秒	縮小印刷	: オン
自動節電時間	: 15分	切り捨て	: オン
自動オフ時間	: 15分	限定受信	: オフ
ウィークリータイマ	: 初	受信元記録	: オフ
音量設定		リモート受信方式	: オフ
警告音	: 2	リスト出力設定	
キータッチ音	: 1	通信記録出力	
呼び出し音	: 4	手動出力	: 送受信記録
回線音量	: 4	自動出力	: オン
コピー設定		通信結果表	
メニューカスタマイズ	: 仕上げ	原稿送信結果表	: オフ
用紙/倍率優先選択	: 自動用紙選択 (APS)	メモリ送信結果表	: 1ラ-時 (原稿付)
原稿種類	: 写真	同報送信結果表	: 1ラ-時 (原稿付)
濃度	: 自動濃度		
ソートモード優先選択	: ノンソート		
2 IN 1 / 4 IN 1 設定	: 横書き		

消耗品通知リスト

SUPPLY NOTICE FORM

SETUP INFORMATION

DESTINATION SETUP : ☎ XXX-XXX-XXXX

DATE & TIME : 2006-04-10 09:30

CUSTOMER NUMBER : XXX-XXX-XXXX

SHIP TO NAME : XXXXXXXXXXXX

SHIP TO ADDRESS : XXXXXXXXXXXX

CONTACT NAME : XXXXXXXXXXXX

CONTACT TEL NUMBER : XXX-XXX-XXXX

e-STUDIO 167/207 Series

MACHINE NAME : XXXXXXXXXXXX

FAX NUMBER : XXXXXXXXXXXX

メールボックスリスト

メールボックス／配信箱リスト

ページ : 001
出力時刻 : 2006-04-10 09:30
電話番号 : XXX-XXX-XXXX
局名 : XXXXXXXXXXXX

メールボックス

箱番号	種別	枚数	受付番号	受付時刻	依頼元
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	親展	X	XX	XX:XX	XXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	親展	X	XX	XX:XX	XXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	指示板	X	XX	XX:XX	XXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	指示板	X	XX	XX:XX	XXXX

中継同報

箱番号	配信宛先	結果通知先
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	短縮 001 002	短縮 003
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	グループ 1111	XXXXXXXXXXXX

設定リスト

```
CONFIGURATION PAGE
S/N           : XXXXXXXXXX          TIME           : '06-04-10 09:30
FW Ver.      : XXXXXXXXXX

GENERAL
MEMORY SIZE           : 256MB
OPTIONAL FUNCTIONAL KIT : NOT INSTALLED

NETWORK SETTING
GENERAL PRODUCT
GENERAL
ETHERNET SPEED/DUPLEX MODE : 10BASE FULL

NETWORK
TCP/IP
ADDRESS MODE           : DYNAMIC
IP ADDRESS             : XXX.XXX.XXX.XXX
SUBNET MASK            : XXX.XXX.XXX.XXX
DEFAULT GATEWAY        : 0. 0. 0. 0

IPX/SPX
ENABLE IPX/SPX         : ENABLE
FRAME TYPE             : AUTO SENSE

APPLE TALK
ENABLE APPLE TALK      : DISABLE
DEVICE NAME            : XXXXXXXXXXXX
DESIRED ZONE           : *

SESSION
DNS SESSION
ENABLE DNS              :
PRIMARY DNS SERVER ADDRESS
SECONDARY DNS SERVER ADDRESS
```

ネットワーク設定リスト

```
=====
Unit Serial No : XXXXXXXX

Network Address : XX;XX;XX;XX;XX;XX

Network Topology : Ethernet          Connector: RJ45

Network Speed : auto (default)

Novell Network Information          enabled
Print Server Name : XXXXXXXXXXXXX
Password Defined :
Search Root not defined
Directory Services Tree not defined
Directory Service Context not defined
Scan Rate : 5
Frame Type : Auto Sense

TCP/IP Network Information          enabled
IP Address : XX.XXX.XXX.XX
Subnet Mask : XXX.XXX.X.XX
Default Gateway : XX.XXX.XXX.X
Primary DNS Server : XXX.XX.XXX.XX
DNS Name :
Host Name : XXXXXXXXXXXX

IPP Network Information          enabled
Internet Printing Protocol : XXXXX

AppleTalk Network Information
```

メニューリスト

メニューリスト (初期設定)

ページ : 001
 出力時刻 : 2006-04-10 09:30
 電話番号 : XXX-XXX-XXXX
 局名 : XXXXXXXXXXX

- 01. 各種設定
 - 01. 一般設定
 - 01. カセット用紙サイズ
 - 02. 優先画面選択
 - 03. 各種タイマ
 - 04. ウィークリータイマ
 - 05. 音量設定
 - 06. 部門管理
 - 02. コピー設定
 - 01. メニューカスタマイズ
 - 02. 用紙/倍率優先選択
 - 03. 原稿種類
 - 04. 濃度
 - 05. ソータモード優先選択
 - 06. マガジンソート設定
 - 07. 2 IN 1 / 4 IN 1 設定
 - 08. ブック両面設定
 - 03. ファクス設定
 - 01. 自動モニタ
 - 02. 受信間隔
 - 03. ECM
 - 04. 原稿モード
 - 05. ダイヤルタイプ
- 04. リスト出力設定
 - 01. 通信記録出力
 - 01. 手動出力
 - 02. 自動出力
 - 02. 通信結果表
 - 01. 原稿送信結果表
 - 02. メモリ送信結果表
 - 03. 同報送信結果表
 - 04. マルチポーリング結果表
 - 05. 中継親局結果表
 - 06. 中継子局結果表
 - 07. 中継孫局結果表
 - 03. 通信受付表
 - 01. 自局メールボックス
 - 02. 他局メールボックス
 - 03. 中継子局受付表
- 02. リスト出力
 - 1. 部門管理リスト
 - 2. システム...

索引

数字

2in1/4in1	83, 102
2in1/4in1の設定	163

A

AC IN端子	29
---------------	----

L

LT系列	37
------------	----

O

OHPフィルム	37, 61
OKボタン	33

R

ROMバージョン表示	172
------------------	-----

U

USB端子	29
-------------	----

あ

厚紙	37, 61
アラームランプ	33
安全上のご注意	14

い

一度に読み込める原稿の枚数	52
---------------------	----

う

ウィークリータイマの設定	130
--------------------	-----

え

液晶画面	32
------------	----

お

オートクリア時間	125
お好み機能設定	34
お好み機能の設定	151
オプション機器の仕様	208
オプション構成	30
音量の調節	133

か

カートリッジチェック機能	24
各種タイマの設定	125
各種リストの印刷	169
拡大・縮小コピー	74
拡張キーボード	28
各部の名称と働き	26
画質	79
カセット	27
紙づまり	176
紙づまり(給紙ユニット)	185
紙づまり(自動原稿送り装置)	177
紙づまり(自動両面原稿送り装置)	177
紙づまり(自動両面ユニット)	181
紙づまり(多段給紙装置)	186

紙づまり(定着器)	183
紙づまり(手差しトレイ)	181
紙づまり(転写ユニット)	182

き

キータッチ音の設定	135
給紙カセット	27
給紙カバー	27
給紙ユニット	27

く

クリア/ストップボタン	32
クリーニング	200
クリーニング(チャージャ)	201
クリーニング(転写チャージャ)	202

け

原稿押さえ	29
原稿カバー	26
原稿ガラス	28, 53
原稿混載	72
原稿混載ボタン/ランプ	31
原稿サイズボタン/ランプ	34
原稿スケール	29
原稿ストップ	56
原稿の種類	52, 55
原稿のセット	52, 56
原稿モードの設定	155
原稿モードボタン/ランプ	33
原稿読み取り部	29
言語の設定	120

こ

故障かな? と考えたときは	193
コピー機能組み合わせ一覧	211
コピー機能メニュー	82
コピー禁止事項	6
コピーする	57
コピーとプリントの合計枚数の確認	115
コピー濃度の調整	80
コピーの再開	59
コピーの停止	59
コピー倍率	34, 74
コピー部数	34
コピーモードメイン画面	34
コントラスト調整つまみ	32
こんなときは	173

さ

サイドカバー	26
サポートコールセンター	204

し

仕上げ	83
時刻合わせ	117
時刻データ表示の設定	119
自動オフ時間	128

自動原稿送り装置	26, 55	電源スイッチ	28, 35
自動節電時間	126	電源のオン/オフ	35
自動濃度モード	80	転写チャージャ	202
自動倍率選択	74	と	
自動用紙選択	69	同梱品	210
自動用紙選択・ 自動倍率選択ボタン/ランプ	31, 70, 75	特長	13
自動両面原稿送り装置	26, 55	とじしろ	83, 88
自動(両面)原稿送り装置使用時のご注意	55	トナーカートリッジ	24, 28, 187
自動両面ユニット	26	トナーカートリッジの交換	187
縦横交互	85	トナー残量チェック機能	24
縦横独立変倍	83, 108	トラブルシューティング	173, 193
縮小コピー	74	取扱説明書ポケット	26
仕様	206, 208	トレーシングペーパー	37
使用できない用紙	38	に	
初期設定	68	日常のお手入れ	200
仕分けの設定	159	の	
す		濃度調整の設定	157
推奨紙	38	濃度調整ボタン/ランプ	33
推奨トナーカートリッジ	24, 187	濃度の調整	80
スタートボタン	33	は	
せ		排紙ストoppa	28
設定/登録ボタン	31	排紙トレイ	29
設定/登録モードメイン画面	115	倍率	74
設定した機能の確認	68	はがき	37, 61, 65
設定の変更	115	ひ	
設定変更時のボタン操作	116	日付表示形式	119
節電ボタン	31, 36	日付・時刻の設定	117
節電モード	36	日付・時刻の表示形式の設定	119
セレクトボタン	82	表示言語の設定	120
セレクトボタン(左・中央・右)	32	ビルドジョブ	83, 100
セレクトボタン表示	34	ふ	
そ		ファクス通信ランプ	32
操作パネル	28, 31	部数	57
ソート	84	ブック両面コピーの設定	165
た		部門管理	35, 137
タイマの設定	125	フロントカバー	27
多段給紙装置	27, 43	へ	
ち		ページ連写	83, 97
チャージャ	201	ページ・時刻付加	83, 99
つ		編集機能確認ボタン	32
月データ表示の設定	119	ほ	
て		保守サービス	204
手入れ	200	本機の特長	13
データランプ	33	本体警告表示ラベル	21
手差しコピー	61	ま	
手差しコピー(はがき)	65	マガジンソート	86
手差しコピー(はがき以外)	62	マガジンソートの設定	161
手差しトレイ	27, 61	マニュアル用紙選択	70
テンキー	32		

め	
名刺印刷	83, 106
メッセージ	174
メッセージ表示エリア	34
メニュー構成の確認	115
メニューリストの印刷	171
免責事項	14
も	
モードボタン	32
モードメモリー	83, 110
戻る/取消ボタン	33
や	
矢印ボタン	33
ゆ	
優先画面の設定	123
よ	
用紙	37, 38, 39
用紙切れ	58
用紙サイズの設定	121
用紙サイズの登録(カセット)	47
用紙サイズの変更確認表示の設定	167
用紙サイズ表示窓	27
用紙サイズボタン/ランプ	33
用紙タイプ	83
用紙トレイボタン/ランプ	33
用紙の種類	37, 61
用紙のセット	37, 39, 43
用紙の選択方法	69
用紙の保管	38
用紙優先選択/倍率優先選択の設定	153
ら	
ラベル紙	37
り	
リスト出力例	213
リストの印刷	169
リセットボタン/ランプ	32
両面	83, 91
両面コピー	91
れ	
連続複写速度	207
わ	
枠消し	83, 90
割り込みコピー	60
割り込みボタン	31, 60

東芝デジタル複合機
取扱説明書 [コピー編]

e-STUDIO167/207

<開発・製造元>

東芝テック株式会社

<販売元>

東芝テックビジネスソリューション株式会社

